

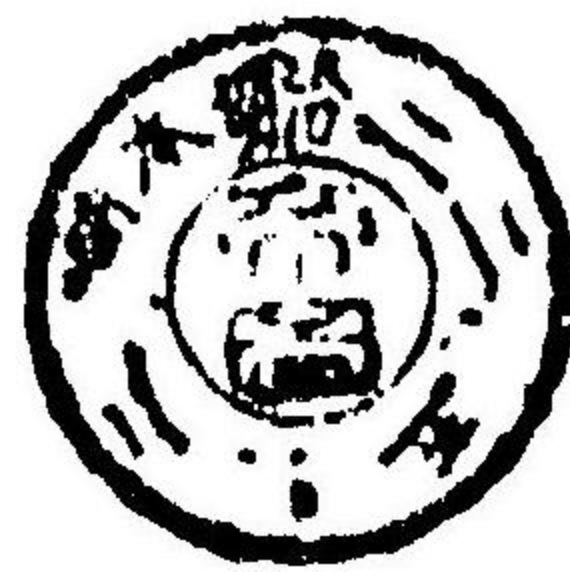
外 2451

24-154



記

上



2451

周遊日記

上卷

目次

太平洋渡航

桑港

パロアルト牧場

オークランド

ソルトレーキ

デンバー

ナカゴ

ナイアガラ瀑布

紐育

一

九

十

十

二

二

三

三

三

丁

丁

丁

丁

丁

丁

丁

丁

丁

丁

丁

丁

丁

丁

丁

丁

丁

丁

丁

丁

丁

丁

丁

丁

丁

丁

丁

カスルガーデン	四十三丁
ヒラデルヒヤ	四十六丁
ボルナモール	四十八丁
華盛頓	四十九丁
ソルゲエヤスホーム	五十丁
議事堂	五十一丁
華盛頓紀念表	五十二丁
製糸試験場	五十五丁
大統領謁見	五十六丁
カビンシヨン農園	五十九丁
華盛頓舊居	六十三丁
ニウバルグ	六十五丁

附説	六十六丁
大西洋渡航	七十一丁
リハプウル	七十七丁
龍動	七十八丁
サウスケンシントン博物館	八十四丁
レースター製麻所	八十五丁
オルトハム紡績器械製造場	八十六丁
マンナスター博覽會	八十七丁
オーブシヨウ製鐵場	八十九丁
モーガン坩堝製造場	九十一丁
エブソン競馬場	九十四丁
巴里	九十五丁

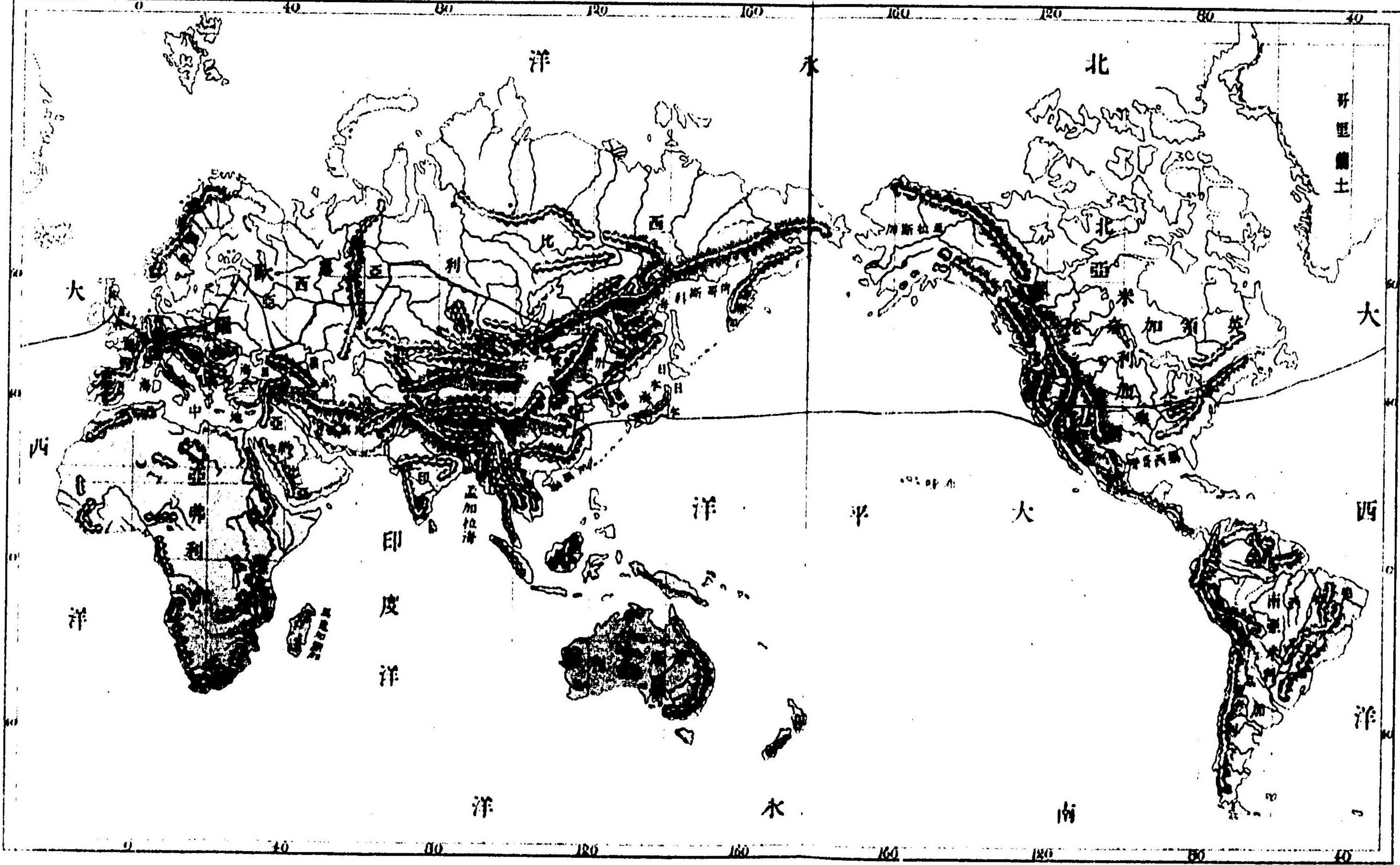
ボロドボン公園	九十七丁
第一世那勃翁帝陵墓	九十九丁
育兒院	百丁
メルサイ	百一丁
ブリクセル	百二丁
ワートルロー	百五丁
ギヨーム製鐵所	百七丁
メツ	百八丁
リクセンブルグ	百十一丁
ペワケール農况	全
クルツプ氏工場	百十六丁
伯林	百十七丁

マクデブルグ甜菜製糖所	百十九丁
ボターム	百二十八丁
ワルレヤワ	百三十丁
彼得堡	百三十二丁
哈薩克兵本部	百三十八丁
哈薩克兵建制	百四十七丁
哈薩克軍隊組織編成表	二百十二丁
クロンレタト砲臺	二百三十丁
海軍大砲鑄造所	二百三十二丁
莫斯科	二百四十丁
ノーナ、ムカスク	二百四十三丁
局地隊武庫	二百四十六丁

幼年學校速成士官學校	二百四十七丁
噸兵州管轄	二百五十丁
速成士官學校要領	二百六十三丁
噸哈薩克兵兵役條例	二百八十一丁
噸兵服役ノ制限	三百九十三丁
噸兵州畧記	三百九十七丁
兵郷自治	四百十五丁
哈薩克移殖條例摘要	四百二十九丁
メルンヤノスキ野營場	四百四十二丁
プロワリスキ牧場	四百四十四丁
コンスタンナノフスカヤ騎兵運動	四百五十二丁
ナムリヤンスカヤ	四百五十四丁

ウ、ルフチ、ナルスカヤ騎兵運動	四百五十八丁
カラナ	四百六十一丁
沿道形状	四百六十二丁

萬國圖

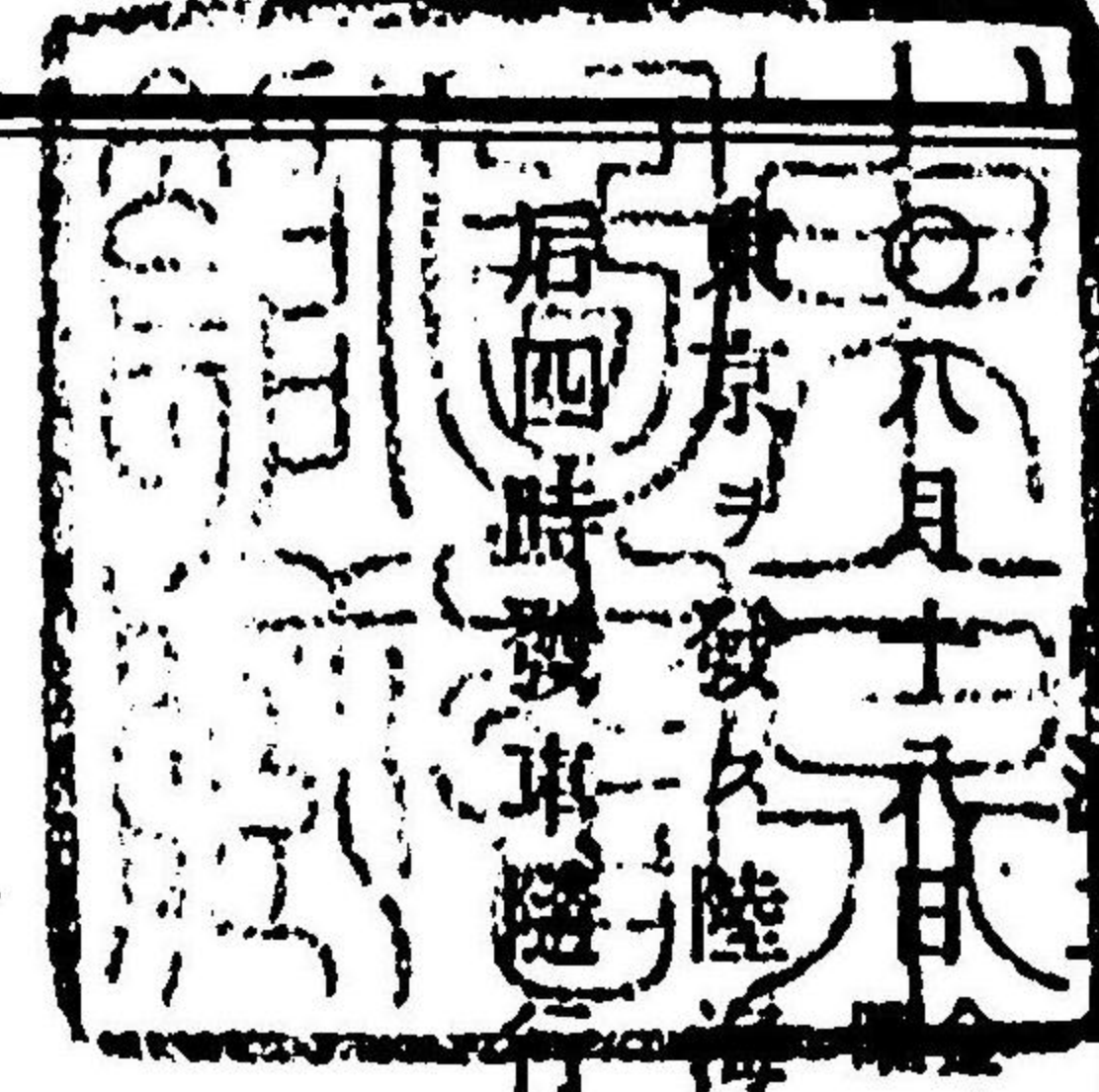


21663

周遊日記上卷

從明治二十年三月十八日  
至同年七月廿八日

明治二十年



○八月十八日 晴而風寒温儀五十八度寒温儀ハ華氏ヲ用ヒ  
正午ヲ以テ計ル下同  
東京ヲ發テ陸軍將校其他新橋停車場ニ來リ別ヲ送ラレ  
后四時發車隨行員左ノ如シ

陸軍屯田兵少佐 荒城重雄

陸軍屯田兵大尉 枋内元吉

陸軍屬 小島泰次郎

横濱着車直江忠助方ニ投宿ス北海道廳屬農學士堀宗一氏  
公務ヲ以テ獨逸ニ赴クニ會シ同行

○三月十九日土曜晴寒温儀六十五度  
前八時米國郵船ヘキシ號へ上ル十時拔錨海波熨平東京灣

ナ出レハ針路ヲ東北東ニ轉ス日暮船後ニ富嶽ヲ烟霞瀟々  
ノ中ニ望ム恰モ別ヲ惜ムモノ、如シ船中邦人十數名アリ  
松方正雄成川義太郎二氏隣室ニ在リ

レナーヲフペンキ號ハ桑港、バレフイックメールステームレツ  
プ會社ノ所有ニレテ桑港ヨリ横濱ヲ經テ香港ニ航海スル  
四船ノ一ナリ登簿噸數五千七百〇九噸載積三千百廿八噸  
船長サ四百十尺幅四十八尺深サ三十八尺馬力八百船長ヲ  
「エーケネー」デ「アポール」ト云フ乗組員百廿九名アリ乘  
客ハ上等廿名中等十五名下等千〇三十六人、下等乗客中邦  
人三名ノ外皆支那人ナリ

○三月廿日<sup>日</sup>快晴寒温儀六十六度  
海波靜穩四望渺々目ニ遮ルモノナレ航路ハ東北東ニ針路

ヲ取ル

○三月廿一日<sup>月</sup>晴微風寒温儀六十一度  
此日東南暗濤トシテ風微ヲ發ス

○三月廿二日<sup>火</sup>驟寒温儀五十五度  
夜來東風強ク濤亦高シト雖モ船体長大ナルヲ以テ動搖ハ  
甚シカラス夜ニ入り雨ヲ帶ヒ風波益々加リ航路暗黒咫尺  
ヲ辨セス

○三月廿三日<sup>水</sup>風雨寒温儀五十四度  
逆風激浪航進ヲ妨ケ船体亦動搖セリ凡ソ大洋ヲ航スル船  
甲ノ日午時ヨリ乙ノ日午時迄ノ航程及經緯度ノ位置ヲ船  
室外ニ揭示スルノ例ナリシカ今日迄其事ナキハ蓋シ踰度  
ヲ測リ得サリシナラン



○三月廿四日水曜寒温儀五十二度  
風波平ク航路漸ク東北ニ向テ以テ本日午時北緯四十三度  
零九分東經百六十二度三十六分ニ達シ寒氣暴ニ加リ昨正  
午ヨリ一晝夜僅ニ百八十海里ヲ駛ス

○三月廿五日金曜晴寒温儀五十六度  
海波揚ヲス西北風アリテ帆ヲ張ル今朝少シク飛雪アリ此  
一晝夜航路二百四十九海里ニシテ東經百六十八度北緯四  
十四度四十分ニ在リ

○三月廿六日土曜晴寒温儀五十七度  
海波熾平此一晝夜航路二百六十二海里東經百七十度北緯  
四十四度八分ニ在テ寒威甚強シ  
○三月廿六日土曜晴而風寒温儀五十六度

西北風アリ此一晝夜航路二百八十一海里西經百七十九度  
十六分北緯四十五度廿四分ニ在リ

西經ニ入りタルヲ以テ本日ヲ重テ廿六日トス

○三月廿七日日曜晴而風寒温儀五十七度  
風力前日ニ異ナラス針路ヲ正東ニ轉ス此一晝夜航路二百  
九十六海里西經百七十二度十四分北緯四十五度廿四分ニ  
在リ北風時々微雪ヲ帶テ來ル

○三月廿八日月曜晴而風寒温儀六十二度  
順風開帆針路ヲ東南東ニ轉ス此一晝夜航路二百九十二海  
里西經百六十五度十七分北緯四十五度十九分ニ在リ

○三月廿九日火曜晴寒温儀六十一度  
風力少シク減ス此一晝夜航路二百九十海里西經百五十八

度廿六分、北緯四十五度十分ニ在リ

○三月三十日水曜晴、寒温儀六十二度

風力益々減ス此一晝夜航路二百七十七海里、西經百五十一度五十五分、北緯四十四度五十分ニ在リ

○三月三十一日木曜快晴、寒温儀六十五度

順風微弱ニシテ速度ニ關セス此一晝夜航路二百七十二海里、西經百四十五度四十分、北緯四十四度零三分ニ在リ日暮驟雨アリ東南風少シク起ル是ヨリ連日信天翁數十羽、船ニ尾シテ來ル又稀ニ白羽ノ鳥アリ遠望其形狀ヲ詳ニセス

○四月一日金曜晴而風、寒温儀六十五度

曉來西風劇甚帆ヲ張り船少シク動搖セリ此一晝夜航路三百零八海里、西經百三十八度四十八分、北緯四十二度五十分

ニ在リ

○四月二日土曜晴、寒温儀六十度

風止ミ海波平ク此一晝夜航路二百六十八海里、西經百三十三度零八分、北緯四十一度十八分ニ在リ日没東風少シク起リ寒冷ヲ覺フ

○四月三日日曜晴、寒温儀六十三度

風ナク帆ヲ徹ス此一晝夜航路二百五十八海里、西經百廿七度五十五分、北緯三十九度四十八分ニ在リ本日午時ヨリ桑港マテノ航路二百八十一海里ヲ残ス后二時半舷頭ニ大ナル帆船航路ヲ我船ト十字形ニ取テ南ニ通過スルヲ見ル横濱ヲ發テヨリ十六日ニシテ始メテ船舶ニ會ス乗客皆甲板ニ上テ之ヲ見ル

○四月四日月快晴寒温儀六十二度  
 海波靜穩前九時船頭ニ米國ノ陸地ヲ微ニ認メ須臾ニシテ  
 「カリホニア」州ノ諸山及嶋嶼漸ク接近后一時金門口ニ達シ  
 タルトキ會社ヨリ派遣シタル航路嚮導人小汽船ヨリ來リ  
 本船ニ上リ金門ニ入ル金門兩岸砲臺アリ港口距離僅ニ一  
 海里許港内開豁當面「オークランド」ヘ六海里左方ヘ八海里  
 右方ヘ四十海里間汽船出入シ右岸即チ桑港市街アルノ地  
 ハ斗突シタル半島ニシテ數百ノ船艦帆檣林立高樓粉壁陸  
 上ニ聳ユ  
 船客支那人ニ天然痘ヲ患ルモノアリ檢疫ノ爲メ海岸ヲ避  
 ケ桑港ト「オークランド」ノ中間ニ投錨上陸スルコトヲ得ス  
 此ノ港灣海水ノ早滿スルコト五尺ナリト云フ

○四月五日火晴而風寒温儀六十四度  
 檢疫ノ爲メ停船

○四月六日水南風雨ヲ帶ヒ港内風波強寒温儀七十二度  
 船中天然痘繼發ノ者ナキヲ以テ檢疫ノ上后二時乗客一同  
 上陸「パレー」ホテルニ投ス「パレー」ホテルハ方百二十米  
 突許七層樓ニシテ千五百人ヲ容ル、ニ適ス旅館ノ壯大ナ  
 ルハ世界第一ト稱スル者アリ目下寓客充滿セリ船着岸ス  
 ルヤ税關吏埠頭ニ來リ手荷物ノ検査甚嚴重ナリ此時藤井  
 領事已ニ退散ノ由ヲ以テ宇田川書記生「履米人」リナヤード  
 ソント共ニ領事館ヨリ接迎旅館ノ照會等周旋セリ此地ニ  
 於テ黒田内閣顧問閣下ノ一行ニ邂逅セント預期セシニ本  
 月二日既ニ當港出帆歸朝アリタリト云フ

○四月七日木曜晴寒溫儀七十五度

領事藤井三郎來訪、行旅ノ順序及調査ノ事件ヲ依托シ午餐ヲ共ニシ直ニ領事館ニ到リ霎時談話、歸路領事ト共ニ「ナボレオン」帝「ワートル」ロー戰争ノ「パノロマ」ヲ見ル描寫奇絶ナリ歸館後領事及正金銀行支店支配人西卷氏等來訪桑港ノ地タル夏清涼ニシテ冬暖利ナリ霜雪ハ極メテ稀ニシテ年ノ六月ヨリ十一月迄雨ナク暑中却テ枯草ヲ見ルト云今清明後三日山野ノ草木花咲キ香ヲ放テ秀芳掬スヘシ「カリホルニヤ」州ノ統計略記ヲ得タリ其要左ノ如シ

幅員

十八萬八千九百八十一英方里、即チ一億二千九十四萬七千八百四十「エークル」

戶數

千八百八十年、即チ最近ノ調査ニ據レハ十六萬戶

人口

千八百八十年ノ調査ニ據レハ八十六萬四千六百八十六人、其内男五十一萬八千二百七十一人、女三十四萬六千四百五十五人、當州產ノ者五十七萬二千六百人、外國產ノ者二十九萬二千六百八十人、蓋レ現今ノ人口ハ百萬内外ナルヘシ

官廩

當州政府ハ上下二議院其他下記ノ諸官吏ノ管理ニ係ル、即チ太守、副太守、書記官、監督官、出納官、檢事長、土地檢査官、學務官、地質取調委員、圖書官、官有地管理官、保險委員、副將官、及鐵道事務官

寺院

千八百八十年ノ調査ニ據レハ九百六十二

學校

同年ノ調査ニ據レハ公立學校ノ數二千七百四十三生徒ノ數十四万四千八百〇六人私立學校ニ於テ教授セル生徒ノ數一万五千四百三十二人

兵數

常備軍ナク只民兵ノ設ケアルノミ之ヲ區分スレハ左ノ如シ  
步兵二十四隊、騎兵三隊、輕砲兵一隊、及「ライフル」兵八隊ナリ  
但一隊ハ兵數十一人

軍艦

常備ナレ

寒暖

桑港夏期平均ノ溫度ハ五十六度、内地山間ノ平原ニ於テハ其溫度甚高キ所アリ要スルニ版圖廣大、地勢異ナルカ爲メ寒温ノ度亦大ニ差アリ

霖雨時節

十一月ヨリ四月迄ヲ降雨ノ季トス

氷雪時節

平原ニ於テハ絶テ雪ヲ見ザルトコロ多シト雖トモシエラ  
チバダ山脈ニ於テハ十二月ヨリ翌年三月マテノ間降雪アリ

有害虫類及禽獸

有害動物極メテ少ナシ「フィロキセラ」ト稱スル虫葡萄園ニ多少ノ損害ヲ與ヘ蝗虫モ時トシテハ生スルコトアリ有害獸ハ兔、鬆鼠、狐ノ類トス

生意風俗

人民ハ概シテ富裕ナリ本州中都合二十ノ貯蓄銀行ニ於テ預リ居ル貯蓄金無慮六千五百萬弗ニ達スル事實ヨリ推測スルモ其一般ヲ窺フニ足ルヘン  
家屋ハ市街ニ於テハ石造及煉瓦造多ク村落ハ概シテ木造ナリ

風俗ハ優美ニシテ能ク職業ヲ孜ム

河湖及運輸

最大ノ湖水ハ「ツワール」湖ト呼ビ長三十五英里幅十二英里

アリ其他ノ湖水ハ狭小ナリ河流ノ首ナルハ「サクラメント」及「サンホキア」ノ二流トス共ニ百英里程舟行ニ適シ運輸ハ鐵路汽船及帆船ニ頼ル

農産

小麥、羊毛、及葡萄酒ノ三種ヲ首トス其他雜穀、果物ノ類年々ノ産出高極メテ豊富ナリ

礦産

金、銀、石炭、及水銀其首ナル者ナリ

海産

當州ノ河湖、鮭ヲ以テ名アル者甚々多シ海魚亦乏シキニア  
「サレント」モ漁業ヲ營ム者罕ナリ

製作

羊毛、木綿、紙類、火藥類ノ製造最モ盛ナリ

易貨

貿易ハ年々盛大ニ赴クノ景況ナリ

牛

牧牛ノ業ハ蠶年ニ比スレハ衰頽ノ傾アリ目下ノ所ニシテハ當州ニ於テ消費スル食用牛ヲ牧養スルニ過キス

馬

馬牧ノ業甚盛ナリ而シテ當州産ノ馬ハ近年漸ク其名聲ヲ博スルニ至レリ

○四月八日金雨寒温儀七十三度

昨日ヨリ約アリ藤井領事ト共ニ「パロアルト村」リーラントスタンホルト」ノ牧場ヲ見ル氏ハ「カリホルニヤ州豪民十名

ノ一ニ列シ有名ノ政事家ニシテ前年本州ノ知事ニ撰舉セラレ今日猶ホ國會ノ議員タリ財産凡ソ一億弗アリ鐵道會社及某商社ノ長ヲ兼帶シ牧畜ハ職外ノ樂ミナリト云フ今日臨見セル「パロアルト」ハ桑港ヲ距ル三十一英里汽車往復シ牧園大凡數百万坪墾鉏周密園中別業アリ奇木珍卉ヲ植ヘ百花馥郁紅白ヲ交ヘ園林ノ風致愛スヘシ園後ニ家畜房ヲ設ケ飼養ノ馬トロ、ダングニ馴致スルモノ七百頭皆駿逸ニシテ價一万弗以上ノ者多ク千弗ヲ價スル者甚少ナシ就中牡馬エレキレ、チール號ハ紐育地方ヨリ九オノトキ購入シ今年十九オニシテ胤馬トナセリ當初購入シタル際其名高カラサルヲ以テ一万二千五百弗ナリシカ目下七万弗ノ價ニ達シタレトモ賣却セス之ヲ胤馬ニ使用シ莖尾法ハ一

日一回トシテ一年五十回ヲ限リ牝馬胚胎ノ成否ニ拘ハラ  
 ス一回五百弗ノ謝金ヲ收入スルト云フ近頃我國ヨリ馬種  
 改良ノ胤馬トシテ注文スルモノ皆二三千圓以下ノ價ヲ限  
 ルヲ以テ最モ良馬ヲ購入シ得ル能ハスト云ヘリ其駿逸ノ  
 多キ實ニ驚クヘシ此牧場外尙ホ一牧アリ米國在來種ニシ  
 テ競争馳驅ニノミ用ルモノ三百頭ヲ飼養シアル趣ヲ聞ク  
 偶強雨ニ會シ行ヲ果サス「リーワント」氏ノ資産ハ家祖ノ傳  
 來ニ非スシテ此富ヲ致シ殊ニ偉功ノ感賞スヘキモノアリ  
 「パロアルト」村ニ建設セン大學校ハ全ク氏カー一巳ノ財産二  
 千万弗ヲ抛テ創立シタルモノナリト云ヘリ  
 ○四月九日土曜朝雨寒温儀七十三度  
 本日發程紐育ニ赴クヲ以テ東京札幌等ヘノ信書ヲ郵寄シ

后二時半上途藤井領事宇田川書記生等送テ「オークランド」  
 ニ來ル

此日旅館ヲ發シテ馬車埠頭ニ達ス每半時對岸ノ「オークラ  
 ンド」ニ往復スル汽船アリ之ニ搭ス二十分間ニシテ着岸直  
 ニ汽車ニ移ル桑港ヲ發シテ東行スルモノ此汽船ヲ以テ鐵  
 路ノ起線トス已ニ發車行クコト須臾サクラメント河ノ下  
 流桑港内灣ニ入ル處ニ長大ノ汽船アリ甲板ニ軌鐵ヲ敷キ  
 陸ト接續セリ列車之ニ乗スレハ船忽テ數十ノ列車ヲ乘セ  
 テ渡ル甚奇觀ナリ后七時サクラメントニ晚餐此間地形左  
 右茫々タル平坦ノ沃野ニシテ牧畜場菓木園等到ル處ニア  
 リ所見ノ地概チ平坦山アリト雖モ皆峻險ナラス且樹木少  
 キヲ以テ一面ニ牧草ヲ播種シ家畜ヲ放牧セリ夜ニ入り寝



ニ就ク

○四月十日<sup>日</sup>雪、車中温暖、寒温儀ヲ檢スルヲ得ス  
前一時眠醒メ、玻璃窓ヨリ窺ヘハ、瀛車ハ隠森タル山谷ヲ涉  
リ左右ハ密林ニシテ、滿山ノ積雪尺許ト見ユ、今日尙ホ霏々  
トシテ雨雪アリ、後ニ聞ク此山海面ヨリ六千七百四十九尺  
ノ高ニアリト、前七時天晴、車中行厨ヲ用ヒ須臾ニシテ山ヲ  
下リ沙漠ニ出ツ、四望杳々、遠山ヲ有無ノ間ニ認ム、日夕二三  
ノ寒村ヲ經テ「エルユ」ニ晚食ス、此邊土人、インジヤン<sup>即チ</sup>  
赤人種ノ農業ヲ營ムモノアリ、兒女停車場ニ來リ散步スル  
者アリ、婦人ハ手巾様ノモノヲ以テ頭ヲ包ミ、金巾ノ粉ヲ穿  
ナタルハ、露國西比利亞地方土人ノ裝ニ似タリ、又支那人ノ  
移住シ若クハ勞役スル者モ往々見受ケタリ、茲ニ奇トスヘ

キハ此赤人種ハ面部ニ紅粉ヲ粧フタルモノ甚多シ、黑人種  
ハ又面部ヘ墨ヲ粧フモノアリ、皆其天稟ノ膚色ヲ濃厚ニス  
ルノ習俗ナリト云フ

四月十一日<sup>月</sup>雨雪

夜來風雪屢來ル行、右ニ「ソルトレーキ」ノ鹹湖ヲ見、左火山質  
ノ突岬タル山ニ沿テ行ク須臾ニシテ、又恢豁ノ地ニ出ツ、左  
右ノ山ヲ相距ル三四里若クハ六七里許、地味漸ク膏腴、牛ヲ  
放牧スル處多シ、「オクデシ」ニ達スル數里前ヨリ村落アリ、杲  
木園多シ、園中ノ桃花爛熳トシテ、白田ノ菽麥青々タリ、目下  
斯ノ如ク雪雨ヲ之ヲ傷ケサルハ、誠ニ異ト云フヘシ、前七時  
五十分「オクデシ」ニ達ス、此地東部ニ走ル鐵道ノ岐レテ、二線  
トナル處、數百ノ邑タリ、我一行ハ爰ニ朝餐シ、鐵道線ヲ南ニ

取り是ヨリ三十五英里ソルトレーキニ赴ク道路左ハ平地ヨリ突出シタル嶺ニ接シ右遙ニソルトレーキ湖ヲ見ル地平坦膏腴ニシテ牧畜ノ業盛ナリソルトレーキ湖ノ潮ハ塩分百分ノ廿五アリ海水ヨリ辛キコト五倍以上ナルヲ以テ塩田ヲ作り塩ヲ製スルモノアリ此鹹湖塩分多キヲ以テ魚介ノ生育スルコトナク漁獲ノ益ナキヲ以テ製塩ノ擧アルハ自然ナルヘシ獨怪ム只其事業ノ盛大ナラサルヲ十一時半ソルトレーキ町ニ達シウーカハウス館ニ投シ區内ヲ巡覽ス此地ハユーター州ノ首府ニシテ五十四年前モルモン人始メテ農業ヲ起シ現今市中ノ人口二万七千アリ季候ハ極暑九十八度極寒氷點下廿五度雨少クシテ積雪亦五六寸ヨリ貳尺ニ達スルコト稀ナリト云フ職業ハ鑛山ニ

從事スルモノト農業トナリユーター全州ノ鑛物一昨年ノ生産高七百六十一万千八百二十九弗ニ達ス市外ニ兵營アリ組育地方ヨリ分遣シタル兵八百名ヲ屯ス麥酒及鑛物製造所ノ外ハ工場ヲ見ズ此土元來無人ノ瘠土ヲ變シテ此繁華ヲ致セシモノモルモン宗祖バルガミヤンノ力ニ成ル所ナリ依テ先ツモルモン寺院ヲ見ルニ石造ニシテ方形ナルモノト煉瓦造ニシテ圓形ナルモノトアリ皆壯大ナリ又別ニ壯嚴ヲ極メタル石造ノ建築中ニ係ルモノアリ今ヲ距ル三十四年前起工三百五十万弗ヲ費シ今後尙ホ六年ヲ期シ滿四十年ヲ以テ竣功スルモノナリト云フ米人ノ大工事ニ力ヲ用ルスノ如キノ類多シモルモン宗ハ一夫ニシテ數妻ヲ蓄ルヲ無上ノ幸福トシ宗祖バルガミヤン七妻十五子

アリト云フ「バルガミヤン」死後僅ニ二十年許、其數妻ヲ置キタル各所ノ家屋現存シ又「バルガミヤン」ノ墳墓モ市中ニ在テ其妻四人ノ墳墓ヲ四隅ニ置キ鉄柵ヲ廻ラシ甚壯麗ナリ宗教ノ眞味數妻ヲ蓄フニ在ルヤ否ハ知ラスト雖モ米國政府ニ於テ新ニ其宗旨ニ入ルモノヲ禁シ法律上數婦人悉ク妻ヲ以テ論セス倫理上法律上共ニ正ヲ以テ評スルモノニ非サレトモ此無人ノ瘠土ヲ變シテ市ノ内外十万人口ヲ繁殖セシメタルハ誠ニ偉業ト云フヘシ市街道幅四十米突許、井字ニ劃シ方二百四十米突テ一區トシ之ヲ「プロ、ク」ト云フ夫ヨリ市外へ出テ農家「クエイル」ナルモノ、居テ見ル氏ハ三十五「エークル」我四万二千四百九十坪ノ土地ヲ耕シ牛、馬、雞、豚ヲ飼育シ農事ニ老練セリ就テ見聞スル所左ノ如

地價

一「エークル」三百六十弗(我一反歩ニ付米金八十九弗二十六仙余)

収獲

麥ハ一反ニ付貳石、牧草ハ一年三度ニ收入シテ六頓アリ一頓ノ價六弗ナリ

果木

林檎ノ所得ハ一反ニ付五十株許ヲ栽ヘ一株ニ付百斤ヨリ千二三百斤ヲ採收シ價一「ブッセル」(我四十四斤)ニ付一弗半許ナリ

此土白田ト雖モ旱損ヲ豫防スル爲メ溝渠ヲ開通シテ灌溉

ニ便ス

○四月十二日火曜晴

前十一時十分發車、左「ロッキー」山ノ枝脈ニ沿ヒ右ニ「ユータ」湖ヲ望ミ土地膏腴ナラスト雖モ農事盛ナリ「プロヴォ」ニ午餐ス中途新殖民ノ一部落アリ廣キ道路ヲ縱横ニ區畫シ井々タル棋面ノ如シ道漸ク東南ニ向テ「ロツキー」山ノ支脈ニ入ル米國ノ山勢傾斜ハ概チ緩慢ナレトモ鐵路ノ勾配ハ殊ニ強キヲ以テ一列車ニ機關車二個ヲ附シ行ク須臾ニシテ又一車ヲ添ヘ速度平地ニ異ナラズ僅ニ八塞ノ列車ニ機關車三箇ヲ附シタルヲ見ルハ之ヲ始トス日晡一山路將ニ盡キントスル所「カッスル」ノ名アリ怪岩奇石巉巖トシテ松杉其間ニ生シ風景甚絶奇ナリ薄暮稍平坦ノ處ニ出ツ

新移民所々ニ星散シ天幕ヲ用テ僅ニ雨露ヲ凌ケリ「グリーン」クツ「ア」ノニ晩食シ再ヒ「ロッキー」山脈ニ係リタレトモ暗夜眺望ヲ絶シ閑話臥榻ニ就ク

○四月十三日水曜雪

黎明窓外ヲ見レハ列車ハ山谷ノ間溪流ニ沿テ傾斜ヲ上リ雪紛々トレテ山河ヲ白盡ス間ハスレテ「ロッキー」山タルヲ知ル「プロツク」カノ「ン」ニ朝餐シ「ガン」ニソン「ニ」遠ス此間數十里傾斜少ナク路傍稀ニ牛ヲ放牧スル處アリ「ガン」ニソン「ハ」山間ノ廣潤ナル所ニシテ其近傍ニ鑛山アルヲ以テ鑛銀陶汰所ト數十ノ人家アリ凡ソ沿道移民ノ部落或ハ製造所ノ如キモ各停車場ヲ基軸トシテ之ヲ設ケ鐵道線外ニ危惡ノ馬車道ヲ通シテ彼是交通ヲ開ケリ前十一時「ユータ」山最險

ノ處ニ到ル一列車ノ八臺ヲ二分シ四列車毎ニ機關車二個  
ヲ附ス道羊腸傾斜甚シク機關車ノ發動ハ一緩一急怒掣ス  
ルカ如ク車中安坐スヘカラス仰キ見レハ前列車既ニ頂上  
ノ羊腸ヲ上リ顧ミレハ他ノ列車亦險ヲ冒レテ來ル車行山  
景兩ナカク奇觀ヲ極ム上ル半時許頂上ニ達ス風雪強ク寒  
氣肌膚ニ徹ス役夫雪ヲ除テ鐵路ヲ開クモノアリ會社員ノ  
車具ヲ監視スル者アリ此山海面ヲ抜ク一万一千尺空氣稀  
薄ニレテ稍耳鳴ヲ感ス是ヨリ列車ヲ舊ニ復シ機關車ヲ減  
シテ一個トナシ降路ノ險其上ルトキニ異ナラス「サワイダ」  
ニ達ス地少シク平坦人家十餘戸製鉛所アリ小憩午餐シ又  
下ル路線溪澗ニ沿ヒ「ロトヤルゴルジ」ニ到ル鎖造ノ棧道ア  
リ須更ニレテ「キヤノンシナー」ニ達ス溫泉浴場アリ監獄ア

リ一ノ部落ヲ爲セリ是ヨリ平地ニ出テ天晴レ雪亦止ム路  
傍農場多ク又石油ヲ産スル所ニシテ數個ノ井ヲ穿テ採取  
セリ今日險路ヲ渉ル爲メ時間ヲ費シ「デンバー」ニ達スル夜  
ニ入ルヲ以テ又機關車二個ヲ附レ后十時「デンバー」着車「ウ  
インドソルホテル」ニ投宿

○四月十四日水曜 寒温儀七十度

初メ鐵路ヲ「マハ」ニ取テ該地殖民事務局ニ就キ其景況ヲ  
問ハント期セシニ本線「マハ」ニ係ラサルヲ以テ此地ニ於  
テ殖民ノ實景ヲ見聞セント欲シタレトモ殖民ノ事ナキヲ  
以テ望ヲ達セス

「デンバー」府ハ「コロラド」州ノ首府ニシテ廿七年前初メテ聚  
落ヲナシ目下八萬ノ人口アリ市區ノ計畫壯大家屋美麗嚴

然タル一都府ナリ人民ハ牧畜ト採礦ヲ業トスルモノ多レ  
傍近ノ山皆金銀銅鐵ノ諸礦物ニ富ムト云フ警察署區役所  
治安裁判所等ヲ見警察署ニ於テ消防組ノ編制ヲ一覽セリ  
器具ノ準備馬匹ノ飼育等頗ル成頓セリ又治安裁判所ハ兩  
三年前落成シタルモノニシテ金額三十五万弗ヲ費シ成功  
二年ヲ經タリト云フ法廷ノ裝置各局ノ位置等甚宜シキヲ  
得タリ當府ヨリ東十英里ノ地ニ英人ノ移住スルモノアリ  
耕地ヘ灌水ノ工事盛ナリ其工事ハ會社様ノモノアリテ之  
ヲ起シ耕作人ノ灌水ヲ要ズルモノヨリ一年「エークル」ニ  
付金一弗半ヲ徵ス「デンバー」ヨリ一目遠望ノ地悉ク灌水ノ  
溝渠アリ此地ハ雨少ク土質ハ脆脆ニシテ早損ノ患アルヲ  
以テナリ此邊ノ荒原凡テ樹木ナク山亦崑石ニシテ僅ニ矮

松ノ類アルノミナレハ幅員ノ廣キニ比例シテ河流甚少シ  
旅館ニ歸リ晚食ヲ了シ后九時乘車「ナカゴ」ヘ向ケテ發ス米  
國ノ地空氣乾燥シテ物品ノ貯藏ニ東洋諸國ノ如キ燻濕ノ  
患ナキハ豫テ聞ク所ナリシガ此夕不圖綿織ノ手巾ヲ洗ヒ  
窓下ニ掛ケ置キ食事ヲ畢リシトキ既ニ乾燥水氣ナキヲ見  
タリ空氣ニ濕氣ナキ驚クニ堪ヘタリ

○四月十五日金曜日

早且「オクスホルト」ニ朝食シ「アクスタル」ノ郊原ニ出ツ四望  
際涯ナク滿目凡テ熱地ニシテ平坦茫茫々天ニ接ス爰ニ至テ  
始テ原野ノ廣大ナルヲ見ル地味亦前路ノ山間ニ比スレハ  
膏腴ニシテ牧畜及玉蜀黍ノ耕作盛ナリ后三時「リンコル」  
ニ午餐ス「リンコル」ハ「チアラスカ」ノ首府ニシテ繁盛ノ地

ナリ人口其他市區ノ景况ハ「デンバー」ニ一步ヲ輸スヘレ鐵路ハ縱横ニ岐シテ各地ニ走り又本州ハ玉蜀黍ノ耕作盛大ナルヲ以テ「リンコルン」ヲ始メ到ル處玉蜀黍ノ製粉所アリ四五十戸若クハ百戸内外ト認ムヘキ村落ハ此廣郊ニ棋數星散シ鐵道ニ沿タル處ハ每村落必四五分間停車シテ郵便ノ受授其他ノ用ヲ辨ス后五時「ブラッ」河畔ニ出ツ「ブラッ」河ハ「ミソリー」河ニ合スルモノニシテ河幅大約六百米突許水深カラスト雖モ小舟ノ渡ルヲ見タリ長大ノ鐵橋アリ汽車ヲ通ス我一行ハ水ヲ左ニシテ河岸ヲ下リテ之ヲ渡ラズ行須臾ニシテ「ミソリー」河鐵橋八百米突許汽車徐行シテ渡ル「パレファイ」クシヤンクシヨシニテ食堂ヲ列車ニ疾走中緩話晚食セリ後ニ聞ク此食堂車ハ夜中次驛ノ停車場ニテ放置セ

リト

○四月十六日土曜 黎明

黎明「バー」リソグトシテ過キ其市外ニテ「ミスシ」ビー「河」ノ鐵橋ヲ渡ル此河「メキシコ」灣ニ注ク世界第一ノ大河ニシテ鐵橋甚壯大ナリ郊原ノ中些少ノ丘狀ヲナシ細流其間ニ注キ間雜樹ノ叢生スルモノアレトモ地面ハ其凸凹傾斜ニ拘ラス凡テ熟地ニシテ牧畜ノ業盛シ村落ノ繁盛雜聞モ漸ク東スルニ隨テ漸ク其勢ヲ增加ス此日ハ朝餐午餐トモ列車中ノ食堂ニ喫シ后三時半「ナカゴ」府ニ達ス是ヨリ直ニ「パツ」フアロー」ニ赴カントシタルニ寢臺ヲ屬シタル汽車ナキヲ以テ明日午後五時ノ發車ヲ約レ「グランド」ハシフホク「ホル」ニ投ス當府ハ米國第三ニ位スル都府ニシテ人口八十萬

常備兵若干アリ、ミシガン湖ヲ隔テ、英領カナダト相對シ  
 貿易盛ニシテ各國ヨリ領事ヲ置クモノ、澳大利、白耳義、噠馬  
 佛蘭西、獨逸、英吉利、西班牙、墨西哥、和蘭、瑞典、諾威、瑞西、土耳其  
 伯爾西拉等ナリ、又屠牛場ハ各國ニ冠タル構造ノ物アリ、其  
 他製造場四千七百十一個所之ニ役スル工夫工女十五萬二  
 千二百八十人、其要スル所ノ資本金ハ九千九百九拾二萬五  
 千弗ニシテ、鑛物、木工、其他農産等ノ生産高昨年ノ調査ニ依  
 レハ合計三億五千五百五拾萬弗ノ價ナリト云フ、五十年前、湖  
 邊ノ濕地ヲ開キ、僅ニ聚落ヲナシ居タルニ、今ヲ距ル十六年  
 前、大火アリ、全市燒失シ、現時ノ景況ハ、其後ノ建築ニ係ルモ  
 ノナリ、市街正画、家屋宏壯一見シテ、大都會タルヲ知ルヘシ  
 殊ニ各地ヘ分派スル鐵道縱横ニ散布シ、晝夜汽笛ノ聲ヲ絶

タス、盛者明治四年岩倉全權大使ノ此地ヲ過ル、火災後ナル  
 テ以テ市民ヘ金五千弗ヲ施與シタルコトアリ、當時ノ人ヲ  
 シテ今日ノ實況ヲ見セシメハ、蓋シ驚クヘキモノアラシ  
 ○四月十七日、日曜、寒溫儀六十三度  
 前九時馬車ニ駕シ、ユニオンスト、クヤードノ屠牛場ヲ見ル  
 場内廿五万坪餘、家屋宏壯、殊ニ此邊鐵道ノ縱横ニ散布スル  
 テ以テ道路并ニ牛豚、繫場等空中ニ架設スルモノ少ナカラ  
 ス、日々許多ノ家畜ヲ屠殺シテ、是ヨリ東部ヘ輸出シ、事業亦  
 盛大ナリト云フ、本日、々曜休業ナルヲ以テ、實地ノ事業ヲ見  
 ルコトヲ得ス、又屠殺スル家畜ノ統計等ヲ聞カサルハ、甚遺  
 憾トス、歸路、サウスパークヲ見ル、此園地ハ廣クシテ平坦ナ  
 リ、各國ノ草木ヲ植ヘ、道ヲ縱横ニ通シ、馬車ヲ馳驅スルニ便



ナリ地形平衍ナルヲ以テ林泉ハ別ニ見ルヘキモノナレ、  
 カゴ市中、ミンガン湖ニ枕ミ全市ノ汚物ヲ岸下ニ注ク爲メ  
 飲料ハ湖中三英里ノ處ヨリ水筒ヘ引上ケ市中ヘ注ク水道  
 ノ工事壯觀ナリト云フ此日一行薄衣ノ裝ナリシガ北風暴  
 發、邪氣ニ冒サレシコトヲ慮リ終ニ歸宿ス途中書生体ノ我  
 國人三名脱帽ノ禮ヲ爲ス者アリシモ馬車馳驅レテ言ヲ交  
 ルニ追アラス午後、レイキシヨアデホーノ停車場ヨリ發ス  
 鐵路、ミンガン湖ヲ左ニシ平地ヲ右ニシ地勢一變シテ樹木  
 少ナカラス湖岸波狀ノ小丘ヲ爲シ松杉翠色ヲ放テ風致ア  
 リ行須臾ニシテ夜ニ入り色物ヲ辨セス列車中ノ食堂ニ晚  
 餐レテ寢ニ就ク

○四月十八日月 嘔日 駢

車中寒温ヲ驗スルヲ得スト雖モ殊ニ寒氣ヲ覺フ是レ米國  
 ノ東部大西洋ノ寒潮ニ接スルト緯度亦漸ク北シタルヲ以  
 テナルベシ黎明車窓ヨリ見ル所、左右曠漠ノ地稍卑濕ニシ  
 テ沮洳多シ然レトモ排水溝ノ設アリテ熱地ナラサル處ナ  
 ク殊ニ林檎園多ク間、其密枝ヲ剪ル者アルヲ見ル七時四十  
 分、バツフロー著車、松方成川二氏、ベキン號乗船ヨリ今日迄  
 同伴ナリシガ此驛ヨリ直ニ紐育ニ赴ク我一行ハ、ナイヤガ  
 ラヲ經ルヲ以テ二氏ニ別レ、瀛車鐵路ヲ異ニシ四十分間ニ  
 レテ、ナイヤガラニ達シ、カルタンバクホテルニ投宿、朝餐ヲ  
 喫シ馬車ヲ賃シテ、ナイヤガラノ瀑ヲ見ル瀑ハ世界第一ノ  
 名アリ、其水源亦世界第一ノ大湖、シエーペリナル、ミンガン  
 ・ビニローン三湖ノ水混同シテ落ルヲ以テ瀑ノ大ナル未ダ

曾テ見ザル所ナリ、カルタンバツク門前ヨリ鐵橋ヲ「ゴード」  
 嶋ニ渡ル島ハ米國ニ屬シ河幅三百米突水深キ處十英尺許  
 水中所々ニ小島アリ蟠松、偃杉、怪岩奇石ヨリ生ス橋ヨリ下  
 貳千英尺許ノ所ヨリ落テ瀑トナル之ヲ「アメリカ」瀑ト稱ス  
 「ゴード」島ト對岸英領「カナダ」トノ間ヨリ落ルモノ蹄鉄瀑ト  
 稱ス即チ三大湖ノ落ル所「ゴード」島ノ爲メニ西東ニ分派シ  
 テ二流ノ瀑トナル中間概チ五六百米突ナルヘシ英瀑ハ幅  
 六百米突水深サ二十英尺、覆盆ノ勢チナシテ落ツ瀑ノ中眞  
 盤石缺損シテ恰モ蹄鉄狀チナセリ故ニ蹄鉄瀑ノ名アリ兩  
 瀑共直下百六十七英尺、水落ル處深キコト百英尺ナリ是ヨ  
 リ下六七百米突ヲ隔テ、鐵造ノ釣橋アリ長サ千二百六十  
 五英尺、水面ヨリ高キコト百五十五英尺アリト云フ橋際米

國ノ税關アリ乗車税金一弗半ヲ徵收セリ渡レハ則チ英領  
 ニシテ望瀑ノ地ハ英領ヲ妙トス然レトモ時風雪頻ニシテ  
 眺望ヲ遮リ殺風景ヲ極ム歸路近傍果木園ノ實況ヲ見ント  
 欲シタレトモ日暮道遠ク雪殊ニ甚シキヲ以テ止ム

○四月十九日火曜快晴、寒温儀五十八度

前七時四十分「ナイアガラ」ヲ發シ再ヒ「バツパロー」ヘ戻リ更  
 ニ急行汽車ニ移乗シ八時五十分發車、「ローナエスター」サイ  
 ワキウス「ナルバニ」等ノ諸邑ヲ經、后八時紐育ニ達ス此間  
 人家接續、紐育ヘ近クニ從ヒ漸ク潤美ヲ加フ「ナルバニ」ヨ  
 リ川チ右ニシ小丘チ左ニス丘上松杉ヲ生シテ風致アリ豪  
 民ノ別莊多シ着車スルニ際シ吉田總領事、大久保、松方、成川、  
 玉利諸氏及御雇外國人等接迎、十六丁目「ウエー」ストミンス

ターホタル」ニ投宿

瀛車ノ急行其早キモノハ一時間ニ六十英里ヲ行クモノアリト云フ本日ハ前八時五十分「バツパロ」ヲ發シテ后八時十分紐育へ着スル迄十一時間餘ニシテ鐵路四百二十四英里ナリ停車時間ヲ合シテ一時間ニ四十英里弱ノ平均ナリ

○四月二十日水快晴寒溫儀六十八度

今朝領事館ニ到ラントスルトキ吉田總領事來訪アリ一行同伴「ブロクリン」橋府廳郵便局株式取引所等ヲ一覽一旦歸宿午餐ヲ喫シ后三時再ヒ吉田總領事ト與ニ「ホトソン」河ノ南端公園ニ到ル「グラント」將軍ノ墓アリ巡查二名立番セリ將軍ハ「サハヨ」州ノ産ニシテ曾テ南北戰爭ニ偉勳ヲ奏レ再度大統領ノ位ニ上リ名勢殊ニ貴ク老後紐育ニ終リタル

ナ以テ遺骸ハ堅固ナル石造ノ臥棺ニ納メ之ヲ公園ノ中ニ安置シ鉄柵ノ外圍ヲ爲セリ其形恰モ腕枕ヲ覆セタル如シ是ヨリ歸路ハブリツジ「橋」ヲ渡リ瀛車ニ乗ス紐育ノ地タル東西ニ短ク南北ニ長ク人口大約百三十万西「イス」河ヲ隔テ「ゼルシー」シナイ「及」ホーボーケン「人口廿五万東「イースト」河ヲ隔テ、人口七十五万管轄區域ヲ三分ニスト雖モ恰モ我日本橋區ト深川若クハ本所區ノ如シ之ヲ一轄シテ稱スレハ人口二百三十拾萬英京倫敦ヲ除クノ外世界ニ比類ナキ大都會ニシテ其年々人口ノ繁殖スルコト驚クヘシ數十年ノ後世界第一ノ都府タルヲ得ヘント云フ府内ノ壯觀ハ「イースト」河ノ架橋ナリ橋ノ長ク總計五千九百八十九英尺幅八十五英尺アリ中眞最高ノ所ヲ人道トシ其左右ヲ「ケーブ

ルカー「車道」トシ其左右ヲ瀛車道トシ其左右ヲ馬車道トス  
 今ヲ距ル五年前落成ノ工事ニシテ構造ノ壯大ナル目ヲ驚  
 カスニ足ル又市區南北ニ長キヲ以テ全區南北ニ往來スル  
 鐵道八線アリ皆熱鬧ノ地ナルヲ以テ軌道ハ屋上ノ軒端ニ  
 設ケ汽車轟々トシテ人ノ頭上ヲ走り鐵道ノ設アル街衢ノ  
 如キハ馬車道モ二線アリ「ケーブル」車道モ二線アリ鐵道ニ  
 依ラサル馬車アリ左右家檐ニ接シテ人道アリ車ニ乗ルモ  
 ノ歩行スルモノ充滿雜沓セリ「ケーブル」車輪ハ軌道ヲ走ル  
 ト雖モ其形狀ハ鐵道馬車ヨリ稍大ニシテ帆鐵ノ中眞地下  
 ニ運轉セシムル鎖ノ作用ニ由リ走り一時間ニ廿五英里ヲ  
 行ク偶然之ヲ見レハ車ノ進止自在ニシテ瀛車ノ機關車ヲ  
 除キ馬車ノ馬ヲ駕セサルモノト評スヘシ

○四月廿一日木曜晴寒溫儀七十度

前九時領事廳ニ到リ農業及殖民ニ關スル諮問ノ事件ヲ依  
 囑シ又重雄ヲシテ「カツスルガーデン」ニ就テ米國殖民ノ實  
 況ヲ調査セシム「カツスルガーデン」ハ殖民事業ヲ管理スル  
 所ナリ事務長「ヘンリーゼー」氏ノ談話スルニ近  
 來歐洲諸國ヨリ米國ニ移住スルモノ年々三十万人ヨリ四  
 十万人許ナリシカ昨年ハ四十万人餘ニ及ヘリ毎年四五月  
 移住スル期節ニシテ今ヤ則テ其期ナリ本日ノ調ニ依ルニ  
 此一週間ニ移民ヲ搭載シタル船二十五艘此人員一万人移  
 着セリト云フ其移リ來ル者獨逸人ヲ最モ多シトス開拓地  
 ハ政府ヨリ渡シモノハ一戸百六十「エークル」ヲ限り無代價  
 ナリ且地所家屋等ノ不動産ニ租稅ヲ課セサルハ米國ノ憲

法ナルヲ以テ除租年限等ノ制ナク會社ヨリ賣却スル地所  
 ハ其地方生活ノ度ノ冷熱ニ依リ價同シカラスト雖モ最モ  
 廉ナルモノ一「エークル」米金三弗ナリ移着スルモノハ皆移  
 任ノ費用及移着後營業ノ準備等ヲ爲スニ堪ルモノナルヲ  
 以テ金穀器具ノ貸與支給等ヲナスノ制度ナシ但疾病其他  
 不幸ニ遭遇スル窮民ハ之ヲ保護スルノ慈善會アリ此會ハ  
 政府ノ許可ヲ得テ移民ヲ搭載シ來ル船舶ヨリ乘客一人ニ  
 付金五十セントツ、ヲ船主ヨリ徴収シテ慈善會ニ屬スル  
 病院ノ維持ニ充テリ且移着營業スルノ州郡ハ移民ノ望ニ  
 任シ歐洲ヲ發スル前豫メ定ムル所ニ隨ヒ又着岸後直ニ紐  
 育地方ニ稼ヲ望ムモノハ之ヲ保牙スルノ會社アリ會社ハ  
 其依頼スルモノヨリ一人ニ付金一弗ツ、ヲ徴集シテ其維

持法ニ充ルト云フ

明日華聖頓ニ赴カントス偶九鬼全權公使ヨリ明夕紐育ニ  
 來ルヲ以テ發車ノ猶豫ヲ望ムノ電報アリ即チ來意ニ應ス  
 后六時吉田領事ノ招待ニ日本「クラブ」ニ赴ク該所ハ當地在  
 寓ノ我國人共同仮設シタルモノニシテ今夕ハ故ヲニ日本  
 料理ノ饗應アリ

○四月廿二日金時寒溫儀七十二度

領事廳書記生粟屋某ノ案内ヲ以テ「カツスルガーデン」ニ到  
 ル此日モ歐洲移民ノ着船シタルモノ甚多シ事務室及移住  
 民ノ爲ニ設ケタル病院等ヲ一覽セリ午後ヨリ「セントラル」  
 公園ヲ見ル園地長二英里幅半英里許井木泉石布置宜キヲ  
 得就中怪岩巨石天然在來ノモノ亦少ナカラスシテ殊ニ風

致アリ日晡遊客多クシテ車馬絡繹通路ニ充塞セリ

○四月廿三日土曜雨寒温儀七十六度

前九時九鬼全權公使齊藤海軍大尉ヲ從へ來着后三時半同公使ノ誘引ヲ以テ當府ノ豪商「マアカンド」氏ノ家ニ遊フ氏ハ壯大ノ家屋ヲ築キ各室ニ各國ノ物品珍奇ノモノヲ蒐集シテ樂メリ其日本室ナルモノニ入テ我邦稀有ノ奇品アルニ驚キタリ

○四月廿四日日曜快晴寒温儀七十八度

本日后四時五十分發車「ヒラデルヒヤ」ニ赴ク七時着車「ニユ」ラフエーエトホテル「ニ投ス紐育ヨリ」ヒラデルヒヤノ間地形平行凡テ熱地ニシテ目下雪後下種ノ季節ナレトモ本日々曜ナルヲ以テ到ル處休業各村落男女ノ聚散レテ遊フ

者多ク其衣服舉動優美ニシテ風俗甚高尙ナリ流車ハ急行

列車ニシテ「ウヰルミントン」シヨルマンタウンニテ所ニ停

車セシノミ中途「テラウエール」河ヲ渡ル此川「ベシルニア」

州ヲ貫流シテ「ヒラデルヒヤ」ノ海岸ニ注クモノナリ

○四月廿五日月曜雨寒温儀七十八度

前九時馬車ニ駕シ公園ニ到ル植物動物各國ヨリ蒐集シタルモノ多シ午后雨甚強ク爲メニ外出ヲ止ム

○四月廿六日火曜晴寒温儀七十五度

前九時「インデペンデントホール」ヲ見ル遺館ハ米國ノ獨立ヲ謀リシ所ニシテ古鐘ノ傷キタルモノ及其他ノ諸品ヲ陳列シ當時ノ形勢ヲ想像スルニ足ル今其各室ハ町會所ニ用ヒ華盛頓以下多クノ肖像ヲ掲ケ又種々ノ物品ヲ陳列セリ

一室ニ當時ノモノニシテ米國箴ニ蛇ヲ畫キタルモノアリ  
 昔日英國ノ歴制ヲ惡ムトキ蹈ンテ壓スレハ嘯ムト云義ヲ  
 寓シタルモノナリト云フ見終リ流車ヨリ「マレラント州」ボ  
 ルナモール」ニ赴キ、レンチルトホテル」ニ投ス偶、北海道農學  
 校助教太田稻造氏ノ出迎スルニ會ス氏周旋奔走至ラサル  
 ナレ當府ハ人口三十五万アリ昔年製糖ノ盛ナル處ナリレ  
 ガ業漸ク紐育ニ移リ衰頽ノ傾キアレトモ豪富アリ回復ヲ  
 謀ルト云フ歐州ノ移住民ハ此府へ直航シ來ルモノ少ナカ  
 ラス此一週日間ニ五千人ノ移着アリ多クハ獨逸人ナリ又  
 府内ニ米國著名ノ大學「シヨンスホツアキンス」アリ前日我  
 農學士佐藤昌介ノ博士トナリシモ此校ナリ今尙ホ太田、元  
 良等諸氏留學セリ太田氏ノ嚮導ニ依リ校内ヲ一覽ス結構

壯大ニシテ器具充備セリ殊ニ輓近ノ發明ニ係ル「サイユフ  
 井リクス」ニ用ル諸器械ノ新奇ナルヲ見ル其他「マレラント」  
 州ノ大學校ト完全ヲ悉クシタル病院アリト雖モ到リ見ル  
 ノ餘暇ナカリシ歸路市區ヲ散步ス我國人木村某ノ雜貨店  
 アリ就テ小憩旅館ニ歸リ晚餐ス此海岸牡蠣ノ産ニ名アリ  
 其味亦美ナリ然レトモ大サハ我北海道厚岸ノ牡蠣ニ及ハ  
 ス近來學問上ノ究理ニヨリ種ヲ下シテ繁殖セシムル法ア  
 リト云ヘリ此夕九鬼全權公使モ紐育ヨリ華盛頓ニ歸ルヲ  
 以テ此驛ニ會シ共ニ華盛頓ニ趣クノ約アリシカ公使ト時  
 間ヲ異ニシタル爲メ各別ニ夜ニ入り華盛頓ニ着、エヒット  
 ホテル」ニ投ス府ニ達スルヤ我公使館附赤羽書記官以下數  
 名ノ來迎スルニ會セリ太田氏モ「ボルナモール」ヨリ同伴シ

ナ來ル

○四月廿七日水快晴寒温儀七十八度

前七時馬車ニ駕シ「エンストリート」ノ公使館ニ赴キ九鬼全權公使ニ面會シ齊藤海軍大尉ノ案内ヲ以テ府外ノ「ソルジエヤースホーム」ニ到ル該所ハ老兵ヲ給養スル所ニシテ目下六百ノ養兵アリ所長ノ士官以下總テ退職ノ軍人ヲ以テ組織セリ其構地廣大ニシテ林泉甚風致アリ馬車道ヲ縱横ニ穿テ珍木奇草多ク時春暖櫻桃海棠林檎等百花爛熳紅白ヲ交ヘ松杉其間ニ雜ハリ空氣甚清凉ナリ營舍内寢室、食堂、玉突場等ヲ見ル皆清潔ニシテ殊ニ寢室ノ如キハ鐵棒ニシテ螺旋ヲ施シ精良ノ毛布ヲ覆ヒ紅白ノ紋アル「カツサン」ヲ用ヒタル如キハ尤モ美麗ナルヲ覺フ家屋少シク狹隘ナル

ヲ以テ長二百尺ニ幅百五十尺ノ家屋建築中ニ係ルモノアリ其費額十八万弗ヲ要スト云フ本日所長病アリ軍曹其各所ヲ案内セリ是ヨリ屋後ニ出レハ昔年「メキシコ」ノ役ニ戰死シタルモノ、墓所アリ大理石ノ碑點々整列其數幾千ナルヲ知ラス歸路村落ノ間ヲ通過シテ華盛頓府ニ入り專賣免許所ニ到ル石室壯大室内專賣免許シタル物品ノ摸型ヲ陳列セリ其數勝テ計フヘカラス既ニ專賣免許ヲ爲レタルモノニシテ四十萬餘ニ及フト云フ盛ナリト謂ヘレ時午時ヲ過ルヲ以テ旅館ニ歸リ午餐ス后二時ヨリ國會議事堂ニ上ル其壯大ナル一見シテ此大國ノ政事ヲ議スル所タルヲト知スヘレ

此日議事堂中ニ高等法院ノ開廷アリ暫ク傍聽セリ判官皆



七十以上ノ白髮老人ニシテ應答靜肅爭論ノ場タルニ似ス  
 華盛頓ノ地タル議事堂ヨリ四隅ニ大道ヲ貫キ之ニ正角ナ  
 ル縱横ヲ區画シ市街ハ幅五十米突許アリテ多クハ「セメン  
 ト」ノ叩キ地ニシテ其清潔ナルコト濯フカ如シ議事堂ノ前  
 面ニ巨大ナル書籍館建築中ノモノアリ此地所繁股ノ中央  
 ナルヲ以テ所有主論アリ久シク建設ノ議行ハレサリシニ  
 昨年議決シ建築規模ノ廣大ナルハ蓋シ世界第一ノ書籍館  
 ナリト云フ歸路ヲ迂シテ十六丁目街ヲ過ク華盛頓「モニユ  
 ーメント」紀念表アリ高サ五百五十五尺中眞ニ「エレベート  
 ル」ヲ施シ尖頭ノ窓口ニ達スルヲ自在ナラシム凡ソ各國ニ  
 アル紀念表ノ數少ナカラスト雖モ高キモノハ是レ亦世界  
 第一ト稱セリ米國ノ富饒ナル世界第一ヲ稱スルモノ土地

ノ廣大ナル鑛山ノ巨多ナル鐵道ノ延長ナル「スーペリタル」  
 湖ノ巨大ナル其他「ナイアガラ」瀑ノ豪壯「ブロックリン」橋議  
 事堂紀念表書籍館等其數甚少ナカラス誠ニ羨ムヘントス  
 十四丁目街ニ出レハ南北戰爭ノ「バノロマ」アリ之ヲ見テ歸  
 館シ齊藤大尉ト共ニ晚餐ス此夜僧「マルガント」氏其寺中ニ  
 於テ故「グラント」大將追善會ノ催アリ九鬼全權公使ノ誘導  
 ナリテ重雄ヲ隨ヘ該會ニ赴ク場中數千人ノ群集ナレトモ  
 我一行ハ特ニ該會幹事ノ優待ヲ受ケタリ須臾ニシテ唱歌  
 アリ次テ誦經アリ畢テ故將軍ノ知己タル將官其他「メキレ  
 コ」國全權公使等ノ演說アリテ十一時退散セリ

○四月廿八日曜本雨寒温儀七十八度

前十時公使館付三崎書記官ノ案内ヲ以テ博物館ヲ一覽セ

リ館ハ農務省構内ニ在リ各國古今ノ物品ヲ網羅シ盡セリト云フヘシ此構地内恰モ公園ノ如シ地平坦ナレトモ道路ノ開通草木移植ノ位置等甚宜シキヲ得園中ノ百花滿開セリ中ニ緋桃海棠紅楓等ノ樹ハ間ハスシテ我國ヨリ移植シタルモノト知ルヘシ

旅館ニ午餐レ后二時九鬼全權公使ノ誘導ヲ以テ一行騎馬「アーリントン」ニ赴キシガ大雨ノ爲メ途中ヨリ歸ル又重雄ヲ農務省ニ遣ハシ農業ニ關スル質問ヲ爲シタリ農務長官「ノルマンゼーコールマン」氏懇切ナル談話アリ曰ク日本ノ北海道ハ人烟稀少ナルノ地ナルヲ以テ第一ニ牧畜ノ業ヲ盛ニシ第二ニ何ノ業ヲ起スヘキカヲ熟慮シ第三ニ移民ヘ便利ヲ與ヘル爲メ部内ノ事物ヲ詳細ニ新聞紙ヲ以テ廣告

スルコト等ヲ以テセリ其他殖民保護ニ關スル事ヲ尋テタレトモ内務省ノ所管ニ屬スルヲ以テ分明ナラス製糸ノ試驗場穀物ノ種物部等ヲ一覽セリ製糸器械ハ蒸氣機關ニテ運轉シ繭ノ數ヲ限ラズ糸ヲ續キ出スノ仕組皆器械ノ作用ニ依リ人工ヲ省クノ法最モ新奇ヲ覺ヘリ今其試用スル所ノモノハ僅ニ四年前「セレル」氏ノ發明ニシテ漸次進歩ヲ加ヘ流力ハ三馬力ニシテ拾二個ノ製糸嚮ヲ裝シ毎日八時間ノ就業ニシテ四人(現ニ六人ヲ要セリ)ヲ使役シ八磅乃至十磅ノ繭ヲ費シ二磅ノ生糸ヲ製スト云フ米人製糸ノ業ニ慣ハサルヲ以テ伊太利人ヲ雇役セリ是レ米國ノ西部ニ産スル兎惡ノ繭ヲ以テ試驗中ニ係ル所ノ比例ナリ若シ精良ノ繭ヲ用フレハ一日三磅ノ製糸ヲ得ラルヘシ然レトモ其收支

俄フヘキヤ否ニ至テハ未タ知ルヘカラス又種物部ハ穀菜  
精良ノ種子ヲ購贖シテ各州ノ望ニ應シ配付スル所ナリ部  
長ウヰルヤムエムキンヅ氏種物ノ良否試験法及耕作者ノ  
報告例等ニ關スル懇到ノ談話アリ所要ノ書類ヲモ贈與セ  
ラレタリ時四時官衙退散時限ニ際シ歸宿セリ米國ノ風俗  
官廳ノ書記並ニ職工ノ業ニ就クモノ婦人多ク一室内所長  
等一二男子ノ外ハ數十人ノ婦女ニテ算筆ニ從事スルヲ見  
受タリ退散時限廳門婦人群ヲ爲セリ

○四月廿九日金雨寒温儀六十七度

本日一行大統領ニ謁見セリ午十二時赤羽書記官公使館ヨ  
リ來リ誘フ服裝ハ豫メ公使ト謀リ武四郎ハ「フロックコ  
ト」ニ略綬ヲ帶ヒ重雄、元吉ハ禮裝、泰次郎、宗一郎ハ「フロック

コート」ヲ着シ車ヲ公使館ニ寄セ九鬼全權公使并ニ書記官  
ヲ同伴シ國務省ニ出頭シ卿「バーヤード」氏ニ面會卿ノ案内  
ヲ以テ大統領ノ官邸ニ赴キ招客ノ室ニ入ル暫クシテ大統  
領クリーヴランド閣下我一行ヲ請シ一々握手ノ禮ヲ爲シ  
畢テ武四郎左ノ詞ヲ述ヘ赤羽書記官翻譯ヲ爲ス

今般貴國ニ來リ各地ニ遊ヒ至ル所懇遇ヲ恭フスルノ榮  
ヲ謹謝ス

大統領左ノ詞ヲ賜フ

今般卿ノ來遊ヲ忝フス何處ニテモ十分ニ閱覽ヲ乞フ幸  
ニ參考ニ供セラル、モノアラハ誠ニ満足ナリ且此地逗  
留ノ日限ハ幾許ナリヤ又是ヨリ何國ニ赴カル、ヤ

答

是ヨリ四五日間當地及紐育近傍ニ遊ヒ夫ヨリ歐羅巴ヲ  
經テ露國、清國等ニ赴クノ準備ヲ爲セリ恭ク本日謁見ヲ  
賜フヲ謝ス

大統領重テ左ノ詞ヲ賜フ

卿此地滯留ノ日少ナク殊ニ遺憾ト存ス前路宜シク自重  
セラレヨ

畢テ退散國務卿、同次官、書記官長、農務卿等ノ家ニ名刺ヲ通  
シテ歸ル午後赤羽書記官ト與ニ農務長官ニ會シ昨日重雄  
等ノ爲ニ勞ヲ執ラレタルヲ謝シ霎時農務ニ關スル談話アリ  
歸路印刷局ヲ一覽ス我邦人、大山某場中ニ在リ各室ヲ案  
内セリ彫刻物等精巧ヲ盡スモノアリ此日午時ヨリ重雄ハ  
元吉及太田稻造ヲ隨ヘ「カビン」橋ニアル老農ト一マ

スダウリング」ノ農園ヲ巡視セリ

園ハ「マレラント」州「カビン」橋ヨリ一英里餘南ニ在リ  
道路ハ官道ニシテ「ボトマツク」川ヲ左ニシ其上流ニ向ヒ左  
右熱地多ク皆牧場ナリ路傍華聖頓市區用水ノ源泉アリ人  
工ニ成ル者ナリト雖モ其巨大ナル「恰」湖水ノ如シ地形  
波狀ヲナセドモ傾斜緩緩ニシテ耕地トナスヘカラサル所  
ナシ道ノ左ニ運河アリ二百英里ノ上流「カニバラ」フンド「石  
炭山」ヨリ始マリ華聖頓ニ達スルモノナリト云フ「トーマス  
ダウリ」ンク「氏」ノ老農タル「ハ」昨日農務卿ノ指名シタル所  
ニシテ「氏」ハ府内ニ居住シ商業ヲ營ミ傍ラ農場ヲ開ク者ナ  
リ此日農場一覽ヲ乞ヒタルニ「氏」喜ヒ迎ヘ共ニ馬車ニ駕レ  
農場ニ到ル途中地方農業ノ實況ヲ聞キ得タルモノ左ノ如

「トーマスダウリンク」氏ハ園地六百「エーケル」ヲ所有シ未タ  
 墾鉏セサルノ地若干アリ牛九十六頭馬七頭ヲ飼育セリ之  
 カ爲メ使役スル雇夫五人給料一人一ヶ月金貳拾弗外ニ牛  
 一頭ト地所若干ヲ貸與シ牛ノ飼料ハ一頭草一「ブツシエル」  
 「ビイル」粕半「ブツシエル」但三十「ブツシエル」ニ付食塩一半「ガ  
 ロン」及ヒ麥麩半「ガロン」ヲ以テ一日ノ料トシ水ハ水溜ヲ設  
 ケテ適意ニ吸飲セシム乳汁ハ毎日「ホールタイン」種ヨリ一  
 「ブツシエル」アシヤ種ヨリ五「ガロン」内外ヲ搾取ス右ニ用ル  
 所ノ牧草ハ一年一度ノ收穫ニシテ一「エーケル」ヨリ一噸半  
 乃至二噸小麥ハ一「エーケル」ヨリ三十「ブツセエル」ナリト云  
 フ牛ヲ放牧スルノ期節ハ五月初ヨリ十一月中旬マデテ限

リトシテ舍飼セリ又此園中林檎多シト雖モ果實ヲ結フコ  
 少ナシ其原因如何ヲ問フニ瓦斯ヲ製シタルノ殘滓ハ各種  
 ノ植物ノ肥料ニ殊功アリテ獨リ果木ニノミ害アリ此園中  
 瓦斯滓ヲ多ク培養ニ供スルヲ以テ他ノ植物ニ益アルモ林  
 檎ニハ最モ害アリト云フ樹ノ大ナルコト兩手之ヲ抱テ合ス  
 ルコト能ハス

又聞ク米人ノ新ニ開墾ニ從事スルモノ農家一戸ノ耕地八  
 拾「エーケル」ヲ限り其起業ニ要スル費用概計ハ左ノ如シ

- 三百五十拾弗 家屋 貳百五十拾弗 納家
  - 三百弗 馬二頭 貳百五十拾弗 農具
  - 六百弗 初年雇切役夫二人分給料
- 但初年ニ白田五拾「エーケル」強シ墾鉏スルノ概算ナリ是

レ固ヨリ平地ノ豫算ニシテ木石等アルノ地ハ此比例ニ依ル可ラス

此村ヨリ「ボトマツク」川十五英里ノ上流ニ瀑アリ甚壯觀ナリシガ今ヲ距ル十五年前ニ比スレハ水量大ニ減セリ是レ米國ハ山林保護ノ制ヲ樹木ヲ濫伐スルニ寄因スルト云フ

日暮九鬼全權公使ノ招待ニ公使館ニ赴ク

○四月三十日土曜快晴寒温儀七十三度

本日ハ「マウントヴアル」ニ在ル故華聖頓大統領ノ舊居ニ到ル市區ヲ距ル十七英里「ボトマク」川ヲ下ル兩輪ノ蒸氣船アリ「マウントヴアル」ニ遊覽ノ客ヲ搭載スル爲メニ一日一回ノ航行ヲ開クモノナリ前十時拔錨船中樂ヲ奏シ

テ錢ヲ乞フ者アリ船客爲ニ無聊ヲ遣ル「アレキサンドリヤ」  
「ワシントン」砲臺ノ二ヶ所ニ寄岸シテ十二時彼地ニ達ス「ワシントン」府外ニ出ルトキ沿岸ニ砲兵ノ營アリテ練兵セリ又「ワシントン」砲臺ハ華聖頓ヲ防衛スルニ要害ノ地ニシテ此砲臺ハ南北戰爭ノ時ニ設ケタルモノナリト云フ  
華聖頓ノ舊居搆地面積元八千「エークル」アリシテ今其若干ヲ減シ「ボトマツク」河ノ岸高燥ノ地ニ在リ眺望殊ニ好シ岸ニ上レハ華聖頓及婦人ノ遺骸ヲ収ムル石櫃二個ヲ安置シ煉瓦石ヲ疊ンテ之ヲ覆ヒ正面鐵柵ヲ設ケリ是ヨリ右ニ華聖頓ノ居宅庖厨廐倉庫花園氷室等具備セリ華聖頓大統領ノ職ヲ止メテヨリ閑居シタル處室内種々ノ遺物存在シ中ニ我國製造蒔繪ノ香合アルヲ見ル此舊居ヲ保存スルハ各

州ノ分擔ニシテ平素之ヲ守ルノ費用ハ一ノ婦人會アリテ  
支辨スル所ニ係ルト云フ其遺物ヲ見テ當時ヲ回顧スレハ  
轉々懷古ノ情ニ堪ヘス萬國ニ例ナキ國憲ヲ定メタル英傑  
ノ居長ク偉名ヲ千歳ニ殘スニ足レリ此構地内ノ廐ニ二馬  
アリ馬丁馬車ヲ駕スルヲ見ルニ初メ一馬ヲ牽出シ車ノ轅  
ニ附着スレハ一馬跡ヨリ來テ車前ニ整列ス馬ノ教育ニ訓  
レタル往々此類多シ

歸路九鬼全權公使ノ饗宴ニ赴ク

○五月一日曜快晴寒溫儀七十八度

公使館ニ到リ出發ヲ告ケ前九時華聖頓ヲ發ス全權公使以  
下在留ノ我國人送テ停車場ニ來ル車中「ヒラデルヒヤ」ニ午  
餐シ后三時四十分紐育ニ達シ「ワイーストミンスター」ホテ

ルニ歸ル

○五月二日曜晴寒溫儀七十度

吉田總領事、栗屋書記生、來訪前十一時發車「ニウバルグ」  
「パウペルトン」ノ農場ヲ一覽ス場ハ三萬五千「エークル」アリ昨年  
着手セシモノニシテ未ダ整頓セスト雖モ牛、豚、鶏等ノ家畜  
ノ飼育頗ル盛ナリ「ニウバルグ」入口一萬以上市外豪商紳士  
ノ別荘住宅等多クシテ其壯大清潔未ダ曾テ見サル所ナリ  
地形波狀ニシテ宅地自然ニ林泉ノ趣アリ道路廣ク兩側ニ  
櫻及楓ヲ密植シ清麗瀟洒甚愛スヘシ此日汽車紐育ヲ發シ  
「フヰツシキール」ニ停車シ「ホドソン」河ヲ渡ル河幅一英里以  
上アリ汽船ヲ用フ「ニウバルグ」ト「フヰツシキール」ハ水ヲ隔  
テ、相對スル市區ナリ后七時「ホドソン」川ヨリ乗車紐育ニ

歸ル

○五月三日 火晴、寒温儀六十七度

明日英國郵船「シヨルマニツク」號ニテ「リヅアール」ニ渡ルノ準備ヲナシ重雄ヲ領事館ニ遣ハシ英國爲換金受授ノ手續等ヲナセリ此夜吉田、大久保、栗屋、中川、及米人「ヘイスナング」氏ヲ招キ晚餐ヲ饗セリ

今將ニ此地ヲ發シテ英國ニ渡ラントスルニ當リ米國ニ於テ目撃シタルモ、ノ大概ヲ舉クレハ第一、國ノ富饒ヲ爲レタルモノハ海陸運輸ノ便自在ニシテ西桑港、東紐育共ニ巨大ノ良港アリテ内外ノ交通織ルカ如ク且其用意ノ周密ナルハ大洋ヲ航スル船舶皆埠頭ヘ附着シ乘客ノ上下スルニ解船ヲ用ヒス其安全ナルコト兒女子ノ爲メニ特ニ至便ヲ

覺フ又鐵道ハ大陸ヲ橫斷シテ東西ニ通スルモノニ線之ニ縱橫ノ線路ヲ分岐シテ全國ニ聯絡シ其旅客ニ接スル如キハ停車場ヲ發着スル毎ニ「ボーイ」出迎ヘ荷物ヲ保護シ切符ノ買入、休憩ノ場所等ヲ示シ殊ニ外國人ニシテ行旅ニ馴レサル者ト認ムルトキハ鐵道ノ掛員出來リ丁寧ニ其所向ヲ問ヒ自カラ荷物ノ揚卸ヲ助クル等最モ惻切ヲ盡セリ第二、國權ノ維持ハ兵力ヲ專トセサルヲ以テ僅ニ二萬五千ノ常備軍ヲ全國ニ配置シ海岸警備ノ如キハ桑港、及紐育ニ砲臺アルヲ見タリ陸軍士官學校ハ「ウエストポイント」ニアリ毎半貳百五十人乃至四百人ノ生徒ヲ教育シ卒業者ノ内ヨリ二百五十名ヲ少尉ニ任シ其餘ハ各自ノ業ニ就カシム又各州ニ民兵ナルモノアリ工商ノ少年相集テ兵學ヲ講シ一朝



事アレハ軍事ニ從ハントスルモノ恰モ我後備軍ノ如シ之  
 ナ歐洲ノ諸國ニ比スレハ兵備ニ要スル費ヲ以テ他ノ事業  
 ナ經營スルコトヲ得ヘシ又海軍ハ近時擴張ノ必要ヲ感シ  
 昨年ノ國會ニ於テ豫算増加金額壹千二百萬弗ヲ議定シタ  
 ル如キ富國ノ事業誠ニ驚クヘシ目下常備兵所用ノ銃ハ「ス  
 プリジグフヒール」ナルモノニシテ殊ニ精銳ノ器ナリ近  
 項連發銃ノ改良説起リテ「ロリ」レ「ミン」ト「レリ」ノ製造アリ  
 ト雖モ未タ常備用ニ供スルニ至ラス尙ホ頻リニ改良工夫  
 中ニ係レリ此「レ」ミン「ト」ン「リ」ノ連發銃ヲ發明スルヤ夙ニ  
 世ニ公ケニシタルヲ以テ歐洲ノ連發銃ヲ製スルノ資料ト  
 ナリシコト少ナカラスト云フ米人ノ眞率物ヲ秘セサル以  
 テ見ルヘシ第三天與ノ物品ニ富ムハ他邦ノ企テ及フヘカ

ラサルモノアリ土地廣大氣候順和ニシテ耕作牧畜ニ適シ  
 殊ニ西部「カリホルニア」州ノ如キハ夏清涼ニシテ冬温暖、四  
 時草木凋落ノ患ヲ蒙ラサルモノ多ク爲メニ植物ノ發育亦  
 異常ナリ今其聞ク所ノ一二ヲ揚クレハ甜菜ノ大ナルモノ  
 重量數百斤或ハ地上ニ數尺突出スルモノアリ又内地金、銀、  
 銅鐵ノ鑛山甚多ク近來盛ニ鐵ヲ產出スルカ爲メ英國ノ鐵  
 價ニ大ニ影響ヲ及ボシタルト云フ石炭、石油モ亦多ク產シ  
 殊ニ家屋材ニ用ル大理石、花崗石ノ如キハ到ル處ニアリ煉  
 瓦ニ製造スル粘土ノ如キハ其質細微ニシテ良好ナリ此地  
 ノ廣大ナル此ノ如ニシテ諸產物ノ多キ亦此ノ如シ國ノ富  
 庶ナル固ヨリ人爲ニ依ラサルモノアリ第四國民ノ風俗ハ  
 眞率ニシテ親ミ易ク其氣象ニ至テハ國家ニ關スルノ事細

七十  
大トナク自任ノ風アリ自然高尙ノ氣質ヲ有セリ近來歐洲  
各國ヨリ移住スルモノ、中ニハ適々貧民ナキニアラスト  
雖モ在來ノ白人ハ概チ富饒ニシテ生計ノ度綽々餘裕アリ  
婦人ハ男子ト同ク教育ヲ受ケ容儀風采自然ニ貴ク官衙諸  
會社ノ書記或ハ職工等ニ從事スルモノ少ナカラス舟車ノ  
乘客市街往來ノ人男女ノ數殆ント相半スヘシ東洋諸國ノ  
如ク中等以上婦人ノ外出ヲ爲サル風俗ニ比スレハ蓋シ  
月魁ノ差ト謂ヘシ畢竟スルニ米國ノ國是ハ富國ヲ主トス  
ルヲ以テ盛年北境アラスカノ荒原ヲ露國ヨリ買入レ殖民  
ノ保護ヲナレ或ハ英領加奈陀ノ國境ニ置兵ノ要ヲ説クモ  
ノアレハ却テ其土地ヲ購求スヘシトノ勸議ヲ發スルモノ  
アリト云ヘリ蓋シ地球半面ニ獨立シテ他國ニ境界ヲ接セ

ス以テ外國ノ交渉ヲ絶タント欲スルモノ、如シ然リト雖  
モ内國已ニ年々數十萬ノ歐人移住増加セリ強兵ニ依ラス  
レテ之ヲ永年ニ保ツテ得ヘキヤ否ハ未ダ必シモ現時ノ景  
況ノミヲ以テ論スヘカワサルモノアラン

○五月四日水曜 寒温儀七十一度

后一時旅館ヲ出テ、ホワイトスターライン、埠頭ヨリ乗船、二  
時三十分拔錨ス吉田總領事以下紐育在留ノ諸氏送テ船ニ  
來ル、シヨルマニツク號ハ、ホワイトスターライン會社ノ所  
有ニシテ千八百七十五年愛蘭土、ベルフ、ストニテ製造シ乘  
組總員五十八名、船長サ四百六十八英尺、幅四十六英尺、登簿  
噸數五千八百、實量三千百四十九噸、馬力七百五十ニシテ速  
力最迅十六節、此航海上等船客百八十二名、下等客百六十名

乗船ハ皆十數日ノ前ニ豫約シ置クモノナリ時航海ノ好時  
節ナルヲ以テ米國ノ婦人歐洲ニ遊ブ者甚多レ船「ホドソン」  
河口ヨリ「アタランナック」ニ出テントスル處左右砲臺アリ頗  
ル堅牢ナルカ如シ后七時サンデンホークルークライトノ  
燈臺ヲ左舷ニ見ル山色模糊トシテ有無ヲ辨セス之ヲ米國  
ノ名殘トス

○五月五日木快晴寒温儀七十五度

海波平穩恰モ家屋ニ坐スルカ如シ船ハ東北東ヲ指シテ進  
ム微レク東北風アリ甲板上寒キヲ覺フ航路既ニ洋中ニ出  
タルヲ以テ四望杳々山ヲ見ス只北米沿海ヲ航行スル汽船  
或ハ風帆船ヲ稀ニ見ルノミ昨四日后二時半紐育ヲ發シテ  
ヨリ本日正午迄航路二百九十一海里西經六十七度三十七

分北緯四十度四十三分ニ在リ

○五月六日金曇寒温儀六十八度

今曉ヨリ風位正東ニ轉シ少シク力ヲ加ヘタルヲ以テ片帆  
ヲ卸セリ此一晝夜航路三百五十二海里西經五十九度五十  
五分北緯四十一度廿五分ニアリ稍風波アリト雖モ船体動  
搖セス是レ其構造ト吃水ノ重量ニ格別意ヲ用ヒタルモノ  
ト信ス

○五月七日土晴而風寒温儀六十五度

風波昨日ニ異ナラスト雖モ船体頗ル平穩ナリ只逆風ナル  
ヲ以テ速力ヲ妨ケタリ此一晝夜航路三百四十海里西經五  
十二度二十四分北緯四十二度十四分ニ在リ洋中一物ノ眼  
ヲ遮ルモノナカリシニ后五時半左舷ニ巨大ナル風帆船ヲ

遙ニ見認メ直ニ食堂ニ入ル外人ノ談スルヲ聞クニ帆船ト見認メタルモノハ船ニアラスシテ氷塊ノ北氷洋ヨリ流ル、モノナリト流潮ノ爲メ此夕頗ル寒冷ナリ

○五月八日照快晴寒温儀五十八度

航路今曉ヨリ「カルフストリーム」ノ流潮ニ入リタルヲ以テ微ク温暖ヲ覺フ此一晝夜航路三百四十九海里西經四十五度四分北緯四十四度十三分ニ在リ此夕眞ノ風帆船ヲ見認タリ

○五月九日照陰晴不定寒温儀七十五度

曉來南風起テ頓ニ温暖ヲ加ヘ船中綿衣ヲ脱ス風斜メニ帆ヲ揚ケ船体少シク動搖シ殊ニ昨夜迄逆風強カリシヲ以テ此一晝夜航路三百三十四海里西經三十八度三分北緯四十

六度五十一分ナリ后二時又風帆船一艘ヲ駛越セリ日暮雨ヲ帶ヒ風波益加ハル

○五月十日照火晴寒温儀七十一度

宿雨霽レ南風昨日ノ如ク斜メニ帆ヲ揚ケ此一晝夜航行三百七十五海里西經廿九度廿八分北緯四十九度廿分ニ達ス日夕船中ニ於テ斬髮入浴

○五月十一日照水海霧寒温儀七十度

海波極メテ平穩昨日來ノ航路三百六十八海里西經二十八度北緯五十度三十二分ニ在リ后五時左舷遙ニ漁船ノ吐烟シテ行クヲ見ル

○五月十二日照水晴寒温儀六十五度

海波平穩昨日ノ如シ前八時朝食ヲ畢テ甲板ニ上レハ英國

愛蘭土ノ陸地既ニ左舷ノ目睫ニ在リ漁船片々海濱ニ碁布  
シ稀ニハ遠ク洋中ニ出ルモノアリ此一晝夜航路三百六十  
四海里西經十度三十五分北緯五十一度二十三分ニ在テ寄  
港スヘキクインスタウンヘ九十八海里ヲ餘ス又巨大ナル  
漁船四艘ニ三烟筒ノモノ航行スルヲ見ル后五時クインス  
タウン口ニ着シタルニ時乾潮ニ際シタルト航海ニ豫定外  
ノ時日ヲ費シタルヲ以テクインスタウンニ到ラサル前豫  
メ信號ヲ以テ望見臺ヘ報シ小汽船港口ニ來リテ郵便物及  
愛蘭土ニ上陸スル船客ト荷物ヲ揚ケ大凡三十分許ヲ要シ  
直ニ輪轉ヲ始ム此航路英蘭土ト愛蘭土トノ中間ニ屈曲シ  
タルヲ以テ各處ニ數個ノ燈臺ヲ見ル

○五月十三日

金

晴寒温儀四十八度

此日快晴北風甚寒ク海上熨平前九時半リバーブウル港口  
ニ達シタルニ乾潮ノ爲メ船進マヌ二時間ヲ待テ徐々ニリ  
バーブウルニ入ルリバーブウルハメルシー川ノ末ニシテ  
水淺ク大船岸ニ密着セス小漁船ヲ以テ上陸税關アリ大小  
ノ荷物ヲ檢査ス携帶品烟草及金銀ノ地金ノ外課税ヲ免カ  
ル此手數ヲ了ヘ停車場ニ到リ四時四十分發車ス鐵道ノ工  
事米國ニ在テハ其延長廉價ニ落成スルヲ主トスルヲ以テ  
自然精工ナラサルモノアルカ車中鳴動シテ談話ヲナシ難  
ケントモ英國ノ鐵道ハ之ニ異ナリ速度ハ一時間ニ六十英  
里ヲ走ルト雖モ車中甚靜穩ナリ地形概テ平行ニシテ往々  
山坡アレントモ處トシテ熱地ナラサルハナク時春暖ナルヲ  
以テ滿地ノ牧草翠色ヲ放テ一目渺然トシテ桃李花咲キ到

ル處人目ヲ喜ハレム其景色ノ閑雅ナル全土恰モ園圃ノ如シ沿道木綿紡績所甚多シ是レ從來米國南方ノ綿ヲ輸入レテ糸及布トナレ各國ニ輸出スルモノナリ半途ヲエツレヤイ」ノ車中ニ晚餐ス此地甚繁華ノ地ニシテ人家多ク又鐵道ノ各地ニ分派スル處ニシテ今車中ヨリ之ヲ見ルニ此市區ノ周圍ニ吐烟往來スル汽車一齊十一二行ヲ目撃セリ食後須臾ニシテ日沒眺望ヲ失ヒタルハ誠ニ遺憾トス鐵路二百二十英里各處ノ停車時間ヲ合シテ五時間ヲ費レ九時四十分龍動セントバンクヲス」ノ停車場ニ着ス此地不案内ナルヲ以テ旅宿手配ノコト豫メリパーブウル」ヨリ公使館ヘ電報依頼シ置キシヲ以テ公使館付川崎佐々木等ノ諸氏停車場ニ接迎ミ」ドランドグランドホテル」ニ投宿此日殊ニ寒

冷夜中綿衣ヲ重テ寒暑錶四十六度ニ下ル

○五月十四日土曜 寒温儀五十三度

武四郎ハ元吉ヲ從ヘ川崎氏ノ案内ヲ以テ前十時三十分旅館ヲ出テ直ニカヅエンデイツシスクエヤ」九番地ノ公使館ニ到リ河瀬全權公使ニ面ス重雄ハ宗一及泰次郎ヲ總ヘ領事館ニ到ル領事館ハ「ビシヨツプスケ」ト」ノ八十四番地ニ在リ府内最モ繁殷ノ地ニシテ横濱正金銀行及大倉組ノ支店等皆一字ノ内ニアリ各自ニ用ヲ辨シ歸路公使館ニ集ル是ヨリ一旦歸宿午餐ヲ終ヘ龍動市内地中ノ鐵道ニ駕シ所々ヲ遊覽ス我國人ノ諸職人ヲ以テ組織シタル日本田舎村ト稱スル觀場ヲ見ル我國官殿官廨其他上等社會ノ景況ヲ除クノ外ハ寺院佛閣民間ノ家造諸職人就業ノ景況劇場

寄席等ノ類殘ル所ナク設ケアリテ場内現ニ五六十人男女  
 實業ニ服シ婦人ノ裁縫、削刷ノ彫刻、画工ノ揮筆等諸ノ職藝  
 備ハラサルナク又其製品ヲ販賣セリ是ヲ組織シタル英人  
 巨大ノ利ヲ得タリト且此觀場アリテヨリ日本ノ名ヲ博シ  
 日本人ノ勉強ハ大ニ英人ノ賞スル所トナリシト云フ只恨  
 ム其人其業下等ノ者ニシテ上流ノ景况一モ見ルコト能ハ  
 ス場中婦人ノ齒ヲ鐵漿ニ涅シ傲然トシテ長管ヲ持シ吸烟  
 スル如キハ甚見苦シキヲ覺フ一覽ヲ了シ歸路レセントス  
 トリト街ヲ横斷スルノ順路ナルニ此日英國女皇陛下臨  
 幸アリ隊兵堵列シ衆人蟻集シテ通行シ難ク暫ク茶店ニ休  
 憩シ道路ノ開クルヲ待テ歸館セリ

○五月十五日 日曜 快晴、寒温儀五十一度

川崎氏ノ案内ヲ以テ動物館公園等ヲ見ル又重雄ハ大倉組  
 支配人稻垣氏ノ案内ヲ以テ「キウ」ノ宮園ニ到ル派車中見ル  
 所市外沿道ノ地、林檎、梨、李等ノ果木園多ク開花爛熳トシテ  
 春嬌ヲ呈セリ宮園ノ構ハ龍動林泉第一ノ名アリ高丘ナシ  
 ト雖モ園中方二里許珍草、奇木多ク又巨大ノ玻璃室アリテ  
 熱帶地ノ草木ヲ温育シ盆池ニ蓮花、川骨等ノ花咲キタルハ  
 殊ニ奇ナルヲ覺ヘタリ園中池アリ家免ノ類游泳能ク人ニ  
 馴レ餌ヲ投スレハ人ニ接シテ恐レズ此日、日曜ナルヲ以テ  
 男女群ヲ爲セリ茶店ニ小憩シ歸路小汽船ニ搭シテ「アーム  
 ス」河ヲ下ル國會議事堂ノ邊ニ至ル迄川ヲ横斷スルモノ鐵  
 道橋ノ外ニ七八橋アリ皆其構造ノ規模ヲ異ニシ巨大ノ鐵  
 造、石造ニシテ目ヲ驚カスニ足ルモノアリ沿岸ニ「モーガン」

會社増塙ノ製造所及海軍病院等アリ此邊ノ濕地ニ多ク柳  
ヲ植ヘタルヲ見ル是ハ竹ヲキノ地ナルヲ以テ符或ハ行季  
ノ如キ籠細工ニ代用スルモノナリ點燈ノ頃、ワイーストミ  
ンスター街ニ上リ國會議事堂及古刹ノ前ヲ通過シテ歸館  
ス

○五月十六日 晴、寒温儀五十六度

川崎氏ノ案内ヲ以テ市内ヲ巡視ス重雄以下ハ用事アリ正  
金銀行支店及三井物産會社支店ニ到ル偶、三井物産會社長  
益田孝氏ノ來遊スルニ會シ此夕氏ガ夫妻ノ招ニ應シ「ワイ  
シエム」ノ劇場ヲ見ル園田領事夫妻モ同伴セリ

○五月十七日 晴、寒温儀六十三度

領事館ヲ訪ヒ園田領事及益田氏ノ案内ヲ以テ「プリバント」

會社ノ鋼鐵線製造所ヲ一覽ス鋼鐵ヲ線トナスハ近來ノ發  
明ニシテ網若クハ網ニ製シ價ハ麻ヨリモ下廉ニシテ保存  
ハ却テ麻ヨリ靱ニ製造ノ業ハ漸ク盛ニ赴クト云フ場中一  
覽ノ後園田領事ノ寓居ヲ訪フ日本料理ノ饗應アリ益田氏  
夫妻其外四五名ノ來容アリ食後領事館ニ接近シタル興行  
場ニ入テ障礙物飛越競馬ヲ一覽シ后十一時半歸館ス  
龍動ノ天候ハ濃霧暗黒ノ日多シトハ竹ヲ聞ク所ナリシガ  
此日ハ早天ヨリ霧深ク街上ハ車馬ノ衝突ヲ警メ室内ハ點  
火セサレハ事物ヲ辨シ難ク商賈ノ點燈夜中ニ異ナラス冬  
季ハ常ニ此ノ如クナリト雖モ夏季ニシテ本日ノ如キハ蓋  
シ稀ナリト云フ

○五月十八日 晴、寒温儀六十八度



川崎氏ノ案内ヲ以テ「サウスケンシントン」ノ博物館ヲ一覽ス館内宏壯諸般ノ物品ヲ陳列シ實ニ博物ノ名ニ背カヌ就中我國ノ美術モ甚多ク其精工外人ニ向テ誇ルニ足ルモノアリ館内ニ午餐シ「アールスコート」ノ「アメリカ博覽會」ヲ一覽ス此會ノ出品ハ米國產ニ限リ會場設置ノ廣大ナル誠ニ米國ノ舉トシテ見ルヘシ其建築ニ供セシ柱梁垂木其他ノ材料多クハ鐵道ノ「レール」ニシテ閉場ノ後直ニ鐵道ニ用ヒテ價ヲ減セサル所爲ノ如キハ最モ思考ノ妙ナルモノトス出品各種アリト雖モ農具鑛物及獸皮ノ類甚多クレテ且其好ナリ又油繪ノ類モ少ナカラスシテ中ニ我國絃妓ノ三絃ヲ彈スル圖アリ其筆精巧ナラスシテ實形ニ適セサル醜ヲ盡キ我行ヲシテ忸怩タラシメタリ后七時河瀬全權公使ノ

招待ニ赴ク此夜會食スルモノ依仁親王殿下ヲ始園田領事同夫人濱尾文部大書記官増田氏夫妻外數名ナリ歸路暗黒街燈ノ下密賢婦ノ徘徊スルヲ見受ケタリ

○五月十九日水曜雨寒溫儀六十七度

益田氏ノ案内ヲ以テ「レースター」驛ノ麻製所ヲ一覽ス場ハ「フリソント」氏ノ私有ニシテ麻ヲ紡績スル器具ハ近來ノ發明ナリ專賣免許ヲ受ケテヨリ一年ヲ經シノミ未タ實地ニ用ヒタルモノニ非サントモ熱帶地ニ生スル「ジャボア」ノ葉ヲ製スル爲メ本年ハ南亞米利加ニ送附スル由「ジャボア」ノ葉ノ纖維ハ恰モ麻ノ如シ今日少許ヲ試製セリ器械ノ好歹ハ妄リニ評スルヲ得スト雖モ甚精巧ナラザルカ如シ然レトモ一基ノ價僅ニ七磅許ニシテ我國從來ノ手製ニ代

用セハ必利益アラン益田氏試ニ二三基ヲ購求シ其一ハ札  
幌ニ於テ試用スルヲ豫約セリ此驛ヲ發シ須臾ニシテ日没  
シ雨ヲ催フス后九時「マンナエスター」府ニ着クインスホテ  
ルニ投宿此日園田領事夫妻及益田氏ノ夫人渡邊專次郎氏  
等同宿セリ

○五月二十日金曜風アリ雨雪交降寒温儀五十四度

園田益田兩氏一行ト同ク前十時發車「オールトハム」府「ア  
ツト」會社ノ製造場ニ到ル場ハ「アツト」氏兄弟ノ私有ニシ  
テ各種ノ木鐵具ヲ製造ス就中綿花紡績器具ヲ製スルヲ專  
トセリ工場ノ構ヘ製造ノ業實ニ盛大ナリ目下使役スル所  
ノ工夫八千人アリ午飯ヲ喫スル爲メ工夫ノ散乱スルニ會  
ス門外雜沓熱市ノ如シ近頃三重縣下ニ創立スル木綿紡績

會社ヨリ器具製造ノ注文アリ代理人齊藤莖元工部大學卒  
業生其事務ヲ所辨スル爲メ出張セリ會社ニテ午餐ノ饗應  
アリ食後木綿紡績場ヲ見ル是レ亦實ニ盛大ナ極メタリ后  
三時發車「マンナエスター」ニ着直ニ該府開設ノ博覽會ヲ一覽  
ス該場ニ入レバ木綿及綿毛紡績器械アリ次ニ羊毛洗滌器  
具アリ皆其使用方ノ報告ヲ掲ク諸製造ニ要スル人工ノ勞  
役ヲ省ク爲メ蒸汽器具ノ運轉ヲ爲スコト甚自在ナリ點燈  
ノ頃場中ニ晚餐シ再ヒ各陳列品ヲ見ントセシニ閉場時限  
ニ際レタル爲メ雨ヲ衝テ歸館セリ場内巨大ノ噴水アリ七  
八條ノ水迸出數十尺ニ上ル之ニ電機ヲ用テ水色ヲ輝カレ  
瞬間青、紅、紫、白其他金、銀、瑠璃等ノ各色ヲナシ鮮光奇絶ナリ  
後ニ聞ク噴水ニ電機ヲ反射セシムルニ各色ノ玻璃ヲ用ヒ

其色ヲ寫スモノナリト列品室ハ廣大ノ建設ニシテ場中光線ヲ引ク爲メ屋上ヲ珥クニ玻璃ヲ用ヒ柱梁等ノ諸材ハ悉ク鐵道鐵橋等ニ用ユル鐵具ナリ

今英國ニ來リテ其風土文物ヲ見ルニ沿道ノ吏員巡查及旅館使役ノ者ニ至ル迄人ヲ待過スルニ最モ懇到ナリ又諸製作場ノ多キハ即チ英國ノ繁榮ヲ致ス所ニシテ他ニ比類ナシ就中紡績場製鐵場ヲ多シトス其原料綿花ハ米國南部ノ產鐵ハ「イスパニヤ」ヨリ輸入スルモノニ係レリ又製造場ニ要スル火力ハ皆瓦斯ヲ用ヒ其製造簡易ニシテ失費亦少シ然レトモ製作機械ノ如キハ近來種々ノ新發明起ルニ當リ多年巨大ノ裝置ヲ爲シ居ルモノ劇ニ之ヲ改造スルヲ得ス稍改良ヲ加ヘテ使用スルモノ、類少ナカラス殊ニ紡績ニ

供スル綿花ハ之ヲ米國ヨリ輸入スト雖モ米國ノ諸製作場ハ皆新規發明ノ器械ヲ使用シ駁々長足ノ進歩ヲ爲ステ以テ他日紡績ノ業興隆スルニ當テハ永ク綿花ヲ米國ニ仰クヘカラサルニ至シ英人亦茲ニ見ル所ナキニ非ス領屬印度地方ニ綿花ヲ試作ストモ若シ之ヲ米國ニ取ルヲ得サルノ日ニ至レハ英國ノ紡績事業上一大變動ヲ生スヘシ

○五月廿一日土曜雨雪寒温儀五十七度

前十時一行馬車ニ駕シ園田益田二氏ト同シク「オーブ」ヨウ「ウ」ヲサトオルス「會社」ノ製鐵場ヲ一覽ス場ハ「マンナスタ」ニテ距ルニ英里許アリ大砲及巨大ノ鐵具ヲ製スル所ニシテ事業ノ廣大ナルハ「アームストロング」社ニ優ルト云フ其發明專賣ニ係ル水力ヲ利用シ四千噸ノ壓力ヲ有スル鏈ヲ

以テ巨大ノ鐵ヲ打延シ砲身ヲ作ルニ少レモ震響ヲ發セス  
 鍛冶ノ神速自在ナルハ最モ人目ヲ驚カセリ此日烟雨朦朧  
 工場外一望ノ家屋皆製作場ニシテ總テ此會社ノ所轄ニ屬  
 レ場内縱横ニ鐵道アリテ龍動其他ヘ重量ノ物品ヲ直輸ス  
 ルカ如キ盛ナリト云フヘシ英國諸製造場多シト雖モ就中  
 「マンナスタ」ノ近傍凡ソ四五英里間各種ノ製造所紡績場  
 等最モ多ク瓦斯若クハ石炭ノ吐烟數十里ニ漫延シ家屋草  
 木之カ爲メニ黒レ場中見終リ后一時「マンナスタ」ニ歸館  
 喫飯後再ヒ博覽會ニ赴ク揚中各種數万ノ陳列品ハ別ニ目  
 録及圖式アリ茲ニ贅セス出品中精巧美術ノモノ亦少ナカ  
 ラスレテ油画ノ如キハ筆意眞ニ逼リタルモノアリ古來和  
 漢ノ画ノ如キ妙筆ナキニ非スト雖モ油画ノ妙技ニ比スレ

ハ一步ヲ輪セサルヲ得ス又我國ノ製造物ヲ出品シテ之ヲ  
 監臨スル者アリ故ヲニ廣袖ノ衣服ヲ穿テ奇ヲ衒スルヲ見  
 タリ

○五月廿二日 朝雨寒温儀五十六度

前十一時「マンナスタ」發園田益田高峰渡邊等ノ諸氏送テ  
 「ロンドンロード」停車場ニ來ル「ノルスウエストロン」社會ノ  
 鐵道ニ乗車レ后四時半龍動ユーストンノ停車場ニ着直ニ  
 歸館

○五月廿三日 晴寒温儀五十九度

本日高田商會支店田中氏ノ照會ヲ以テ「モーガンクル」レブ  
 ル會社ノ坵塲製造所一覽ノ約アリレガ明日一行「巴里」ヘ向  
 ケ出發ノ準備アルヲ以テ重雄、泰次郎ニ行キ見セシム此坵

塙製造所ハ各國ニ冠タルモノナリト云フ器機ハ二百馬力、工夫ハ三百人ヲ役シ一ケ年ノ製造高ハ八十一噸ニシテ之ヲ各國ニ輸出シ賣却ノ多額ヲ占ムルモノ第一ニ露西亞、第二ニ獨逸、第三ニ支那、第四ニ米國ナリ我國ニ需要スル坩堝モ總テ此社ノ製造ヲ用ユ坩堝ノ大小形容ノ如キハ皆各國ノ所望ニ係ルヲ以テ區々ナリ又其金屬ノ種類ニ依テ形ヲ異ニスルモノモ少ナカラス覽後社長ヨリ午餐ノ饗應アリ此夜佐々木、川崎、稻垣、白井等ノ諸氏ト晚餐ヲ共ニ別テ告ク會明後日「エツアソン」村ニ大競馬アリトノ報知ヲ得一覽ノ爲メ尙ホ兩日滞在スルニ決ス

○五月廿四日火曜 寒温儀五十六度

今朝旅館ヲ發シ汽車三十分間ノ行程ニシテ「クリスタルバ

レーズ」ノ水晶宮ヲ見ル宮ハ前年始テ萬國博覽會ヲ開キタルトキ會場ニ用ル爲メ「ハイドパーク」ニ建設シタルモノ今ヲ距ル三十五年前、龍動ヨリ二十英里南ニ移レ其方面ヲ概シテ「クリスタルパレーズ」水晶宮殿ノ義ト云フ構造ハ鉄骨ニシテ屋上四壁皆玻璃ヲ用ヒ長三百三十米突許、幅廣狹一齊セスト雖モ殆ント之ニ半スヘレ地、高燥林泉ノ設アリテ甚壯觀ナリ宮内ニ裝置スル各國ノ動物、植物、及美術ノ物品多シ割烹店、雜貨店等羅列シテ行客ヲ引ク又樂隊、樂ヲ奏レ舞妓、技ヲ演シ我國人ノ短戲、及曲馬ヲ演スル者等アリテ來觀人モ少カラス且此諸場ハ皆二階ニシテ屋中盆池ニ金銀魚游泳シ盆山ニ小鳥囀スル等ハ殊ニ妙趣トス歸路夜ニ入り「ピクトリヤ」ノ停車場ニ着、此日英國女皇ノ誕辰日ナルヲ

以テ萬點ノ街燈、灼々トシテ星ノ如ク、男女微雨ヲ衝テ往還  
群ヲ爲セリ

○五月廿五日水曜寒温儀五十三度

前十時、エツアソン村ノ競馬ヲ見ル、競馬場ハ龍動豪富ノ協  
力ヲ以テ創立シタルモノニシテ、馬場一英里半、其競争ノ方  
法我國ニ行ハル、モノニ異ナラスシテ、公然勝敗ヲ賭スル  
ノ金額ハ幾百萬ニ達スルヲ知ラス、或ハ馬主ニシテ自己ノ  
勝利ヲ得タルモノ、或ハ賭シテ勝ヲ得タルモノ、皆其自宅、及  
知友ヘ急報ヲ爲ス、タメ電信ナキ地ナルヲ以テ、鳩ヲ放テ信  
書ヲ發スル等ハ、甚目新シキ趣向ナリシ、勝馬ハ賞與モ少ナ  
カフサルヲ以テ、出馬スルモノ、入場料五十磅(我三百圓餘)  
ヲ要スルモノアル如キハ、殷富ノ一端ヲトスルニ足ル且場

中廣シト雖モ無慮十二三萬人、蚩集シ馬車ノ數モ亦萬ヲ以  
テ計フヘシ、發着ノ汽車頻繁ニシテ、乗客上下スルモノ實ニ  
雜沓ヲ極ム、后六時、歸館

○五月廿六日木曜寒温儀五十二度

前十時三十分、龍動發、ホルボルン停車場ヨリ發ス、川崎、相垣、  
岩原、白井等ノ諸氏送テ、停車場ニ來ル、十二時五十五分、ドヴ  
フ」ニ着直ニ、汽船ニ搭シテ、ドヴァ」ノ海峡ヲ渡リ、后三時  
佛國、カレイ」ニ着岸、直ニ汽車ニ搭シ、車中行、厨ヲ遣テ發ス、后  
八時、巴里」シターゾーレナロー」街、メレー」ホテル」ニ投宿、原代  
理公使來訪セリ、本日車中ノ所見、英國ノ地ハ龍動ヲ發シテ  
ヨリ、山坡多ク、耕地ニ非ル、樹林モアリテ、熟地ハ皆能ク墾、鋤  
シ、菓木園多シ、ドヴァ」ハ灣ヲナシ、歌洲大陸ニ航行スル埠

頭及砲臺アリ海波常ニ平穩ナラサル處ナリシカ此日幸ニ船ノ動搖少ナク渡船スルヲ得タリ佛國ニ入テ地形平衍高山峻嶺ノ聳ヘタルモノヲ見ス沿道一二停車場ニ稍ヤ市街ノ体ヲ爲シタル處アリシノミニテ市府及製作場等ヲ見ス凡テ田圃ニシテ牛羊ヲ放牧シ寥寥タル村落ノミヲ通過シ巴里ニ達セリ此鐵路二百餘英里アリ英國ノリバープールヨリ龍動ニ達スル鐵道ト路程方向粗同クシテ英國ノ地ハ市街製造所多クシテ到ル所炭烟空ニ漲ル佛國ハ之ニ反シテ絶テ熱鬧ノ地ナク空氣清爽眺望甚佳ナリ

○五月二十七日曜金晴寒温儀五十三度

我公使館ニ到リテ原代理公使ニ面會シ此度巡回ノ旨趣ヲ談シテ歸ル途次獨佛戰爭ノ「パノロマ」ヲ見ル發後又市中ヲ

徘徊シ公園「ボワトブロン」ニ到ラントス偶雨降りテ果サス後又得能氏ノ案内ヲ以テ市街ヲ散歩ス茶店處々ニアリ店頭ヲ街道へ張出シ椅子食卓ヲ排列シ貴賤男女ノ別ナク店頭ニ就テ酒ヲ飲ム者アリ茶ヲ喫スル者アリ巴里ノ市中區畫井然トシテ棋線ヲナシ之ニ其中央部ヨリ四隅ニ貫通スル街アリ地上ハ皆木若クハ石ヲ敷キ平坦砥ノ如ク馬車ノ馳驅ニ便ナリ家屋ハ皆石造ニシテ五階六階ニ竝列シ廢宅矮屋ヲ交ヘサルヲ以テ殊ニ美麗ナリ此行通覽スル所歐米各國ノ都府其美麗清潔ナル此府ヲ以テ第一トス

○五月廿八日曜上晴寒温儀五十四度

三井物産會社支配人岩下氏ノ案内ヲ以テ市内ヲ散歩シ中途ニ午餐シテ「ボワトブロン」ノ公園ヲ見ル園ハ方我一里許

木鬱蒼トシテ泉石雅致アリ園將ニ盡キントスル處人造  
 ノ瀑布アリ其幽遠眞ニ迫レリ此外部ニ競馬場アリ四邊雅  
 木ノ點々タルヲ見ル聞ク七十年ノ役獨軍ヨリ巴里ノ園ヲ  
 受ケタルトキ園中ノ樹ヲ剪リ薪炭ソ用ニ充テタリト園中  
 又千百ノ鐵造椅子ヲ排列シ遊客休憩ノ爲メニ供ス芳草馨  
 花馥郁トシテ路傍ニ爛熳タリ故ヲニ看守者ヲ置カスト雖  
 モ花ヲ折リ物ヲ拐帶スル等ノ醜態ナキハ百年教育ノ馴致  
 シタル風俗ニシテ未開國ノ賤民ニ至テハ蓋シ爲シ能ハサ  
 ル所タリ歸路トロカデロ及レヤン、ド、マルスノ博覽會場ヲ  
 見ル此地曾テ萬國博覽會ヲ開設セシ處ニシテ今其舊趾ヲ  
 存スルノミ

○五月廿九日晴寒温儀五十三度

工藤氏ノ案内ヲ以テ「ボソドブローン」公園内「ダンダクリタ  
 マシヨ」動物館ヲ見ル熱帶寒帶各國ノ動物ヲ檻置セリ歸  
 路「ルーアル」ノ博物館ニ到ル館ハ第一世那勃翁帝盛時ノ宮  
 殿ニシテ構造美大當時ノ隆盛ヲ想像スルニ足ル陳列品美  
 術ニ屬スルモノ殊ニ多シ

○五月三十日晴寒温儀五十八度

在留人工藤江木兩氏ノ案内ヲ以テ第一世那勃翁帝ノ陵墓  
 ヲ見ル帝ノ遺骸ハ「ブールバール」デザンバリード街ニアリ  
 テ規模宏壯ナル石塔中ニ安置シ帝ノ諸外國ト戰ヒ獲タル  
 所ノ軍旗二百十二流ヲ前堂ニ五十三流ヲ棺室ニ排列シ塔  
 内寂然タリ當時ノ偉業ヲ追懷スレハ佛國ノ名ヲ世ニ轟カ  
 シタルモノ實ニ帝ノ遺德ナルヘシ帝末年英國ニ配流セラ



レタレトモ其遺言ニ依テ此處ニ遺骸ヲ移シタリト云フ道  
ヲシヤンデリゼー園ニ迂シ午餐ヲ喫ス時微雨アリ冒レテ  
モーンバルナースノ墳墓地ニ到ル故鯨島公使及林軍醫總  
監等ノ墓アリ墓地ハ境內凡ソ方四百米突許周圍石堀ヲ回  
ラシ前後ニ鐵門ヲ設ケ門監ノ衛士アリ清潔洗フカ如ク墳  
墓亦美麗ナルモノ少ナカラス然レトモ豪華貴紳巨額ノ地  
價金ヲ出シタルモノニ非レハ永世ニ存シ置クヲ得ス其出  
金ノ多寡ニ依リ五年若クハ十年ニシテ掘出シ之ヲ市内ノ  
三層底カタコンブト稱スル所ニ其年期ヲ類集シテ積堆ス  
三層底ハ地盤ヨリ大約三百尺ノ下底ニ廣大ナル室ヲ設ケ  
年期ヲ定メ堀リ上ケタル骸骨ヲ貯藏スルノ用ニ充ルモノ  
ナリ轉シテ育兒院ニ到ル棄兒若クハ貧困自育スル能ハサ

ルモノ、幼兒ヲ養育スル所、乳母ノ保育、并ニ學校病院等ニ  
至ルマテ具備セサルナク大凡一ケ年、七千四百五人ノ養育  
ニシテ經費一日一人ニ付一佛八十五サンケームヲ要レ慈  
善者ノ寄附金ト府稅及育兒本籍地ノ地方稅等ヲ以テ之ニ  
充ツト云フ又ビユツトシヨウモンノ公園ヲ一覽シ歸路原  
代理公使ノ饗宴ニ赴ク

○五月三十一日火晴寒溫儀六十七度

吉田氏大藏省屬官ノ案内ヲ以テベルサイノ宮殿及禁園ニ  
到ル前七時ガールサンラザール停車場ヨリ發車ベルサイ  
驛ヨリ馬車ニ駕シ先ツトリヤノニ到ル此宮殿及トリヤノ  
ハ路易帝ノ盛時ニ建築シタルモノニシテ園地ノ林泉壯大  
清潔恰モ人工ノモノニ非サルカ如シ園中一字ニ第一世以

下那勃翁帝ノ遺物馬車、馬具等美麗ノ品アリ、馬車一臺ノ價二十餘萬圓ヲ費シタルモノアリ、亦以テ當時ノ奢侈ヲ想見スヘシ、此處ハ「パセン」ヲ死刑ニ處スルノ裁判ヲ爲シタル所ナリ、轉シテ「ベルサイ」宮殿ニ上ル宮殿ハ高所ニ在テ前面ノ低地平潤庭樹ノ風致規模ノ宏大、眼ヲ驚カスモノアリ、政府大宴會ヲ催ス等ニ用ル處タリ、種々ノ器物書画等ヲ排列シテ平日衆庶ノ縱覽ヲ許セリ、是ヨリ少シク隔リタル所ニ一ノ別宮アリ、ベルサイ府民ノ所用ニ充テリ、千八百七十年ノ戰爭ニ獨帝此宮ニ來リ、償金削地、締約ニ調印セシ處ト云フ、巡覽ヲ終ヘ、流車ニ搭シテ歸ル

○六月一日水雨寒温儀六十九度

前八時「ガール、ジュ、ノール」停車場ヨリ發車、原代理公使始メ

在留ノ國人送テ停車場ニ來リ、別テ告ク東京某商社ヨリ此地ニ出張スル江木保男ニ通辨ヲ依頼シ、同伴ス鐵路「リール」府ニ至テ「ルブラン」フレル會社ノ麻紡績場ヲ一見シ、更ニ發車ス、佛國ト白國トノ境ニ稅關アリ、又處々ニ佛國ノ砲臺アリ、テ國境ノ警備ヲ爲セリ、日暮、白國ノ「ブリツクセル」ニ着シ、ユエートホテルニ投宿ス、白國ハ人口五百萬ニシテ我國ノ七分一ナリト雖モ、歲入ハ我通貨ニシテ八千餘萬圓アリ、小國ニシテ海軍ノ設ナキモ陸軍ノ定額ハ千八百萬圓ナリト云フ、強大國ニ介シテ兵備ヲ要スルハ勢然ラシムル所ナラン、抑、白耳義ハ今ヲ距ル五十七年前、和蘭ト分離獨立シタル王國ニシテ石炭及諸製造所多ク殊ニ「レース」及「ガラス」ヲ特有產物トス、國民皆富有ニシテ家屋建築ノ如キ其大小官

私ニ拘ラス盡ク美麗堅固ニシテ巴里ニ讓ラスブリクセー  
ルハ王宮諸官省裁判所等アリ就中裁判所ハ千八百六十三年  
ニ起工シ千八百八十年ニ開廳シタリト雖モ修築未タ竣  
功ニ至ラス既ニ一千四百萬圓ノ費額ヲ要セリ高等法院大  
審院重輕罪裁判所及陸軍裁判所トモ凡テ一宇内ニ羅列シ  
廣壯美麗法廷ニシテ其比ヲ見ス又エナーブ街角ニアルマ  
ヌケンビート呼ブ小兒放尿ノ石像ハ千六百十九年ジュケ  
ツノイノ作ニシテ陰莖ヨリ迸出スルモノ即チ噴水ナリ  
此石小兒其名高クルイ十五世千七百四十七年略取ノ時軍  
帽ヲ賜與シタルヲ濫觴トシ各國ヨリ贈與ノ勳章正服軍服  
等十六種ノ着裝アリ或ハ豪富ノ者臨終ニ遺言シテ金ヲ贈  
ルモノアリ巨大ノ財産ヲ所有シ慈善ノ事ニ關シテハ毎回

少ナカラサル棄捐ヲ爲シ其財産石小兒トモ併セテ宮内省  
ノ所轄ニ屬シ之ヲ處理スル事務ノ吏員アリ年給二千四百  
佛ヲ給シ王室ノ大禮等ニ當テハ「マヌケンビー」ニ服裝懸章  
シ恰モ人ノ如シト云フ蓋シ奇異ナルコト他國ニ其例ヲ見  
ス

○六月二日木曜 寒温儀六十七度

堀属ハ先發伯林ニ赴キ一行ハ「ワートルロー」ノ古戰場ヲ一  
覽ス「ワートルロー」ハ千八百十五年英獨蘭ノ三國聯合シテ  
第一世那勃翁帝ヲ攻撃シタル處ニシテ其名高シト雖モ六  
七戸ノ寒村ニ古寺一字アルノミ當時聯合兵ノ元師英將ウ  
エーリントンノ全軍ヲ指揮セシ處アリ然レトモ其交戦シ  
タルノ地ハ是ヨリ里許ヲ隔テ「モンサンジャン」ノ田圃ノ

中ニ在リテ紀念ノ爲ニ建設シタル高塚アリ其基礎直立四十五米突、二百三十五階アリ頂上遠近ヲ眺望スルヲ得銅造ノ獅子ヲ安置シテ佛國ヲ睥睨セシメ曠日ノ地少シク波狀ヲナスト雖モ概シテ平坦疎林ノ外日ニ遮ルモノナシ歐羅巴ノ地、戰鬪ニ正兵ヲ必要トスルノ實ヲ認メタリ碑ノ傍ニ「ホテル」アリ就テ休憩、食後、一農家當時英軍ノ據守シテ佛軍ト激戦シタルノ舊趾ヲ見ルニ元來豪族ノ居宅ニシテ地少シク高ク周圍ニ石堀ヲ繞ラシ交戦ニ甚利アルノ地ナリ老嫗アリ古事ヲ説ク「ブレーヌ」ワルド「停車場」ヨリ發シ「ブリックセール」ニ歸リ裁判所元老院及國會議院等ヲ一覽セリ

○六月三日（金）雨寒温儀五十三度

「ブリックセール」發車「リエージュ」府ニ下ル白國ノ大府ハ第一

「アンベル」港トシ第二「ブリックセール」トシ第三「リエージュ」トス全國石炭多ク諸製造場甚盛ナリ此府ヲ中斷スル「ムース」川ヲ源船ニテ上ルコト半里許「ギヨーム」ノ製鐵所ニ到ル此場實ニ廣大ナルモノニシテ大砲、船具、鐵道具、家屋具等、巨大ナルモノヲ製ス職工二万三千人ヲ使役シ製作品ヲ各部ニ分業負擔セシメ場内一里許リニ跨リ家屋敷地ノミ我百四町餘ナリ石炭坑五ヶ所アリテ蒸氣機關ノ用ニ充ツ蓋シ工場ハ此炭坑ニ據テ設ケタルモノナリ場中巡覽汽車ヲ用ユ此場内ヲ往復スル機關車ノミ二十五臺アリテ鐵道ハ二十五英里ナリ眞ニ稀有ノ大工場ト謂ヘシ東洋ニ英國ノ「アームストロング」會社、獨國ノ「クルツ」會社等ハ其名ヲ聞クト雖モ該兩社ノ如キハ其規模固ヨリ匹敵ス可ラス只

白國ハ小國ニシテ其名揚カラス故ニ「ギョーム」會社ニ製造  
スルモノ獨國英國等ノ銘ヲ刻シタルモノアリ見畢リ「リエ  
ー」ジニ戻リ「スパー」ヲ經テ「メツ」ニ赴ク道獨白ノ國境ヲ通  
シテ税關アリ后十一時十分獨國「メツ」ニ着車「ヨウロツ」バホ  
タルニ投宿

○六月四日土曜晚雨寒温儀六十、五度

「メツ」城ハ千八百七十年佛國ヨリ削テ獨國ニ併セタル所ニ  
シテ曾テ佛國ニテ建築シタル廣大ナル砲臺「メツ」府ヲ繞圍  
セリ府内人口三万屯在兵二万アリ府外ノ砲臺ハ濠ヲ三重  
ニシテ砲壘ヲ築キ恰モ我城郭ニ異ナラス一見レテ國境警  
備ノ嚴整ナルヲ知ル獨國之ヲ領スルノ後更ニ「サンブリバ  
ー」クインルトフ「ノ」ニケ所ヲ増築レ各處ニ練兵場アリテ形

勢自ラ嚴然タリ前七時旅館發千八百七十年獨佛ノ古戰場  
ニ到ル道「モゼール」河ヲ渡リ「モス」溪ヲ登ル道路廣カラズ  
ト雖モ馬車ノ交通自在ナリ佛國ノ元帥「パセン」此地ニ兵ヲ  
配置スルニ當テ此要害ノ溪間ニ警備ナカリシヲ以テ獨軍  
此間ヨリ直ニ行進シ「グラフロツト」ニ上リ「チロソソ」ピール  
ヲ貫テ佛軍ヲ中斷レ終ニ全勝ヲ占ムルニ至リシナリ茫々  
タル平郊二三ノ寒村アリテ兩軍數万ノ死者ヲ其位置散乱  
ノマ、埋葬レ一墳ニ數十百人、或ハ數千人ヲ埋メタルモノ  
其數勝ヲ計ベカラス獨軍ノ墳墓ハ鐵或ハ石ヲ以テ壯大ナ  
ル紀念碑ヲ建タリ佛軍ニ於テハ屍ヲ埋メ山ヲ爲シタルモノ  
ニ白「ベンキ」ヲ涅シタル二三尺ノ十字標ヲ樹ツ其數幾許  
ナルヲ知ラス勝敗ノ跡死後ノ墳墓ニ榮辱アル尙ホ斯ノ如

百十  
シ「ピナンピール」ニ佛軍中只一碑、人目ニ觸ル、モノアリ中尉伯爵「ゾプゼー」氏ノ碑ナリ、氏戰死ノ時年二十五、重傷ヲ受ケテ將ニ暎セントスルニ際シ、傍人ニ依囑シテ曰ク、今日此地ニ於テ戰死ヲ爲スト雖モ、天主教ハ即チ奉シテ止マスト云フヲ母ニ傳ヘヨ、又報國ノ志ヲ貫キ、敵ニ向テ益進メト云フヲ我軍人知已ニ傳ヘヨトノ遺言ヲ彫刻シタル如キハ、人ナシテ轉タ感慨ノ情ヲ發セシム、コルス、ラ、ワール」ニ午餐餐レ「サンブリバ」「サントマリ」等ノ諸處ヲ經テ獨佛ノ新國境ヲ幾回モ出入屈曲シテ歸路ニ就ケリ時、偶驟雨來テ冷氣ヲ催フシ、寂寥タル寒村、只千百點ノ十字標ヲ見ルノミ、此近傍山腹傾斜ノ地ニ、葡萄ヲ栽培スルモノ多シ、將ニ「メツ」府ニ入ラントスル處右ニ「サンカندان」「アラツアピール」等ノ山頂ニ

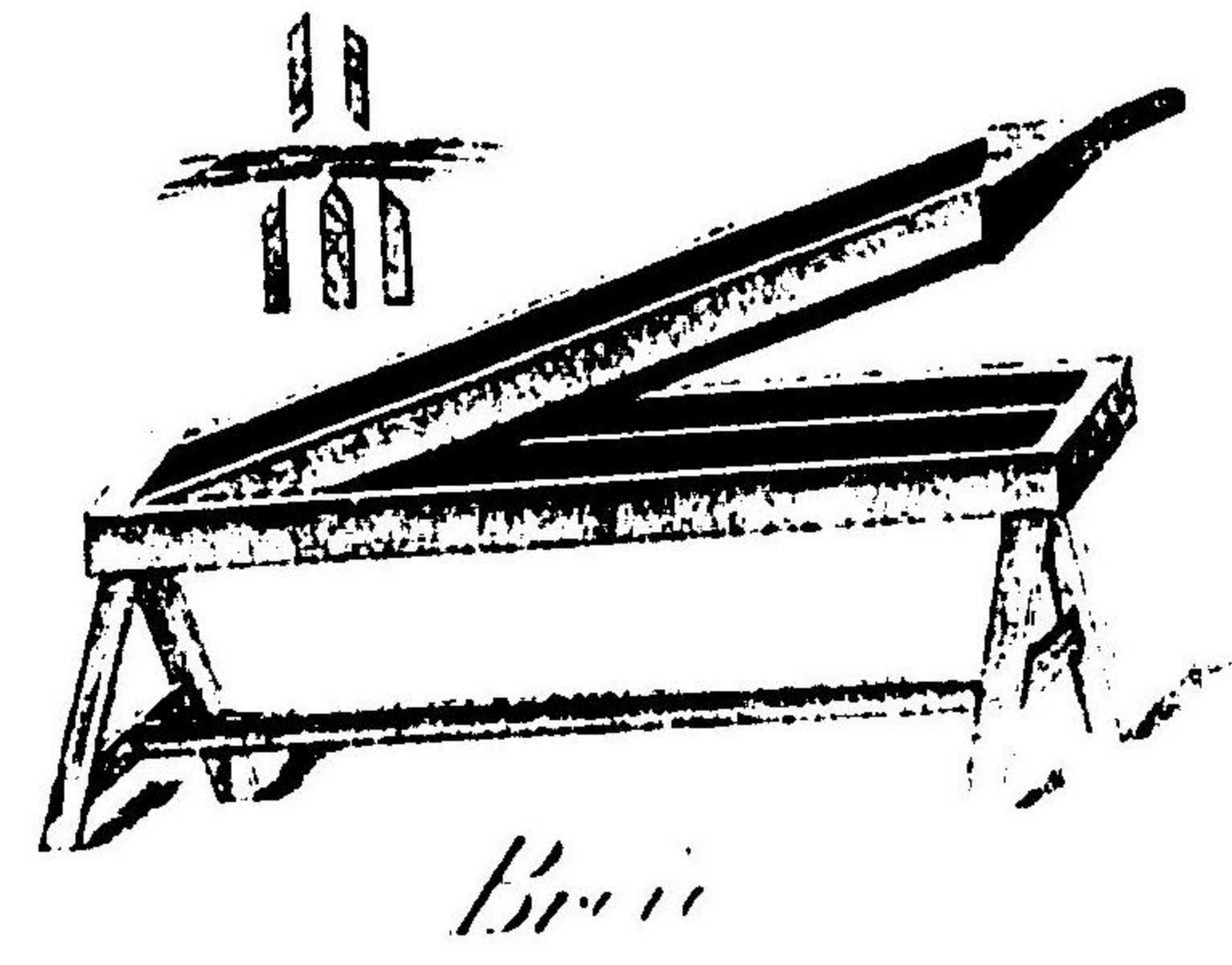
砲臺アリ、此車ノ馭者ハ當時第三旅團長「ゴーフ」ノ旗下第一砲隊ニ在テ軍曹ヲ奉職セシ「グーリヨ」年六十三ナルモノニシテ、實地ニ就キ指點スル所、信ヲ置クニ足ルモノ多シ、甚奇遇トス

○六月五日日晴、寒温儀六十七度

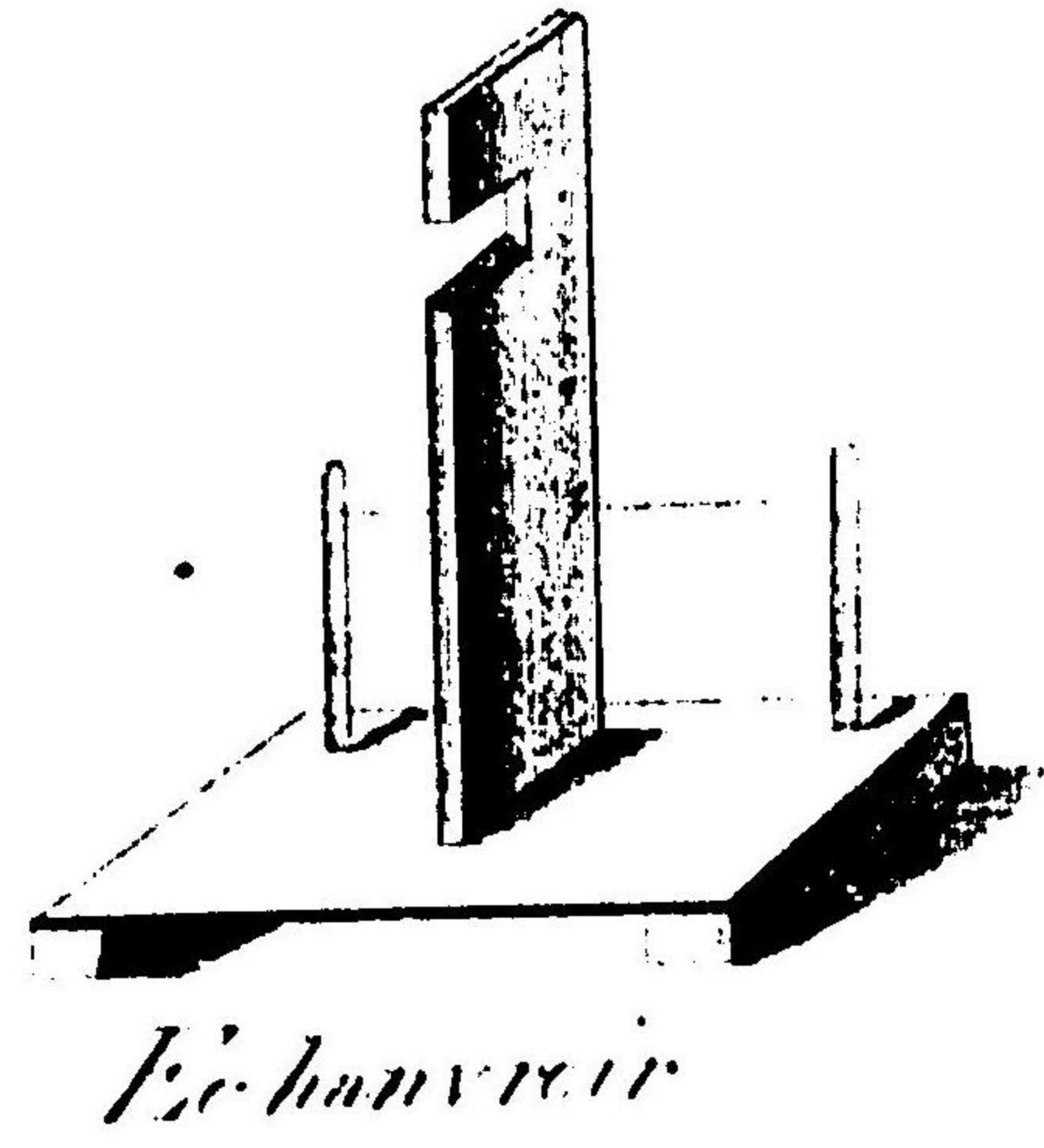
「メツ」城發リクセンブルグ停車場へ達ス、該邦農務顧問獨人「エンフスウエル」出迎ヘ、府内ヲ巡覽シ畢テ同車「ベツケール」郷農業ノ實況ヲ見ルニ、屈曲セシ排水溝ヲ直線ニ改良シ、卑濕ノ部分ハ堤防ヲ設ケテ、許多ノ熟地ヲ開キタリ、傍ノ農家ニ入り一覽シタル麻莖ヲ搥クノ器ハ甚簡便ナリ、又麻糸ヲ紡績スル車アリ、試ニ之ヲ婦人ニ使用セシメタリ、此兩器ヲ併セテ圖式ヲ請求シ、置キ此農家ニテ手釀ノ白葡萄酒ヲ饗

セラル又其隣家ニ入テ庖厨ノ構造ヨリ火酒ノ手醸法及飲食品ノ調理スルチ一見シ二三品ヲ食セリ農家ノ常食美ナラスト雖モ食品ノ貯藏調理ノ方法ニ至ルマテ簡易ニシテ妙ナリ轉シテ官設ノ一工場ニ到ル葡萄酒ヲ製スル壓搾器ノ新規發明シタルモノアリ一ノ模型ヲ製造セリ是レハ前日來觀シタル我農商務官吏某ニ贈ル品ナリト云フリクセシブルグハ千八百三十年獨立シタル一邦ニシテ王位ハ和蘭國王ノ兼攝ニ屬シ税關ノ管理ハ獨逸ニ聯合シテ其他ハ總テ立憲政体ヲ用ユ人口二十一萬餘都府ハ一萬八千歳入八百二十萬圓ニシテ官省ハ四アリ陸軍農務チ一トシ外務チ一トシ内務大藏チ一トシ文部司法チ一トシ儀仗ニ用ル爲メ陸軍兵百五十名ト憲兵二百五十名アリ人民ハ農鑛ノ

業ヲ專トセリ「エンフスウエル」氏ハ「トレーブ」ノ停車場ニ送リ來リテ別テ告ク夜十一時「ゴブワンス」着オリーゼンホテルニ投宿



碎麻器ノ圖



打線器ノ圖



○六月六日曜月快晴寒温儀六十八度  
早發汽車ヨリ「ペンゲン」着是レヨリ汽船ニ投シ「ライン」河ヲ  
下ル左右山坡ノ断面ニレテ險阻ナル處少ナカラス千年以  
上ノ古城兩岸ニ聯續甚奇觀ヲ呈セリ此邊山水ノ風致ハ我  
國ノ如キ全土天然ノ勝地ナルニ比スレハ奇ヲ感セスト雖  
モ歐洲人ハ以テ奇觀絶勝トスル所ナリ船中ニ午餐シ午後  
六時「コロンヌ」着小憩市内テ巡覽ス大寺ノ建築工事半途ナ  
ルモノアリ百年ヲ經テ竣工スヘキモノナリト云フ甚壯觀  
ナリ又街頭繁殷ノ地三ヶ所ニ獨逸老帝及「ビスマルク」モル  
トケ三個ノ銅像アリ皇帝ノ騎スル馬後尾ヲ佛國ヘ向ケタ  
ルハ佛國ヲ恐レタルニ非スレテ辱メタル形ヲ爲レタルモ  
ノナリト云ヘリ直ニ汽車ニ投シ再三汽車ヲ轉線シテ后十

一時「エツセン」着「エツセン」ホテルニ投宿、本日ヨリ綿衣ヲ脱シ始メテ歐洲薄暑ノ季候ニ入ル

○六月七日火曜晴、寒温儀六十七度

「クルツプ」會社ノ工場ニ到ル「クルツプ」會社ノ工場ハ其規模白耳義ノ「ギヨーム」會社英國ノ「ウイトオルス」會社等ノ巨大ニシテ整頓シタル如キモノニ非ラスト雖モ大砲ヲ製造スルコトハ最モ盛ナリ當日製砲試驗ノ放火アリ新砲一門ニ八發宛ヲ試ミ英國製鐵板三英寸半ヲ二十八珊知米突砲ニテ打抜キタルモノアリ此構内ハ二十四珊知米突迄ノ試驗放火ヲ爲シ得ルト云フ今製造中ニ係ル伊太利國ヨリ注文ノ海岸砲六門ハ口徑四十五珊知米突砲身十四米突ノモノアリ珍シキ巨砲ナリ又從來ノ「クルツプ」砲ハ近來改良ノ佛

式ニ倣ヒ後裝ノ機關ヲ改造中ニシテ大ニ佛式ノ精工ナルヲ賞美シ居レリ傍ニ水力ヲ用ヒ運轉自在ナル海岸砲臺ノ様式アリ其用法ヲ試ム甚精工ト謂フヘシ嚮導ノ社員ハ非職陸軍ノ下士ニシテ「ホテル」ニ送り來リ午餐ヲ始ム偶々社長「クルツプ」氏他ヨリ歸り來リ我一行ヲ接迎酒食ノ饗應アリ食後「エツセン」發車午六時伯林「セントワール」停車場へ着ス先着ノ宗一及大藏省出張官川嶋氏其他數名接迎直ニセントワール「ホテル」ニ投宿ス

○六月八日水曜晴、寒温儀六十八度

我公使館ニ到リ來意ヲ告ク

○六月九日木曜晴、寒温儀六十六度

小松宮殿下、川上、乃木兩少將等ヲ訪フ又重雄ヲ公使館ニ遣

レ調査事件ヲ依托ス

○六月十日<sup>金</sup>曇寒温儀六十五度

○六月十一日<sup>土</sup>晴寒温儀五十六度

重雄ヲ公使館ニ遣ハレ是迄同伴レタル宗一、此地ニ留ルヲ以テ所要ノ事件ヲ辨セシム、歸路獨人、ホラー、氏ノ案内ヲ以テ、トルムストラッセル、ノ、アラウナイモアビット、會社ノ麥酒醸造所ヲ一覽シタルヲ報告セリ、規模宏壯、毎日醸造スルモノ百四十五、ヘクトリ、ツトル、ニシテ、一ヘクトリ、ツトルハ我五斗ナリ、本地ノ飲料、及東洋ノ輸出ニ供スト云フ、麥酒ノ種類三アリ、其濃厚、稻糖色ナルモノヲ、ドンケルス、ト云ヒ、稀薄無色ナルモノヲ、ヘルスト云ヒ、淡泊沸騰スルモノヲ、ウワイスト云フ

本日又元吉ヲ「マグデボルク」ニ遣ハシ、製糖及甜菜培養ノ事業ヲ一覽セシム、一宿シテ歸ル、其報告ノ概略ヲ左ニ場ク

甜菜製糖所、及甜菜圃ノ實況

「マグデボルク」ハ伯林府ヲ距ル大約六十英里許ニシテ「ウエプ」河ノ河畔ニ在リ、地質ハ細砂、及粘土ヨリ成立シ、加フルニ溶解スヘキ礦物質ヲ多ク含有シ、輕鬆ニシテ能ク光線ヲ誘引スル肥沃ノ地味ナルヲ以テ、最モ甜菜ニ適ス、緯度ハ北緯五十一度ト五十二度ノ間ニシテ、我北海道ヨリ十度以北ノ地ニ在リト雖モ、季候ハ稍同一ナリ、就中札幌地方ニ比スレハ雪薄ク雨量甚少シ、甜菜ヲ耕作スル者ハ過半自ラ種子ヲ栽培ス、然レトモ種子ノ善惡ニ依リ、收穫ノ差異甚多シ、故ニ種子栽培ノ專業者アリテ、種類ノ改良ニ注意シ、其價格ハ一

「セントチル」十三貫三百匁ニ付十二「マルク」三圓六十錢程ヨリ凡ソ五十「マルク」十五圓十五錢程迄ノ差異アリ「ヅヰルモリン」ブランドンシー及「グライン」ワンツレーベント稱スル者ハ當時最良ノ種子ナリト云フ獨逸全國製糖所ノ數三百九十五アリ各所皆一千町歩内外ノ地面ヲ有シ年々其四分一即チ二百五十町歩へ甜菜ヲ耕作シ他ノ七百五十町歩ハ穀作ノ地トス轉輪順次四年目毎ニ甜菜ヲ耕作スルノ法ナリ收穫後、鋤犁ヲ施シ其深サ一尺乃至一尺五寸トス甜菜製糖ノ業ヲ起サント欲セハ耕牛馬ノ改良甚緊要ナリ此地方二頭ノ馬疋ヲ以テ耕鋤スルニ深サ八寸ヲ普通トス我國ノ馬疋ニ比スレハ二倍ノ働力ナリ單ニ此一事業ニ於テモ馬匹ノ改良ヲ要スルヲ知ル職工ノ給料格別強壯ノ男子ハ一「マルク」

乃至一「マルク」一「マルク」ハ我三十錢尋常ノ男子ハ五十「フェニツク」乃至八十「フェニツク」五十「フェニツク」ハ我十五錢女子ハ概チ五十「フェニツク」乃至一「マルク」畦圃ニ使用スル人夫モ大同小異ナリ甜菜圃一町歩ノ收穫其他左表ノ如シ

甜菜播種、除草、收穫ノ表

甜菜地耕鋤	肥料ノ施與	地均ラシ着手	播	種	第一回除草	第一回間引	第二回除草
至十月上旬	耕鋤前及春來播種之際	四月下旬	五月初旬	五月廿五日頃	六月五日頃	六月十日頃	
第二回間引	第三回除草	第四回除草	第五回除草	糖分蓄積期	收納着手	收納終了	
六月廿日頃	六月廿五日頃	七月初旬	七月中旬	至七月下旬	至九月中旬	九月中旬	十月下旬

氣候表

驗温器ハ華氏ヲ用ヒ毎日午後二時之ヲ驗ス

月	八	月	九	月	十	月
日	廿	十	廿	零	十	廿
一	日	時	雨	晴	晴	晴
七十六度	六十三度	六十七度	六十五度	六十五度	六十五度	五十二度
七十四度	六十三度	六十七度	六十二度	六十四度	五十度	五十度
同	同	同	同	同	同	同
三	日	晴	晴	晴	晴	晴
七十四度	七十二度	六十六度	六十七度	六十三度	五十五度	五十二度
七十度	七十度	六十五度	六十六度	五十八度	五十五度	五十二度
同	同	同	同	同	同	同
五	日	同	同	同	同	同
七十五度	七十一度	六十六度	六十七度	五十八度	五十四度	五十度
同	同	同	同	同	同	同
六	日	雨	晴	同	同	同
七十三度	六十七度	六十八度	六十八度	五十五度	五十五度	四十八度
同	同	同	同	同	同	同
七	日	同	同	同	同	同
七十六度	六十三度	六十七度	六十七度	六十度	五十六度	五十一度
同	同	同	同	同	同	同

地質分析表

八日	同	七十八度	同	六十四度	同	六十八度	同	六十六度	同	六十七度	同	六十二度	同	五十三度	同	四十九度	同	四十五度
九日	同	七十七度	同	六十二度	同	六十七度	同	六十八度	同	六十七度	同	六十七度	同	五十八度	同	四十七度	同	四十三度
十日	雨	六十五度	同	六十三度	同	六十八度	同	六十七度	同	六十三度	同	五十六度	同	四十九度	同	四十六度	同	四十三度
三十一日					同	六十八度												四十四度
含有物質	平均分量 (千分)	最高分量 (千分)	最低分量 (千分)	砂及粘土	八〇六七	八六六四	七七〇八	礫物溶解質	一三二〇	一九五四	九九二	鐵性不溶解質	三九八	四八五	二四四			

礦物溶解質ノ割合

剝 鴉 亞 斯	五九三	一一八三	三三三
曹 遠	三八六	一〇一五	〇六〇
石 灰	一四五七	二一五二	五〇二
麻 瓜 涅 矢 亞	五四七	一〇一六	〇六九
酸 化 鐵	二九七五	三五四九	一一七〇
酸 化 萬 岩	〇九二	一三二	〇三九
亞 兒 那	四二四〇	七〇五七	二六〇八
硫 酸	〇六三	一五二四	〇三九

近來發明セシ蔬菜用礦物肥料

磷 酸	〇三六	一五〇	〇三六	
硅 酸	四三八七	六八七五	一五九九	
炭 酸	六七三	二〇五九	〇七〇	
苦 魯 倫	三二四	〇三三九	〇〇〇二	
元 素	磷素 <small>(水ニ溶 解スヘキ モノ)</small>	石 炭 酸 化 鐵	他 ノ 溶 解 シ 易 キ 原 質	全 量
割 合	二二〇〇	五五〇〇	一〇〇〇	一〇〇〇〇
車馬重量表				
二頭曳馬車ノ量				
泥	沙 <small>(平均)</small>	正 味 <small>(菜種)</small>	合 計	

三百二十貫 四十四貫 五百八十六貫 九百五十貫

千八百七十六年ヨリ八十六年マデ十年間甜菜一町歩ノ平均収納表

事項	最 少	中	最 多
甜 菜 根	四千三百九十六貫	六千六百五十貫	一万千五百〇五貫目
糖 分	一二三四	一三二二	一二九五
砂糖製産高	五百二十六貫	八百七十二貫五百目	千四百八十九貫六百目

○六月十二日 曜 雨寒温儀六十度

野田監督ヲ訪フ得能氏來話

今夕小松宮殿下ヨリ御招待アリ武四郎所勞ニテ隨行官首席ノ者代リ出頭スヘキノ處重雄モ不在ニ付元吉ヲ遣ス

○六月十三日 曜 晴寒温儀六十五度

昏起、府外ニ散歩シテ練兵場ニ到リ練練ヲ見、歸路再ヒ市内ヲ遊覽シ夜ニ入テ歸館ス伯林中、往來人ノ輻湊スル所、其多數ヲ占ムルモノハ軍人ニシテ之ニ亞クモノハ娼妓ナリ夜陰公園地ノ雜沓猥褻ナルカ如キハ蓋シ繁股ノ地ノ一弊タリ又犬ヲ飼フモノ甚多クシテ人ヲ害センコトヲ防クノ法律アリ鐵若クハ眞鍮ノ網袋ヲ以テ犬ノ嘴ヲ嚙ミ口ヲ開クヲ得サラシム他邦ニ於テ未タ曾テ見サルノ良法ナリ小松宮殿下今夜英國龍動ニ赴ク在留ノ邦人、セントワール停車場ニ奉送ス

○六月十四日 曜 晴寒温儀六十四度

重雄宗一ヲ隨ヘ公使館ニ到リ明日發途ノ事ヲ告ク

○六月十五日水曜快晴寒温儀六十五度  
 本日發程ノ豫定ナリシカ一日ヲ緩メ一行伊地知大尉ノ案内ヲ以テ「ボツターム」ニ赴ク伯林ヲ距ル四獨里我八里氣車ニ駕ス「ボツターム」ハ「フワーヘル」湖ニ沿ヒ丘壘ニ據テ數個ノ離宮アリ年々皇帝ノ避暑ニ幸スル所宮殿構造質朴ニシテ廣濶ナラス殿内帷帳及椅子等ニ用ルモノ皆金巾ノ更紗ニシテ其質素ナルコト總テ之ニ準ス以テ獨逸帝國計ナ定ムルノ一斑ヲ窺フニ足ルヘシ此地内甚廣クシテ數個ノ殿宇皆質素ニシテ風致アリ特リ皇太子ノ宮殿ハ壯麗ニシテ前門ノ屋舎ニ近衛兵若干ヲ屯セリ  
 此夜乃木少將及川島中村福島伊地知早川楠瀬得能等ノ諸子ニ晚饗ヲ饗シ別テ告ク

○六月十六日水曜曇寒温儀六十三度  
 一行々李ヲ整ヘ后十一時十九分セントラール停車場ヨリ發ス乃木川上中村川島福島楠瀬伊地知江木堀渡部田中及獨人「ホラー」諸氏送テ停車場ニ來ル汽笛一聲別テ送ル夜色眺望ナシ暫クニシテ寢ニ就ク歐洲ニ入テヨリ時已ニ夏至ニ向ハントスルヲ以テ晝長ク夜短ク伯林ニ來テ試ムルニ夏至ニ先タツ一句ニシテ后十時點燈翌日前二時天明細字ヲ讀ミ得ヘシ夜黒ハ僅ニ四時間ナリ是ヨリ魯京ニ入レハ夜益短カルヘシ今夜十二時汽車中ヨリ西天ヲ望メハ夕陽ノ殘光アルコト恰モ我秋季點燈後ノ如シ  
 ○六月十七日金曜晴寒温儀五十六度  
 曉來車中類リニ寒氣ヲ覺ユ玻璃窓ヲ開ケハ田園アリ牛羊



ノ牧場アリ又松林アリ地勢概チ平行ニシテ白色ノ砂土アリ聞ク獨逸ヨリ魯國ヲ經テ烏拉山ニ達スルマテハ凡テ平地ニシテ山岳ナシト一望シテ平地天ニ接セリ后一時魯國ノ境ニ入りアレキサンドロフカノスタインヨシニテ汽車ヲ移換ス此處稅關アリ旅人ノ荷物ヲ檢ス曾テ聞ク魯國稅關吏ノ行李ヲ點檢スルハ殊ニ苛細ナリト然ルニ此驛長ハ陸軍大尉某ニシテ日本將官ノ來ルト云フヲ以テ我一行ヲ喜ヒ迎ヘ殊ニ懇待ヲナシ別ニ休息所ニ招シ荷物ハ總テ開緘スルヲ爲サス后二時ソルシャツ着車ヨローツバホタルニ投宿

「ワルシャツ」ハ舊波蘭土ノ都ニシテ魯國ノ略取ニ屬シ人口四十五万宮殿二個アリ其一「サーモツク」ハ今兵營トナリ他

ノ一個ハ魯帝ノ離宮タリ最モ靜閑ノ地ニシテ樹木繁茂濛濛ヲ廻ラシ林泉風致アリテ避暑ニ可ナリ市外ウヰースラ河ニ架シタル鐵橋ハ長七百米突アリ建設甚壯大ナリ會市内ニ博覽會アリ一見ス其裝置列品共ニ別ニ記スヘキモノヲ見ス

○六月十八日土曜晴車中暖爐アリテ寒温儀ヲ驗スルヲ得ス前十時八分「ワルシャツ」停車場發鐵路左右極メテ瘠土ナレトモ牧草園アリ松林アリ二三英里毎ニ二三十戸若クハ四五十戸ノ寒村アリ家屋矮少間ハスシテ窮民タルヲ知ル蓋シ瘠土ニシテ殖産ノ道ナキヲ以テナルヘシ此邊松及ドロノ木多ク瀛車ノ燃料モ悉ク木ニシテ石炭ヲ用ヒス「グロツド」ノ停車場ニ午餐シ「ウヰリ」ノ驛ニ晚餐シ夜ヲ徹シテ行ク

○六月十九日日晴

車中ニ朝餐シ「ルーガ」ニ午餐ス彼得堡ニ近キタルヲ以テ宿驛漸ク繁段、家屋稍美麗ヲ加ヘタリ后六時彼得堡着車代理公使岩倉具經、加藤書記官等接迎、フランスホテルニ投ス

○六月二十日日晴、寒温儀六十二度

「マルスカイヤ」街ノ我公使館ヲ訪ヒ西全權公使不日着任スルノ報知ニ接ス、歸宿後造幣局ヨリ出張ノ長谷川爲治氏來訪

○六月二十一日日火晴、寒温儀六十五度

取調事件照會ノ爲メ重雄ヲ公使館ニ遣ス

○六月二十二日日水雨、寒温儀六十三度

重雄龍動ヨリ到着ノ荷物ヲ受取ル爲メ公使館雇露國人某

ヲ案内トシテ税關ニ到ル露國ノ關稅法甚タ嚴密ナリト雖モ此行李ハ自己ノ旅具ニシテ商品ノ如キモノニ非サルヲ陳シ課稅ヲ謝絶シテ荷物ヲ領受セリ露國ノ風俗殊ニ軍人ヲ敬重スルヲ以テ此特例ヲ諾シタルモノナリ一行到ル處特別ノ禮遇ヲ受クルコト此類頗ル多シ

○六月二十三日日木雨、寒温儀六十四度

重雄ヲ公使館ニ遣シ露國政府へ照會ノ箇條ヲ依囑ス其趣旨ハ左ノ如シ

噸州及西比利亞地方哈薩克兵ノ實況ヲ一覽致度依テ豫メ編其制給養等ニ關スル規則條例ノ贈與ヲ乞ヒ又各地ノ司令官ヘハ其旨趣ヲ命令シ西比利亞地方ヘハ驛傳通運ノ便利ヲ與ヘラレンヲ乞フ

○六月廿四日金曜快晴寒温儀六十八度

公使館ニ到リ岩倉代理公使ノ案内ヲ以テ「カメンスキー」ノ公園ヲ一覽シ歸路「レートニー」ノ公園ニ入テ「ペートル」帝創業ノ時常居シタル家屋ヲ見ル其簡略質素ナルコト當時ノ用意ヲ想見スルヲ得ヘシ歸宿後「チフスキー」プロスペクトノ商店ヲ一覽シ二三ノ雜具ヲ購フ

此日夏至當府ニ在テハ夜中暗黒トナルコトナク夜十二時窓下ニ燈火ヲ用ヒス讀書スルヲ得日没ノ殘紅曙光ト繼續夜ヲ徹レテ赤シ其光明東西ニ非スレテ常ニ北方ニ在リ

○六月廿五日土曜雨寒温儀六十三度日暮雹降

岩倉代理公使同伴帝宮ノ寶藏ヲ一覽ス寶藏ハ建築モ美麗ニシテ皇居ニ接續シ二階ニ庭園アリテ大木ヲ培植シタル

如キハ最モ奇トス其藏スル所ノ物品中第一世「ペートル」帝常用ノ器具ヲ陳列セリ凡テ質素ノ物多シ又玉石ノ類枚舉ニ遑アラズ金剛石及其他ノ寶石金銀具等日ヲ眩スルニ足ル政府ノ國勢ハ富有ナラストノ評アリト雖モ帝室ノ富ハ此寶藏ノ一目シテ概見スヘシ午後加藤書記官來訪

○六月廿六日日曜曇寒温儀六十八度

「チツ」河ノ舊砲臺中ニ在ル第一世「ペートル」帝以來「ロマー」ノ「家」歴代ノ墳墓ヲ見ル砲臺中ニ一字ノ寺ヲ創シ寺中正面ニ「耶穌」ヲ祭リ墳墓ハ臥棺ニシテ大理石ノ櫃ニ藏メ之ヲ並列シテ鐵柵ヲ廻ラレ兵隊之ヲ監守セリ歴代皇帝皇妣ノ遺骸ヲ葬ル其趣向他ニ比類ナキ簡易ノ法ニシテ今後尙ホ幾個ヲ増スモ只臥棺ヲ藏メタル石櫃ヲ増スノミ之カ爲メニ

廣大ノ土地ヲ要セス又之ヲ移轉スルニモ容易ニシテ用意誠ニ至レリ是ヨリ「ワシリスキ」島ノ酒樓ニ午餐ス眺望甚タ佳ナリ歸路彼得帝創業ノ時住居シタリント云フ矮屋ヲ一覽セリ

○六月廿七日曜月雨寒温儀六十六度

武四郎ハ岩倉代理公使ノ案内ヲ以テ外務省ニ到リレニ長次官不在ナルヲ以テ更ニ亞細亞長局「ジノウヒエフ」氏ニ面會シ西比利亞ノ旅行ヲ急クヲ以テ豫メ之カ爲メニ要スル所ノ便利ヲ與ヘラレンコトヲ乞ヒ承諾ヲ得

○六月廿八日曜火晴寒温儀六十八度

所要アリ重雄ヲ公使館ニ遣ス偶參謀中佐「ナジシガウゼン」氏我一行ノ照會ニ對スル事件ニ關シ出頭セリ

○六月廿九日曜水晴寒温儀六十五度

○六月卅日曜木晴寒温儀六十五度

西全權公使獨國郵船沈没ノ難ニ遭ヒ豫期ノ日限ヲ經過シ本日前十一時妻子ト共ニ着任之ヲ停車場ニ迎フ參謀中佐「ナジシガウゼン」氏來リ告ク一行ノ接待員ハ「ハローシン」少將ト確定シタリト且ツ氏モ亦應分ノ周旋ニ與ランヲ望メリ

此夕哈薩克兵本部長「ゾロタリ」中將ヨリ來書アリ哈薩克兵ニ關スル事件ノ調査ハ十分ノ満足ヲ與フル爲ニ委員ヲ「ハローシン」少將ニ命シタル趣ヲ報セリ

○七月一日曜金晴而風寒温儀六十七度

前十時「ハローシン」少將來訪自著哈薩克諸兵及其畧史ヲ贈

フル

后一時一行禮裝陸軍卿代理參謀本部長參謀中將、オブルナ  
ヘフ「哈薩克兵本部長參謀中將、ゾロタリヨフ」及「ハローシン」  
少將ヲ訪問ス。哈薩克兵本部長ヲ該本部ニ訪タルトキハ全  
露哈薩克兵ノ委員會議アリ。議席ニ臨ミ一覽セリ。其委員ノ  
組織ハ左ノ如シ

○哈薩克兵ノ將官會議ハ委員會議ニシテ議員ハ即チ委員  
ナリ

委員會議

- 會議長 哈薩克兵本部長參謀中將、ゾロタリヨフ
- 委員 哈薩克兵本部次長參謀少將、ナルプト
- 全 參謀少將、ミハイル、ハローシン、第二部長

全 文官四等(少將相當官)ニコライ、レマン、第

三部長

- 全噸兵 參謀少將、ニコライ、クラスノフ
- 全「オレンブルグ兵」大佐、イワソ、ストレルコフスキ
- 全「クバニ」及「兵」中佐、ワシリ、サウヒツキ
- 全「シベリ」及「セ」兵 中佐、ゲナルギ、カタナエフ
- 全「ミレナエ」兵 大佐、ウラジミル、コノノウヒナ
- 全「ザバイカル」及「兵」少將、パトリキ、マルトウイノフ
- 全「ウラル」兵 少將、ニコライ、ヂヨゴレンフ
- 全「アストラハニ」兵 大佐、ペートル、クリモフ

全噸兵 歸宿後參謀本部長、オブルナヘフ「中將ヨリ答問アリ  
后八時、ハローシン」少將來訪哈薩克兵ノ沿革ヲ説明セリ

○七月二日土曜晴寒温儀七十三度

今朝ゾロタリヨフ中將來訪アリ前十時一行武裝ハローレン少將ノ宅ニ赴ク昨日約アリシヲ以テナリ少將妻女避暑移轉中ニシテ屋内甚々寂然タリ請テ居寓内ヲ一覽シ哈薩克兵統轄上ニ關スル兵務經理民政ノ三區分説明アリ陸軍會議營轄圖解及哈薩克兵建制軍隊ノ組織等左ノ如シ終テ午餐ノ饗應アリ細君手造ノ酒類種々ヲ侑メリ歸路參謀中佐ナジシガウゼン氏ヲ訪フ

○陸軍會議

陸軍會議ハ左ノ三件ヲ審査判定スル爲メニ設立スル所ノ最モ高等ナル官廩ナリトス

其一 立法事務ニ關シ總テ陸軍部内ニ生スル事件

其二 經理上最モ重要ナル事件

其三 諸兵及陸軍諸學校ノ狀態ニ關スル重要ノ問題

此他陸軍貯蓄恩給ニ關スル事務ハ同ク本會議ノ統轄スル所ナリ

陸軍會議ハ直接ニ皇帝ニ隸屬シ決シテ他ヨリ命令ヲ受クルコトナク又他ニ向テ報告ヲ與フル等ノコトアルナシ且ツ又陸軍會議ハ皇帝ノ親裁ニ出ツルニアラサレハ決シテ其責ヲ負フコトナシ

陸軍會議ハ議長及議員ヨリ成立ス陸軍大臣ハ即テ陸軍會議ノ議長ナリ

陸軍會議ノ議員ハ悉ク親任官ニシテ任免共ニ親裁ニ出ツルモノナリ

- 陸軍會議ニ總會議及小會議ノ二別アリ
- 陸軍會議ノ審査ニ属スル條項左ノ如シ
- (一) 陸軍部内ノ諸部ニ於テ大改革ヲ要シ或ハ新ニ諸官廳ノ設立ヲ要スル等ノ事件及其考案
- (二) 現行法律ノ修正増補註釋若クハ變更ヲ要スル場合
- (三) 軍隊編成表及人員表
- (四) 陸軍一般ノ經費ニ關スル歲出ノ豫算
- (五) 臨時費ノ請求
- (六) 陸軍定額金ヲ豫算ノ如ク正當ニ支出スル方法及手段ニ關スル考案
- (七) 哈薩克諸兵軍政及民政管轄上ニ關スル重要ノ事件
- (八) 陸軍省内各本部及各軍管本部各軍管會議又哈薩克諸

兵管轄廳及總テ陸軍省ニ隸属スル諸官廳若クハ官吏等ノ處置ニ對シ不服ナルトキ規定ノ手續ヲ以テスル訴訟

事件

- (九) 陸軍部内ニ不動産ヲ購入シ又ハ之ヲ部外ニ賣却スル事件
- (十) 一般人民ヨリ陸軍部内ノ諸官ニ係ル訴訟事件及部内ノ諸官ヨリ人民ニ對スル訴訟事件
- (十一) 陸軍部内ノ資金及物品財ノ報告
- (十二) 陸軍部内貯蓄恩給ニ關スル年度ノ報告
- (十三) 諸軍隊及陸軍諸學校檢閲ニ關スル陸軍會議議員ノ

報告

○參謀本部

參謀本部ニ於テ統轄スル事務

(一) 全軍一体及兵科別、勤務別、又各軍組織内ニ於ケル諸隊ニ關シ詳密ナル諸報告

(二) 諸兵、諸官廩、諸學校

(三) 諸兵建制、勤務配置、教育、經理、及物質上諸兵萬端ノ需要ヲ供給シ常ニ遲滯スルコトナキ様監督スル等是ナリ

參謀本部ハ國內ノ資力及外國交渉ノ事態ヲ觀察シ必要ト見做ス所ノ方法ヲ以テ諸兵編成ノ計畫ヲ爲シ又徵兵募集及歸休兵徵集ニ關シテハ其處置能ク正規ニ適ヒ且ツ時機ヲ失セサル様監督スル等悉ク之カ負擔スル所ナリ  
軍隊ニ軍紀風紀ヲ維持スルハ均ク參謀本部ノ義務ナリ  
參謀本部ハ軍略經理勤務上ノ必要ニ適當スル諸兵配備ノ

計畫ヲ爲シ諸兵ノ配置所ヲ變換シ罪因ノ行路等ヲ確示ス  
又平時ニ在テ諸兵教育ノ課程ヲ定メ軍事動作ノ規畫ヲ定ム

陸軍部内ノ測量事業ヲ監督シ地圖ヲ調製シ帝國內及國境ニ沿ヒタル土地ハ特ニ軍事上ノ要訣ヲ配量シ見取圖及軍用統計誌ヲ編纂シ常ニ露國及外國ノ地圖見取圖、又戰時ニ臨ンテハ某國ハ戰鬪上何分ノ實力アルヤ豫メ最モ細密ナル報告ヲ蒐集スル等委ク參謀本部ノ管轄スル所ナリ  
參謀本部ハ參謀本部長ノ直轄ニ屬シテ部内六局會計部、亞細亞部、裁判部、圖書部、軍用活版部、等諸局部ノ設ケアリ又部内別ニ軍用製圖部、陸軍學務部、ノ二部アリ  
以上揚クルモノ、外ニ



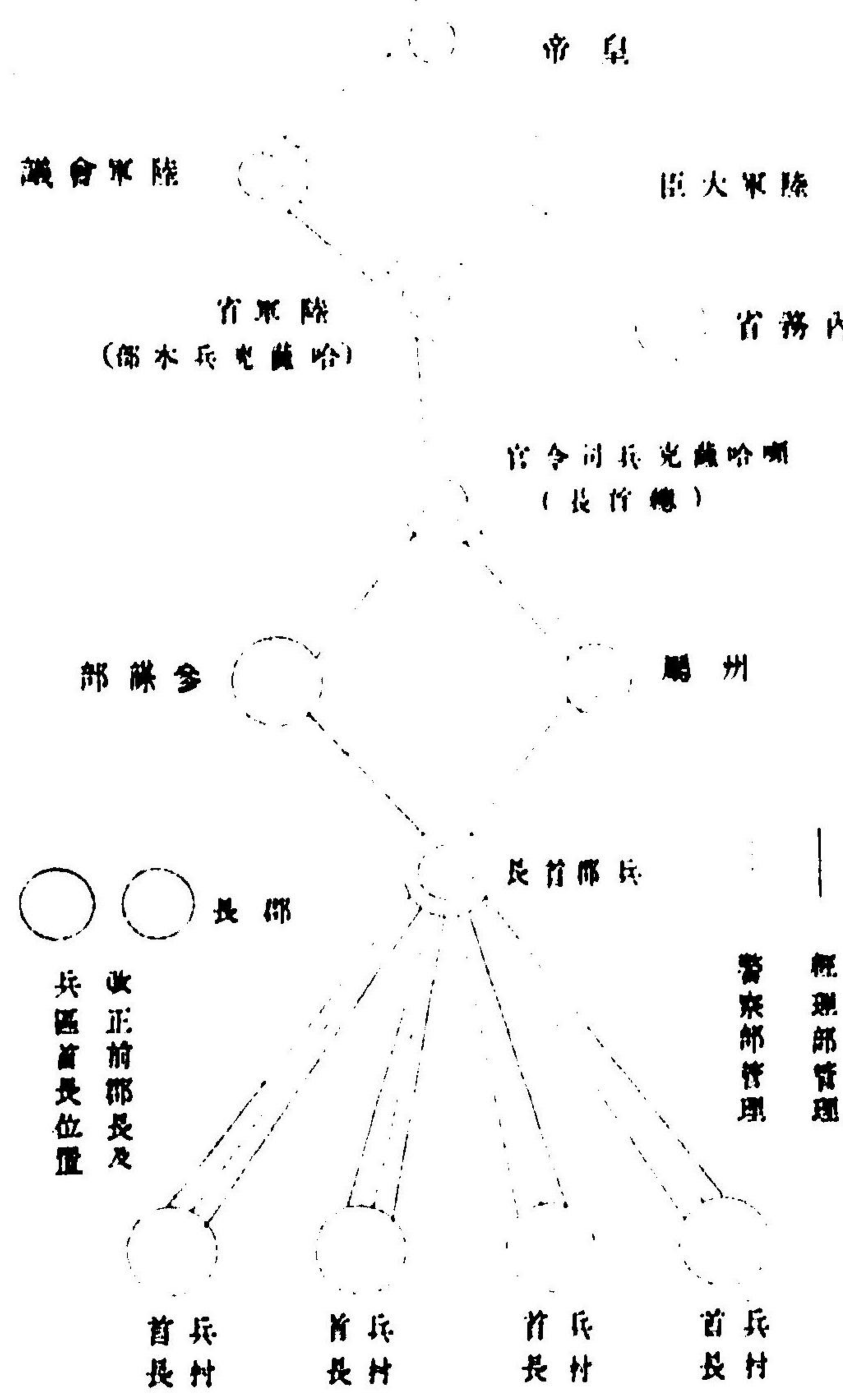
(一) ニコライ參謀大學校

(二)(イ)參謀將校團

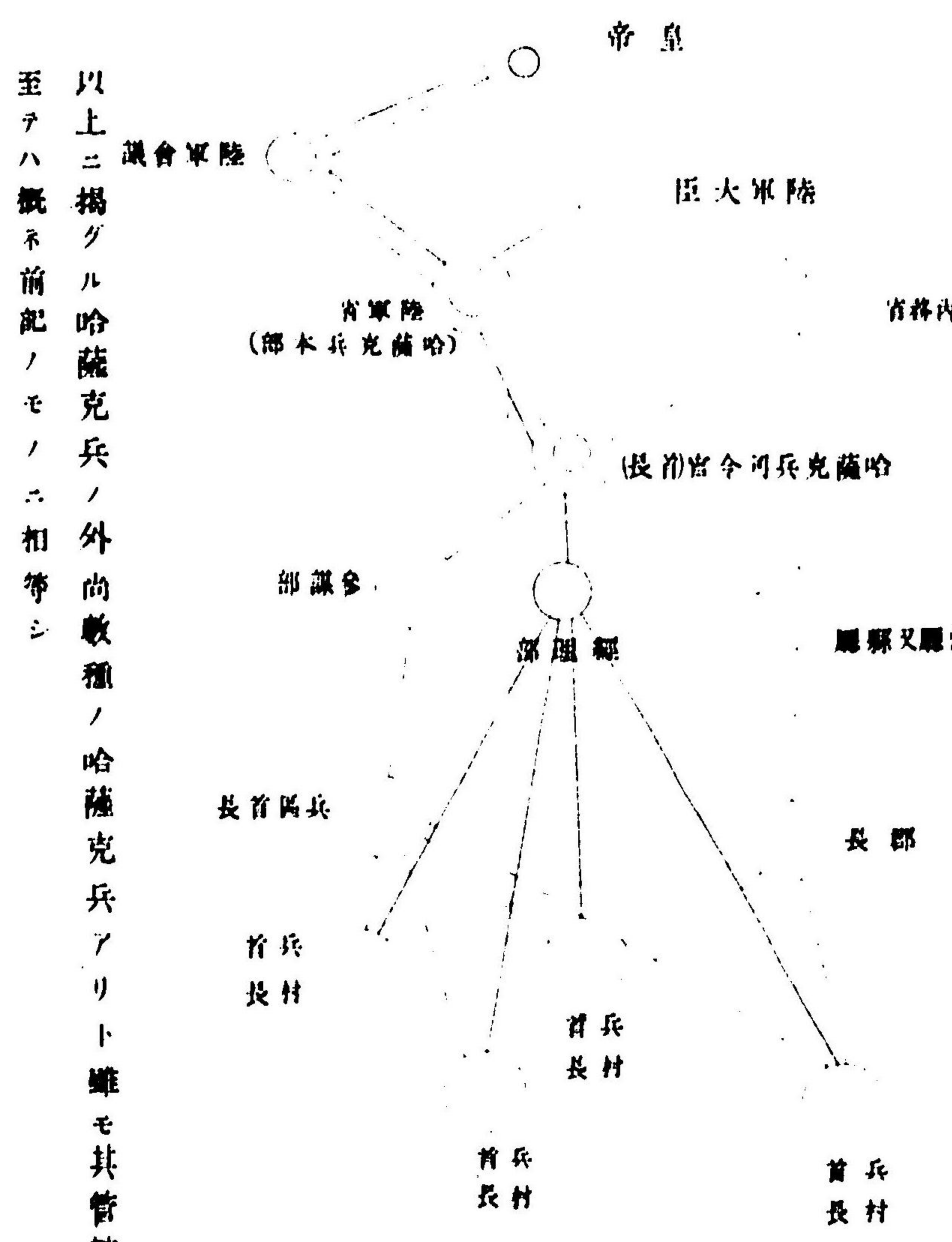
(ロ)陸軍製圖將校團

(ハ)傳命(フヘリド、エーゲリ)團等ハ總テ參謀本部ノ管轄  
内ニ属セリ此諸部設立ノ目的課業ノ科目及編制ハ  
別ニ條例アリテ之ヲ定ム

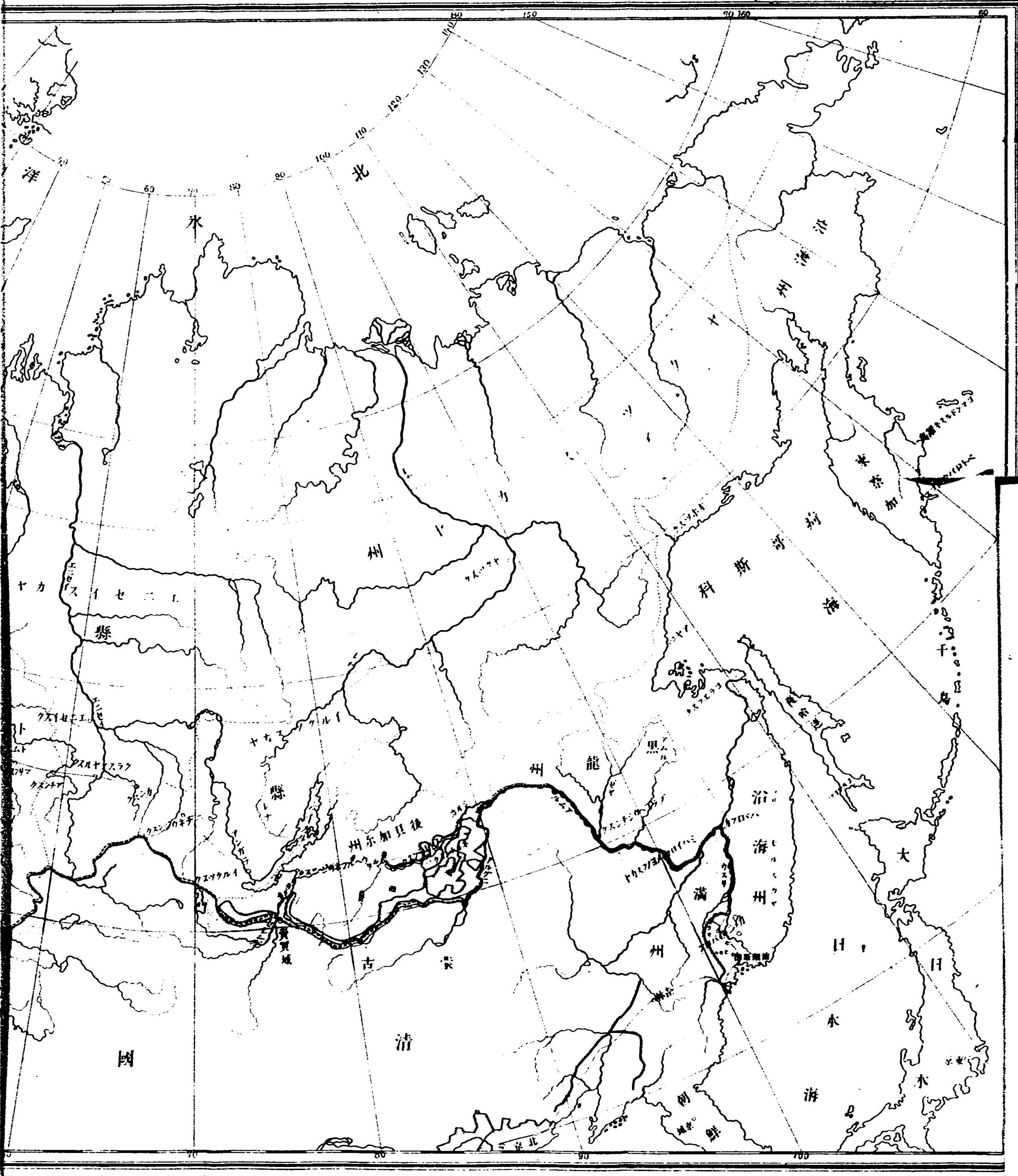
噸哈薩克兵州改正軍政經理警察管轄圖解



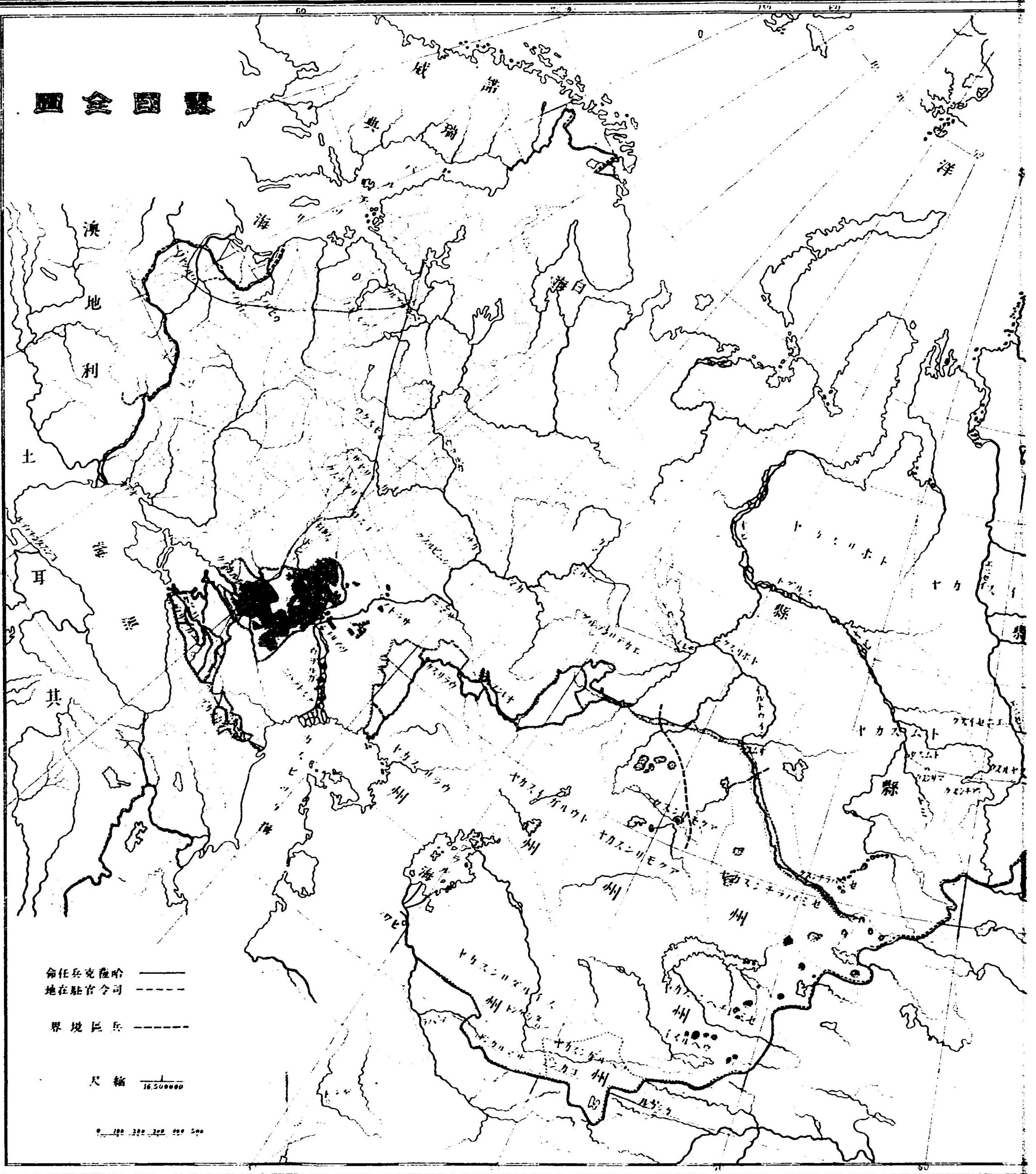
噸哈薩克兵州及[ハ]カ[ル]噸哈薩克兵州軍政經理警察管轄圖解



以上ニ掲グル噸哈薩克兵ノ外尙數種ノ噸哈薩克兵アリト雖モ其管轄ニ至テハ概テ前記ノモノニ相等シ



圖全圖蒙



哈薩克兵建制

千八百七十年五月一日(十三日)敕定

第一編

兵鄉及兵村共同管轄ノ事

第一章

兵鄉管轄之事

第一條 兵鄉組合ハ其者ノ族籍ヲ區別セス兵鄉及之ニ附  
屬スル諸兵村其他各名稱ノ諸村落總住民ヨリ組織スル  
モノトス此ノ如クニシテ編成セル各哈薩克兵別兵鄉組  
合記入表ハ陸軍會議ニ於テ確定セラル、モノトス

第二條 各兵鄉組合ニ於テ兵鄉管轄廳ヲ成シ立ツルモノ  
ハ第一兵鄉會議第二兵鄉首長及兵鄉役所第三兵鄉裁判

ト爲ス

第三條 兵郷管轄廳ハ兵郷組合ノ軍事民事ニ關スル万端ノ事務ヲ處理シ其事務ニ依リ適宜軍政部若クハ民政廳ニ隸屬スルモノトス

第一款

兵郷會議

第四條 兵郷會議ハ兵郷組合ノ組織内ニ属スル總戸主及組合ノ公撰ニ依リテ任命セララル、總諸職員ヨリ成リ立ツモノトス若シ戸主他行疾病其他事故アツテ親カラ會議ニ出席スルコト能ハサルトキハ代人トシテ其家族内ノ者ヲ之ニ出席セシムルヲ得  
但兵郷組合中ニ住居シ家屋若クハ他ノ不動産ヲ所有

スル非兵籍ノ者ハ其事實哈薩克籍ニアラサル者ニ關係スル諸事件ヲ審議決定スル時ニ限り兵籍ノ者ト同等ニ兵郷會議ニ參與スルモノトス

第五條 兵郷會議ニ於テ發聲權ヲ有スル兵郷組合ノ戸主ニシテ半年又ハ半年以上他出スル者若シ前第四條ニ依リ會議ニ向ヒ代人ヲ表スヘキ者ヲ其家族内ニ持タザルトキハ同兵郷組合人ニシテ發聲權ヲ有スル者ヲ以テ其代理ト爲スヲ得セシム但會議員ノ内何人ト雖ニ聲以上ノ發聲權ヲ有セサレモノトス二聲ハ一ハ本人ニ屬シ一ハ之カ委任ヲ受ケタルモノ、代理發聲權トス其代理ノ事ハ本人及委託者ヨリ豫メ口頭ヲ以テ兵郷役所ニ届ケ出テ兵郷役所ニ於テ之カ爲メニ別ニ備ヘ置ク所ノ帳簿

ヲ記入セシム

第六條 裁判未決ノ者或ハ罪科過失等ニヨリテ自己ノ諸  
権理及一代若クハ資産ニヨリテ自得セル諸特權ヲ剝奪  
セラルヘキ者又ハ判決ニヨリ組合ノ監視ヲ附セラレタ  
ル者及會議ニ參與スルヲ除却セラレタル者等第八條其  
十五)ハ會議ニ參與スルヲ許サス

第七條 兵郷首長ハ兵郷ノ席首ヲ占メ會議ニ於テ必要ノ  
秩序ヲ維持セシム兵郷首長不在ナルカ又ハ該首長ニ係  
ル訴狀ヲ調査スル時ハ兵郷會議ノ首席ハ該會議ニ於テ  
撰拔セラレタル者ニ屬ス

第八條 會郷兵議ニ於テ處理スル事務左ノ如シ

其一 法律ノ規定スル諸職員ノ撰舉

其二 若シ組合ニ於テ之ヲ必要ト見做ストキハ寺院

世話掛糧倉監視書記林番田畑番人等ヲ任定スル事

其三 會議時期ノ規定

其四 共同救助ノ方法初等諸學校ノ設置兵郷豫備糧  
倉ニ係ル諸務

其五 豫備糧倉ヨリ貸附スル事及其他諸救助ヲ附與  
スル適否ノ決定

其六 特別撰舉人ヲ以テ兵郷組合諸務ニ係ル訴訟及  
請願ヲ爲ス事

其七 兵郷組合ノ諸務ヲ辨スルカ爲メニ巡廻セシム  
ル委任狀ヲ附渡スル事

其八 共同地所ヲ區畫シ之ヲ分與スル事及住民共同

所要地ヲ分與シ尙ホ殘ル所ノ地所山林牧場等ノ地所ヲ處分スル事

其九 兵郷經費ニ充ツル諸收入ヲ規定スル事

其十 兵郷資金ヲ處理スル事即チ歲入豫算ヲ調整シ豫算額徵集ノ順序ヲ定ムル事又其支出計算及保存ノ事

其十一 總地方諸役ヲ組合人ニ割賦スル事

其十二 組合中諸役未納者ナカワシムルノ方法ヲ案シ及未納者ヨリ追徵スルノ方法ヲ立ル事

其十三 組合ニテ撰舉シタル諸職員ノ作行ヲ審査スル事

其十四 撰舉ニヨリ若クハ雇ヲ以テ勤務セル所ノ兵

郷諸職員ニ與フル俸給又ハ他ノ報酬ヲ規定スル事  
其十五 組合中ヨリ其組合員ヲ免除シ新ニ組合員ヲ入ル、事及組合中ヨリ有害惡僻アル者ヲ離却シ又ハ一時之ヲ却ケテ三年以内會議ニ參與スルヲ得サ  
ラシムル事

其十六 後見人及世話人ヲ定メ其作行ヲ審査スル事

其十七 諸多ノ事情アル服役部哈薩克ノ爲メニ服役

特典ヲ請求スル事

其十八 兵郷組合服役部諸職員ノ順次ヲ審査スル事

其十九 所屬長官ノ命ニヨリ内部勤務中ノ下士卒ヲ

本兵内部實役及警察諸施設ニ配賦シ又之ヲ騎兵歩兵ニ區別スル事

其二十 服役部哈薩克懶惰若クハ放蕩ニシテ制規ノ被服馬匹其他實役ニ就クニ臨ミテ必要ナル諸附屬品ヲ所持セサル者ヲシテ之ヲ調理セシムルノ方法ヲ立ツル事

其二十一 兵郷組合ノ經理及共同事務ニ關スル諸事件ニ就キ定規ヲ立ツル事及哈薩克諸兵關係諸法規ニ明示セル規則ニヨリ兵郷會議ノ同意或ハ判定ヲ要スル場合ノ事

其二十二 年齡簿及順番名簿調査及決定ノ事

其二十三 「ドシ」アストララハン「ウラル」オレンブルグ「ビリ」セミレナエ「ザバイカル」及「アムール」哈薩克諸兵ニ於テハ士族官吏及商人ヲ除キ兵郷内ニ居住スル

下士哈薩克其他ノ者ノ幼年ナル子弟若クハ成年者ト共ニ居住スル幼年子弟ニ附屬スル需要各種ノ消耗品ヲ取り除ク事又之ニ附屬スル其他ノ動産或ハ不動産ハ兵郷會議ノ決定ヲ經「ドシ」兵ニ於テハ郡區後見「アストラ」ラハニ「ハ」兵區長其他諸兵ニ於テハ郡區長等ノ贊成ヲ得且「ドシ」兵ニ於テハ州廳「オレンブルグ」兵ハ縣廳「アストラ」ラハニ「セミレナエ」アムール兵ハ哈薩克管轄所「ウラル」シベリ及「ザバイカル」兵ニ於テハ哈薩克經理部等ノ諸官施設ニ於テ確定ヲ經且又民法第二百七十七條及第二百八十一條ニ示明セル場合ニ於テ「ノミ」之ヲ取り除キ押へ置クヲ得ルモノトス



第九條 兵郷會議ハ其管理ニ屬スル小事件ニレテ次回ノ會議マテ之ヲ遅延スルトキハ組合又ハ其組合員之利益ニ害ヲ來スヘキモノハ之ヲ兵郷役所ニ移シテ處理セラルルノ特權ヲ有セリ

第十條 兵郷會議ノ決議ニシテ有效ト見做サル、モノハ該會議ニ兵郷首長或ハ之カ代理ヲ爲スモノ及發聲權ヲ有スル住民ノ半数以上出席ノ上決定セラレタルモノトス又會議ノ決定ニシテ制法ト見做サル、モノハ以上ノ要決ヲ守リ制規ノ順序ニ依リテ調理シ且會議處理圍範内ノ事件ニ關スルモノニ限ルモノトス

第十一條 兵郷會議ノ決議ニ關スル訴訟ハ一兵郷組織内ノ各個兵村間ノ地所割賦ニ關スル事件及第八條十二目

リ十八項ニ當ル事件ニ就テノミ受理セラル、モノトス此訴訟ハ其決議後一ヶ月以内ニ郡區長ヲ經テ州縣ノ長官ニ差シ出スヘキモノトス該長官ハ之ヲ審査スルカ爲メニ一般ノ規則ニ基キ其主務諸官ニ送致ス若シ又其必要ヲ見ル時ハ兵郷會議ノ決議ヲ中止スルヲ得

但本編ノ規則ヲ以テ州若クハ縣長官及郡區長ニ附帶セル權理義務ハ「ド」及「ア」ストラハニニ於テハ其處務ニヨリ兵州司令長官郡長兵區長ニ附帶スルモノトス

第二款

兵郷首長

第十二條 兵郷首長ハ其一般兵郷敷地區内ノ秩序ヲ維持シ安寧ヲ保護スルノ責任ヲ負ヘリ之ヲ以テ此敷地区内ニ

住居スル者ハ悉ク之ニ服従スヘキノトス

但シ文武ノ官等アル者犯罪セシ時ハ兵郷首長ハ一般ノ順序ニヨリテ警察ニ届出ツルモノトス又其犯罪ノ事實ニ於テ之ヲ拘留セサルヲ得サル場合ニ於テハ之ヲ拘留シ直ニ急使ヲ以テ郡區長ニ上申スヘキモノトス

第十三條 警察事件ニ關シ兵郷首長ハ其管内ニ於テ左ノ

事務ヲ執行スルノ義務ヲ負ヘリ

- 其一 郡區長ノ示命ニヨリ政府ノ法律及諸達類ヲ公告スル事其管内ニ偽造ノ敕諭及一般ノ安寧ヲ妨害スル流言ノ傳播セサル様監督スル事
- 其二 公衆ノ場所ニ於テ齊肅ヲ保持シ各個人及財産

ノ安寧ヲ保護シ又事アル時ハ郡區長ノ示命ヲ受クルマテハ既ニ被害セラレタル靜穩安寧等ヲ恢復スルノ方法ヲ用ユル事

其三 無籍無賴ノ徒逃走者及軍事探偵者ヲ拘留シテ之ヲ其主務官ニ送致スル事

其四 恣意其常住ノ地ヲ去リタル者犯罪及各種不都合ノ事等ニ關シ郡區長ニ上申スル事

其五 非常ノ場合例ヘハ出火洪水傳染病疫病等組合一般ニ關スル災禍ニ臨ミテハ自カラ要務ヲ處弁シ直ニ之ヲ郡區長ニ上申スル事

其六 重輕犯罪ヲ豫防シ之ヲ追驅シ犯罪者發見拘留ニ關スル警察方法ヲ用ヒ之ヲ其主務官ニ送致スル

事  
其七 兵郷裁判及其他ノ裁判施設ノ判決ヲ執行スル  
事

第十四條 組合一般ノ事ニ關シ兵郷首長ハ其管内ニ於テ  
左ノ事務ヲ執行スルノ義務ヲ負ヘリ

其一 兵郷會議ヲ召集シ及之ヲ解散シ又議場ニ於テ  
必要ノ齊肅ヲ保持スル事

其二 兵郷組合ノ必要及利益ニ關スル諸事件ヲ提出  
シテ會議ノ審査ニ附スル事

其三 本編ノ法律及規則ニ基キ調理セシ兵郷會議ノ  
決定ヲ實施セシムル事又其施行以前ニ於テ所屬長  
官ノ確定ヲ要スル組合ノ決定事件ヲ其主務官ニ送

呈スル事

其四 一般兵郷敷地區内ニ於テ道路橋梁填道路渡場  
等ノ整備頓ヲ監督スル事

其五 共同管轄應諸職員ノ勉否ヲ監督スル事

其六 組合ノ負擔セル各種地方役ノ執行ノ整理ヲ監  
督スル事

其七 組合ニ於テ規定セル順序ニ準據シテ兵郷共同  
資金及兵郷共同財産ヲ取扱フ事及其之ヲ整理スル  
ト正當ノ支出ヲ爲ス等ハ之カ責任トス

其八 共同豫備倉ノ完全正當ノ支出及返還等ヲ監視  
スル事

其九 未納稅者ヨリ徵集セル抵當財産ノ費耗ヲ豫防

スル事

其十 其管内ノ者相互ノ約定若クハ之カ締結ニ關與セシモノニシテ之ヲ正當トナストキハ傍人トノ約定事件ヲ執行セシムル事

其十一 會議ノ委任ニヨリ自己ノ所要ヲ弁セシムルカ爲メニ服役部哈薩克ハ三ヶ月間自餘ノ兵郷組合住民ハ一ヶ年間之ニ制規ノ免狀ヲ附與シテ休暇ヲ與フル事

第十五條 兵籍住民ノ兵役事件ニ關シ兵郷首長ハ其管内ニ於テ左ノ事務ヲ執行スルノ義務ヲ負ヘリ

其一 服役部兵ニ編入セラレタル哈薩克及服役期ヲ終リ更ニ後備ニ編入セラレシ者又退役ヲ命セラレ

シ者等ニ關スル任命司令官ノ示命ヲ組合中ニ公告スル事

其二 順番名簿ニヨリ有要ナル人員ヲ召集シ實役ニ就カシムルカ爲メニ規定期限内ニ於テ長官ノ示指スル場處ニ派遣スル事

其三 次回實役ニ就クヘキ者及第一番部ニ在ル者ニ關シテ組合ニ公告シ各ヲシテ實役出發期ノ近キヲ知ラシムル事

其四 服役部哈薩克及退役哈薩克ニ關シ必要トナス所ノ諸報告ヲ調理シ其主務長官ニ送致スル事

第十六條 兵郷首長ハ其長官及審査用又ハ他ノ勤務上ノ委任ヲ受ケテ派遣セラレタル者ノ正當ナル要求ハ總テ

異議ナク執行スヘキモノトス

第十七條 兵郷首長ハ若シ其管内ノ者ニレテ資産上特權  
ヲ有セサル者違警罪ニ觸ルヽコトアル時ハ其犯罪者ヲ  
二日以内ノ共同使役又ハ共同資金ノ収入タルヘキ一留  
以内ノ罰金或ハ二日以内ノ禁錮ニ處スルヲ得此處分ヲ  
受ケテ後其不正ナルヲ訴フル者ハ七日以内ニ郡區長ニ  
訴ヘ出ツルヲ得ルモノトス

第十八條 兵郷首長ハ特ニ緊要ナル諸事件即ケ各個人ニ  
對スル警察處分又ハ裁判順次ヲ以テ賦課セラルヽ罰金  
徵集居宅或ハ他ノ建屋搜索拘留禁錮兵郷會計ヨリ共同  
資金ヲ受領シ又ハ支出スル時等ノ諸事件ヲ執行スルニ  
當リテハ必ス二名ノ証據人(特ニ其組合中ノ老人ヨリ撰

拔スルヲ良ントス)ヲ立會セシムヘキモノトス本規則ハ  
重輕罪豫審ノ時ト雖モ成ルヘク遵守スヘキモノナリ

第三款

兵郷役所

第十九條 兵郷役所ハ兵郷首長首長補役(若シ組合ニ於テ  
補役ヲ撰舉スルヲ必要ト爲ス時)及兵郷會計ヨリ組織セ  
ラルヽモノトス此外兵郷役所ニ出席スル者ハ兵郷組合  
中ヨリ各一年毎ニ撰舉スル委員ナリ此委員ノ人員ハ兵  
郷會議ニ於テ之ヲ定ムト雖モ必三名以上トス

但附屬諸兵村ヲ有スル兵郷ニ於テハ各兵村ノ志望ニ  
依テハ其委員ヲ出シテ兵郷役所ニ參席スルヲ得セシ  
ム

第二十條 兵郷首長補役ハ首長執行ノ事務ヲ補助シ而シテ直接之カ配下ニ在ルモノトス

第二十一條 兵郷會計ノ義務ハ兵郷會議ニ於テ規定スル順序ヲ以テ兵郷資金ノ受領保管支出及計算等ニ在リ又該會計ハ兵郷會議ニ於テ規定スル支出目ニ相當スルモノ、ミニ其資金ヲ使用スルモノトス

第二十二條 組合中ヨリ撰舉セラルタル委員ハ下項第二十六條ニ指示セル諸事件ヲ決定スルニ臨ミテノミ兵郷役所ニ出席スヘキモノトス

第二十三條 兵郷役所ノ總記録事務ヲ軍事民事ノ二部ニ分テ兵郷首長之ヲ監督シ兵郷書記ヲレテ之ヲ負擔セシム兵郷書記ハ其命ヲ受ケテ確實ナル諸名簿諸帳簿ヲ調

整シ兵郷首長兵郷裁判兵郷會議及役所ヨリ發送スル諸公信報告證明書等ニ何件ヲ記入シ何件ヲ決定セシヤ詳細之ヲ記載スルノ任ヲ負ヘリ若シ各部擔任ノ書記公信ヲ偽造スル時ハ刑法ニ基キ勤務上ノ公信偽造罪ニ照ラシテ刑事裁判ニ付シ其懲罰ニ處セラル、モノトス

第二十四條 兵郷役所ハ何兵何兵郷役所ノ印ト記入スル印章ヲ備ヘ置クモノトス

第二十五條 兵郷役所ハ人民ノ便ヲ謀リ成ルベク日曜日ニ集會スルモノトス但長官ノ示命又ハ延期スヘカワツル事件ノ起リシ時ハ此例ニ非ス

第二十六條 兵郷役所ノ管理事務左ノ如シ

其一 兵郷會議ノ委任ニヨリ之ニ擔當セレメラル、

諸事件ノ處理(第九條)

其二 兵郷資金及兵郷豫備糧倉ノ月次調査

第二十七條 前二十六條ニ記載スル諸事件ハ兵郷役所ニ於テ現在諸職員一同ノ賛成或ハ多数ニヨリテ決定スルモノトス兵郷首長ハ其管内諸事件ニ關シテハ自カヲ其責ニ任シテ自己ノ見込ヲ以テ之ヲ處理スルヲ得

第二十八條 前第二十六條ニ記載スル事件ニ關シ兵郷役所ニ對スル訴訟ハ兵郷會議ニ差シ出スモノトス

第二十九條 兵郷役所ハ郡區長ヨリ附渡セラル、諸帳簿ニ左ノ諸件ヲ記録スヘキモノトス

其一 命令簿此命令ハ兵郷首長其部下ノ諸職員ニ公告シタルモノニシテ首長若クハ之カ命令ヲ受ケタ

ル者ノ要求ニヨリテ之ヲ該簿ニ記入スル時ニ用ユ

其二 履歷簿

其三 兵郷會議決定簿

其四 兵郷裁判及勸解裁判々々決簿

其五 諸約定簿此帳簿ニハ締結者雙方ノ望ニ任ヒ哈薩克相互間並ニ傍人トノ約定ニシテ証人二名以上立會双方記名スルトキハ其金額五百留ヲ超過セサル諸約定ヲ記入スルモノトス而シテ此帳簿ニ記入セラレタル諸約定及其寫ノ証明ヲ經タルモノハ訴訟事件ノ起ルニ際シテ確乎タル証據ノ勢力ヲ有スルモノナリ

其六 年齡簿ノ脱漏及失誤ノ發見申出記載簿

第三十條 兵郷住民ノ之ヲ志望スル時ハ自己ノ不動産及  
動産ニ就キ其價額百留以内ノモノハ以下ノ手續ヲ以テ  
所屬兵郷役所ニ於テ違約書ノ証明ヲ求ムルヲ得其手續  
ハ第一該違約ハ兵郷役所ニ於テ諸職員及証人二名以上  
立會ノ上違約者本人口頭ヲ以テ申出ツル事第二此ノ申  
出ノ後該違約ハ約定簿ニ記入スル事此違約簿ニハ先ツ  
違約者及証人記名ス若シ本人等無筆ナルトキハ其依頼  
ニ出ツル他ノ者記名シ續テ立會セシ諸職員記名ス若シ  
該員ノ内無筆ナル者アルトキハ其職印ヲ捺ス第三約定  
簿ニ記入シタル詳細ナル寫ハ之ニ諸役員連名調印シタ  
ル後該違約者本人ニ附渡ス此寫ハ後來爭論ノ起ル時ハ  
裁判上證據物ノ勢力ヲ有スルモノトス

第三十一條 兵郷會議ハ前第二十九條及第三十條ニ記載  
スル諸事件ヲ約定簿ニ記入スルニ當リ何人ノ之ヲ締結  
スルヲ問ハス一約定毎ニ兵郷資金收入トシテ十胡以内  
ノ手数料ヲ取メレン若シ一約定ニ二名以上ノ關係人ア  
ルトキハ每一人五胡以内ノ額ヲ取メムルヲ得ルモノ  
トス

第三十二條 兵郷役所ニハ常ニ左記ノ諸帳簿ヲ整頓備具  
スルモノトス

第一 諸名簿

- 其一 現職官員及哈薩克兵下士卒名簿
- 其二 内部勤務(後備)ニ編入セラレタル哈薩克兵下  
士卒名簿



其三 退役官員及哈薩克兵下士卒名簿

其四 從軍記章及聖アンナ勳章ヲ有スル下士卒名簿

其五 非服哈薩克兵名簿

其六 十七歳以上哈薩克兵名簿

第二 哈薩克諸兵服役令及服務規則ニ明記スル記録簿

第三 兵郷組合ニ附屬スル總住民戸別簿

第四 被罰者ノ部ニ編入セラレタル服役部哈薩克兵罰科簿

第五 地籍簿此地籍簿ニハ兵郷會議ノ決議ニヨリテ傍人ニ貸附セシ地所及住民一般ノ利用ニ歸セシム

ヘキモノヲ取り除キタル後有餘ナル地所ヲ記載スルモノナリ

第四款

兵郷裁判

第一 裁判組織及集會時日

第三十三條 兵郷裁判ヲ組織スルカ爲メニ毎年兵郷會議ニ於テ四名乃至十二名ノ順番判事ヲ撰擧ス其撰擧人ノ員數ヲ定メ及其順番ヲ定ムルノ事ハ左記ノ項目ニ基キ組合ノ權内ニ委ヌ

其一 裁判ハ必ス判事三名以上在席ノ時開ク事

其二 判事ハ周年間交代セス其職ヲ執ラレムルカ又ハ豫メ兵郷會議ニ於テ定メタル順番ニヨリテ其職

百七十三

ニ就カシムルモノトス

其三 若シ順番ニヨリテ其職ニ就カシムル時ハ四名乃至十二名ノ内期限ヲ定メ(例ハ二ヶ月四ヶ月若クハ六ヶ月交代)其現在人員ノ半數以內ヲ以テ順次交代セシム

但實役服務中ノ諸職員ハ之カ撰擧ニ屬セサルモノトス

第三十四條 兵郷裁判ハ各二週間毎ニ成ルヘク便利ヲ見計ヒ日曜日ニ郷合スルモノトモ兵郷首長ハ必要ナル場合ニ於テハ其他ノ日ニ開會スルヲ得

第二 兵郷裁判管轄事件及其職權

第三十五條 兵籍住民ニシテ資産上特別ナル權理ヲ有セ

サル者及兵郷組合地區内ニ一時若クハ常ニ居住スル民籍ノ者又一般退役後備役下士卒及其家族等ハ總テ兵郷裁判ノ管轄ヲ受クルモノトス

第三十六條 兵郷裁判ハ下條記載スル所ニ基キ其所管内ノ者ノ爭論訴訟件及輕罪事件ヲ處理ス

第三十七條 兵郷裁判ハ總テ其管内ノ者ノ動産不動産ニ關スル爭論訴訟貸借約定損害要償等其金額百留以內ノモノ、決定裁判ヲナス

第三十八條 若シ其事件前條ノ金額ヲ超過シ又兵郷裁判管内ノ者ニシテ其管外ニ所持スル不動産ニ關スル訴訟若クハ該裁判ノ施行ニ屬セサル者其訴訟事件ニ關係スルトキハ其一方ノ要請ニヨリテハ法律ノ明文ニ基キ一

般裁判ノ審査ヲ受クヘキモノトス

第三十九條 訴訟事件ノ要求金額ノ多少ヲ問ハス若シ訴訟者雙方トモニ其管内ノ者ニシテ之ヲ志望スル時ハ兵郷裁判ニ於テ總テ決定スルヲ得又訴訟事件中該裁判ノ施行ニ屬セサル者之ニ關係スルモ若シ其本人等ニ於テ志望スル時ハ該裁判ノ決定ヲ求ムルヲ得

第四十條 兵郷裁判管内ノ者ノ其管區内ニ於テ同管内ノ者ニ對シ其資産上特別ナル權理ヲ有スル者之ニ關係セス且又其過失刑法ニ觸レサル時ハ之ヲ審査決定スルモノトス若シ其犯罪ニ他兵郷ノ者關係ヲ有スル時ハ其現行地ナル兵郷ノ裁判ヲ受クルモノトス  
但資産上特別ナル權理ヲ有スル者ト雖モ若シ本人之

ヲ志望スル時ハ兵郷裁判ニ於テ其訴訟事件ニ向テ判決ヲ下ス事ヲ得

第四十一條 兵郷裁判ハ其職權ヲ以テ犯罪者ヲ共同使役六日間或ハ罰金三留以内若クハ七日以内ノ禁錮ニ處分スルヲ得各犯罪事件ニ於テ懲罰ノ輕重ヲ判定スルハ該裁判ノ權内ニ在リトス

但犯罪ノ事實其職權ヲ超過スル時ハ兵郷首長ヲ經由シテ其主務官ニ移牒スルモノトス

第三 諸事件執行及決定順序

第四十二條 兵郷裁判ハ原告ノ起訴ニ依リ始メテ爭論及訴訟事件ノ糺明ヲ爲スモノトス又此裁判ニ該當スル者ノ過失ノ糺明ハ第一被害者若クハ被害者本人ノ幼少ナ

ルニ依リテ其兩親ノ訴出ニ依リ第二兵郷若クハ兵村首長ノ要求ニ依リ及第三若シ被害者本人自ラ起訴スルコト能ハサルトキハ其過失ノ証據人ナリシ者ノ通告ニ依テ之ヲ爲スモノトス

第四十三條 兵郷首長同補役及兵村首長ハ裁判執行ニ干渉スヘカラサルモノトシ諸事件審判ニ參與セサルモノトス

第四十四條 總テ裁判事件ハ口演執行スルモノトス又他人ノ傍聴ヲ許可ス

第四十五條 若シ過失事件ニ於テ訴訟人双方ノ示明不充分ナリト見認メシ時ハ尙ホ事ノ明白ヲ求ムルカ爲メニ其土地ノ戸主ヨリ二三名ノ証人ヲ出サシメ自カラ之ヲ

審問スルヲ得又双方訴訟事件ニ於テ証據人附添其土地ヲ檢分シ又ハ概シテ証據ヲ審査スル等ノ事ハ訟訴人双方ノ請求アルニアラサレハ執行セサルモノトス

第四十六條 兵郷裁判ニ於テ訴訟事件ヲ審査スルニ當リ判事ハ双方ノ意見ヲ糺明シ之ヲ和解スルヲ勉ムヘキモノトス若シ双方和解スル時ハ之ニ向テ一方ハ譲リ若クハ何ヲ以テ一方ヲ満足セシムルヤナク口達シ双方ノ和解ヲ爲ス若シ双方和解セサル時ハ該裁判ニ差出シタル約定書其他ノ証據物ニ基キ事ヲ決定スルモノトス此和解ノ要決及裁判ノ判決等ハ兵郷役所ニ備ヘ置ク所ノ帳簿ニ記載シ又原被双方ノ姓名ヲモ之ニ記入ス

第四十七條 兵郷裁判ノ審問ニ屬スル過失ヲ該裁判ニ於